
自由気ままな転生決闘者

白夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自由気ままな転生決闘者

【Nコード】

N0816X

【作者名】

白夜

【あらすじ】

遊戯王が大好きな少年、天月遊夜あまつきゆうやは事故に遭った、そして、目が覚めると、目の前に神がいた。その神からの言葉は転生。しかも行く世界は遊戯王。「神様がいつて言うなら、自分の好きなように生きよう。」これは、転生した少年が気ままに生きていく物語。(注)作者の決闘レベル…低いです、なので、小説のデュエルテクニクスも必然的に低くなると思いますので、ご了承ください。

プロローグ（前書き）

今回で小説第三弾となります。ネギま系のネタが思いつかないので、気分転換に書いてみました。

プロローグ

俺の名前は天月遊夜^{あまつきゆうや}、よろしくな！

…だが俺は現在進行系で困っている、何故か？それは車にはねられ、死んだかと思えば、真っ白な空間にいて、いきなり現れた光の玉が老人となり、謝ってきたからだ。

「…すまなかつたな。」

「…何がですか？」

「君を死なせてしまったことだ。」

「…やっぱり俺は死んだのか。」

まあ、死んだとしても、家族は放任主義、友達は…悲しむか、だが時間が過ぎれば忘れるだろう。
現世にもあまり思い入れがないから、死んだとしても問題はないがな。

「…ああ。」

「で、俺はどっちへ行くんだ？天国か？地獄か？」

「いや、転生じゃ。」

「…え？」

転生？あのネット小説とかでよくやるあれか？

「いや、世界は複数とあってな、ちょっとしたことで増えるのだ。」

「ちょっとしたことはなんだ？」

「現世では漫画、小説などが増えるなどだ。」

「つまり、多くの人に知られる物語は現実となり新しい世界になるのか？」

「そう思ってくればいい。所詮、パラレルワールドというやつだ。」

「で、俺はその中のどれかの漫画、小説の世界に行くってわけか？」

「ああ、お前が行くのは遊戯王とやらだ。」

「なぜそれを？」

「お前の記憶を見た限り、それが一番記憶の中の存在が強かったからな。」

確かに、家に家族のいなかった俺は良く家で遊戯王オンラインとか
タググフォース
TFをやっていたしな。

「で、その世界に行くときに何かくれるのか？」

「ふむ、ならば、これでどうだ？」

そう言つと神は鏡を取り出し、俺に渡してきた。

「鏡？これがどうしたって、ええ…？」

鏡に映っていたのは、某黄金の正三角を探す勇者の顔を遊戯王GX
っぽくしたものだった。

これ俺じゃない・・・。

「あとは、現世で使っていたデッキ類とそのサポートカードやサイ
ドデッキ、また死なぬように護衛用の精霊を付けておこう。」

「あ、ああ、ありがとう。」

よくわからんがこうなりややけだ、とことんやってやる！

「ならば、送る場所はアテムとやらが帰った冥界の扉からじゃ。そ
こが通り道なのでな。」

「その名の通りだしな。」

「じゃあ、送るぞ。今は何時かなどは荷物と共に手紙を添えておく
から、あとは頼むぞ。」

神がそう言つと、ウジャトのマークがある扉が現れた。
そこでふと、思い出したことを聞いた。

「そこでは、原作破壊などはしてもいいのか？」

「大丈夫だ。問題ない。」

「そうか、じゃあ、俺、いくよ。」

「死なぬよう気をつけろ、後が大変なんだから。」

その言葉を背に、俺は扉へ入っていった。

プロローグ（後書き）

はい、読んでくれてありがとうございます。この小説は、続けば
バトルシティ編 王の記憶編 GXへと続くと思います。

持ち物確認（前書き）

これを読んでくれている人、ありがとうございます。こんな駄文を読んでもいただき、光栄です。

持ち物確認

扉を超えた俺の目に飛び込んできたものは、王の記憶の石版、そしておそらく神が送ってきてくれた俺の荷物であろう。俺はそこからデッキを取り出し、腰のベルトに装着する。そして、何故かデュエルディスクが入っていたので、それも装着してみた。

「おお、マリクが言った通り意外と軽いんだな。」

デュエルディスクを堪能したあと、遊夜は添えてあった手紙を読み始めた。

『これを読んでいるということは、君は無事にたどり着いたということだろう。とりあえず、そっちの流れはバトルシティとやらの始まる前に送った。ポケットに財布と通帳を入れておいたからそれで日本に行ってくれ。金は定期的に送らせるから。 by 神』

「金が、まあ、見てみるか。」

そう言い、ポケットから通帳を取り出し、見てみると、

「え…？ 財布に約10万、通帳に1億…？ いくらなんでも出しすぎじゃあ、しかも定期的に送るって…。」

『マスター、グダグダ言っていないでさっさと日本へ行つてはどうでしょうか？』

驚いていると、不意に声が聞こえた。

「…ああ、護衛用の精霊か。」

『そのとおりです。マスター。』

そう言い、現れたのは、ブラックマジシャンだった。

「ブラックマジシャンって武藤遊戯の精霊じゃ…？」

『マスター、同じカード精霊は一人だけとは限りませんよ？』

「そ、そうか。」

どうやら、同じカードの精霊は一人だけとは限らないようだ。

『それよりも、早いところ日本にいかないと、バトルシティが始まってしまうですよ。』

「そうだな、でも、ブラックマジシャンじゃ長すぎるから、名前をつけたほうがいいか？」

『そうですね、我ら精霊といえど名前は欲しいものです。』

「そうなのか、じゃあ後で決めておくよ。」

『ええ、ありがとうございます。マスター。』

「ああ、後、マスターはやめてくれ、遊夜でいい。」

『はあ…わかりました。遊夜、これでいいですか？』

「ああ、それでいい。マスターなんてかたつくろしいのはいやだからな。」

『ふふふ、変わった人ですね。では、参りましょうか、日本へ。』

「ああ、案内を頼むよ。」

『はい。』

そのあとは、エジプトの人たちの言葉はわからなかったが、ブラックマジシャンが翻訳などをしてくれたおかげで助かった。飛行機の手ケットは何故かブラックマジシャンが持っていた。

く 飛行機の中の会話？く

「そついやデッキ確認してなかったな、どういふ感じが見てみるか。」

『遊夜のデッキはこっちでは使える強欲な壺などのカードも入れてみては？』

「そうだな、俺はあまり強くないから、デッキのチューニングを助けてくれると助かる。」

『遊夜がそう望むなら。』

く 飛行機の中の会話？く

「そっぴゃ、お前以外の精霊っているのか？」

『私にはわかりませんが、多分もう一人ぐらいはいるのではないで
しょうか？』

「そっか、ありがとう。」

大波乱を呼ぶバトルシティ開幕まで、後少し。

持ち物確認（後書き）

精霊はブラックマジシャンにしました。個人的に好きなんですよ、ブラマジは。

名前…どうしようか、まあ、俺は後に考えておこう。

あと、最後のは特に意味はありません。伏線？という感じにしておこうかと思います。

ドミノ町、遊戯たちとの遭遇（前書き）

ドミノ町についたのに、まだバトルシティが始まらない…。
というか、決闘すらしてない…。

まず、原作キャラと関わらせないとまずいのでここを出してみました。

一応、主人公が何も付けない文章が心に思ってることで、

（○）が主人公以外のキャラの思っていること、
『が精霊の喋っていることです。

ドミノ町、遊戯たちとの遭遇

長い長い飛行機から開放されて、やっと来たぜ！ドミノ町！

「やっと来たぜ！日本！ドミノ町！」

『遊夜、最後の所声に出てましたよ。』

「ゑ？」

どうやら声に出ていたようだ。

『でも、まだバトルシティは始まっていないようですね。』

「てか、ブラッククラウンが本日開店ってことは遊戯が千年パズルを奪われたところかな？」

『これはアニメ沿いか原作沿いかかわかるきっかけかもしれませんね。』

「そうだな、じゃあ、行こう。」

『はい。』

~~~~~^

「負けはしたが…悔いのない戦いだっただ…。父さん…許して…」

うん、ここにいてことは原作かな？ゑ？警備員？倒してきたよ。

主に不意打ちで

「龍児よ！遊戯に敗北した貴様はもはや俺の息子などではない！」

・・・うん、完璧原作だね。ああ、王様の私服、見られると思っていたのに…。

「もうお前に期待することは何もない！俺が自らの手で復讐を果たす！」

しまったかな？ここは遊戯が2度目の千年パズルを組み立てる、下手すると死んでたかもしれない場面だっけ？仕方がないか、多分大丈夫だと思うが、行ってみるか。

「ちょっとどいてくれないか？」

「！？お前は誰だ！？なぜここにいる！？」

「話はあとだ、今は遊戯達と千年パズルを優先しろ。」

あかないか、原作で言ってた通り内側からしかあかないのか。

ガンッ！

っ！？今の音は千年パズルの鎖を打ちつけたところか

「行けるか？ブラックマジシャン。」

『行けます！』

「ひゃあああああああああああ！！！！」

「！？」

「今の声は、御伽くんのお父さんの！？」

「！！なから煙が！」

くっ、間に合わなかったか！

「獏良！！」

「城之内君！！皆！！」

おお、登場か！遊戯を火事の中から助け出した友情に熱い男、城之内克也！

「遊戯は！！」

「すまない、手っ取り早く説明するぞ！」

「誰だお前は！」

「すまないが黙って聞いてくれいいか、まず、千年パズルを狙ったそのやつの父親が遊戯の千年パズルを組み立てようとしたが、パズルの怒りで出来なかった、しかも投げ捨てたパズルがテーブルのろうそくにあたって火がつき、今に至る！」

「な、なんだと！」

「お前はこの扉を壊せるか!？」

「はっ!壊せるか壊せないかじゃねえ、やるんだよ!おい、お前も手伝え!」

「ああ。」

「やっぱかけえな城之内!」

「ドガアアアン!

「待ってる遊戯!今助けてやつからな!」

「城之内君!」

「本田!あとそこのお前!行くぜ!」

「おう!!」「了解だ!!」

「バキイイツ!!」

「よし!扉が開いたゾ!」

「遊戯!!」

『お疲れ様でした、遊夜。』

「ふう、まっただ。」

「城之内君、本田君!」

「御伽君！早くお父さんを連れ出して！」

「ああ！」

「遊戯、すぐ火が回る！行くぞ！」

「遊戯！行くぞ！」

「…僕は…パズルを置いていけない！」

「…！（パズル…！！）」

ジュ…（熱っ…！）

「（パズルが！鎖が外れねえ！）」

「僕はここでもう一度パズルを組み立てる！」

「バカ野郎！何言ってるんだ！すぐにここを離れなきゃ焼け死んじゃうだろ！」

「僕はもう一人の僕を置き去りなんてできない！僕が見捨てて焼け落ちたらパズルはもう僕の手には戻って来ないんだ！」

…あれって、そう簡単に焼け落ちたりしない代物だと思うのは俺だけか？まあ、気持ちはわからないことはない、大切なものがなくなってしまう時の気持ちは何を起こすかわからないらしいしな。

「ここで、一人でパズルを作らせて！最後にもう一人の僕に会わせ

て!!」

「最後つて「馬鹿かなのかお前は」お前!？」

「最後だと!？お前は何をパズルに望んだんだ!友達が欲しい、だろ!最後じゃない、生きて戻れ!それをパズルの意思是望んでいるはずだ!」

「き、君は...?」

「俺のことは後でいい、今は千年パズルを組み立てることに集中しろ!」

「う、うん、分かった!」

「遊戯、無理じゃ!火が回るまでの時間でパズルを組み立てることなど...「無理じゃない。」え?」

「武藤遊戯!2度目の組み立てで、お前は何を望む!？」

「僕は...もう一人の僕に会いたい!」

「それでいい、パズルはそのものの心で所有者を決める!それまで行ける限りは俺たちが守ってやる!」

「おい、お前何勝手なことを!」

グラッ・・・

「遊戯!危ない!!」

仕方がない、実体化はできるか？ブラックマジシャン！

『行けますよ、遊夜！』

よし、行くか！

『「黒・魔・導　！！」』

ズガアアアアン！！

…え、2500でこんな強いのか？じゃあカイザーのサイバーエ  
ンド16000って実体化したらやばくない？しないけど、

そう思いながら振り返ってみると、啞然とした表情で俺を見つめて  
いた…動こうぜ…

「おい、遊戯、早く千年パズルを組み立てろ。そしてあんた等は早  
く外に出ろ！危ないから。」

「でも、目的もわからない赤の他人に遊戯をあずけるなど…。」

「なら、俺も一緒に残って遊戯を待つぜ！」

「…遊戯を頼んだぜ、城之内、遊戯を必ず連れて帰ってきてくれ。  
…そしてお前、帰ってきたらいろいろ聞きたいことがある、逃げる  
なよ。」

「ああ、分かった。」「ああ、心配すんな。」

（俺はまだコノヤローを信用は出来ないが、遊戯、絶対に三途の川はわたらせねえ！岸まで行ったら、てめーをぶん殴ってでも連れ帰るぜ！）

…くっ…、熱いな、色々ばやけてきてるな…。

「ブラックマジシャン、今、パズルはどうだ…？」

『はい、いま、ほとんど出来てきています。』

…早いな、それに 黒・魔・導 で落ちてくるものを壊しているから結構うるさいと思うのに、まるで気にしていない、・・・っ！城内が走りだした！パズルができたのか！ならもうここに用はないな、二人を連れて外まで行くだけだ！

「よける！ 黒・魔・導！」

ドガッ！

「さっさと行くぞ！ブラックマジシャンが道を作る！そこを通過してきてくれ！」

くそっ！目がかすむ！いくらブラックマジシャンが魔力で俺や遊戯たちの体を被ってくれていても、熱すぎる！

「見えたぞ！出口だ！」

『では、私は見つかるはずいのもう一度精霊化します。』

「ああ、ありがとう、ブラックマジシャン。」

俺たちが外に出ると、遊戯の親友達が集まってきた。

「遊戯！城之内！お前も無事だったか！」

「ああ、こいつが助けてくれたからな。」

そうやって俺を指さしてくる城之内、やばい…ブラックマジシャンを、精霊を無理矢理実体化したから、体への負担が…。

そこから、俺の意識はブラックアウトした………。

## ドミノ町、遊戯たちとの遭遇（後書き）

バトルシティ開幕までまだまだ掛かりそうです。

主人公のこと、どう説明しよう…

次回は、多分、病院で決闘をします、ペガサス島編ではなく、生贄が必要なバトルシティルールで。

## 病院で和解、そしてデュエル（前書き）

ちなみに、遊夜は精霊の同意があれば実体化の負担はないが、前回  
は勝手に実体化させたので、負担がきました。その負担は、モン  
スターレベルが高いほど大きくなります。ちなみに、駄文のデュエル  
です。デュエルって書くの面倒くさい…。

## 病院で和解、そしてデュエル

俺が目を覚ますと、そこは知らない天井だった。

「知らない天々」あ、起きたんだね！」最後まで言わせてくれ…。

「

あのセリフを言ってみようとしたが、俺が起きたと気づいた遊戲の  
声にかき消された。

…城之内たちもいるね、…あれ？御伽は？まあいいか。

「よう、お前たちも千年パズルも無事だったのか。」

「うん、おかげさまでね。」

無事なのは分かっていたが、やはり本人から聞くと安心する。

「そうか、…なあ、アテ…もう一人の遊戲は出られるか？」

あぶねえ…思わずアテムと言ってしまふところだった！

「そのことだけど…何故、それを知ってるの？」

…やっぱり聞かれるか。ほかのみんなも聞きたがってるし…言っ  
てもいいかな？

『いえばいいじゃないんですか？遊夜。』

いきなり出てこないでくれ、遊戯たちもびつくりしてるから

「それ、やっぱりブラックマジシャンだよね…。」

これは言ってもいいか。

「ああ、このカードには精霊が宿ってるからね。」

「は？カードに意思がつくことなんてあるわけないだろ？」

「いいや、ペガサスはエジプトの壁画にあったものを千年眼と共に  
カードに封印した精霊が宿るカードがごく一部あるんだ。」

「そんなことが…」

いやいや経験あるだろペガサス島編で

「海馬瀬戸のデッキを奪ったプレイヤーキラーが出した青眼も消え  
ただろ、あれも一応精霊カードだ」

「なっ！海馬の青眼は精霊のカードなのか！？じゃあさ、俺に精霊  
は付いてるか！？」

「どうだ？ブラックマジシャン？」

「いいいですね。千年パズルを持ちし少年のデッキの私とクリボー  
は精霊ですが。」

あ、やっぱ？

「え？僕のブラックマジシャンとクリボーも精霊なの？」

『俺も初めて知ったぜ』

「俺にはいないのか・・・。」

アテム出てきた… あ、城之内が落ち込んでる。…ってあ、

「忘れてた。俺の名前は遊夜、天月遊夜だ。」

「あ！そういえば名前をまだ教えてなかったね、僕は「知ってるぜ、ペガサスのマインドスキャンをもう一つの心とマインドシャッフルと千年パズルの結束の力で打ち勝った武藤遊戯だろ。」…だからなんでそんなこと知ってるのさー！」

ふ、だが俺はまだ言わない、あえて無視をする！

「で、そっちが真紅眼レッドアイズと千年竜サウザントドラゴンを駆使して勝った…と言っても、真紅眼はもとは竜崎のカードか、準優勝者、城之内克也。」

「おお！俺も有名になったものだぜ！」

あ、喜んだ、妹の手術代のために出場した初心者が良くいけたよな。

「なあなあ！デュエルしようぜ！」

いきなり何を言うのさ城之内君断る理由がないからもあるが、

「売られたデュエルは買うのが礼儀だ！」

デュエルに關すると、こういう性格になるんだよなあ…。

「よっしゃ！じゃあいくぜ！」

遊夜    LP 4000                      城之内    LP 4000

「俺の先行！…俺も大概チートドロだな…。」

遊夜    手札 5                      6

いくらなんでもこの手札は…。

「どうしたんだ？」

ブラマジガール…今見せてもいいのか？いいよな。

「なんでもない、俺は召喚僧サモンプリーストを召喚そして効果で守備表示になる、そして    デイメンションマジック、場の魔法族モンスターをリリース、もとい生贄にして手札から魔法使い族を特殊召喚する。俺はサモンプリーストを生贄とし、ブラックマジシャンガールを召喚、そして手札から魔法カード発動、賢者の宝石、これは場にブラックマジシャンガールがいる場合発動できる、手札デッキからブラックマジシャン1体特殊召喚できる。こい、ブラックマジシャン。」

召喚僧サモンプリースト

効果モンスター（準制限カード）

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻    800 / 守1600

このカードはリリースできない。

このカードは召喚・反転召喚に成功した時、守備表示になる。

1ターンに1度、手札から魔法カード1枚を捨てる事で、

自分のデッキからレベル4モンスター1体を特殊召喚する。  
この効果で特殊召喚したモンスターは、そのターン攻撃する事ができない

### ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100  
魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

### ブラック・マジシャン・ガール

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1700  
お互いの墓地に存在する「ブラック・マジシャン」

「マジシャン・オブ・ブラックカオス」1体につき、  
このカードの攻撃力は300ポイントアップする

遊夜 手札 6 2

場

- ・ブラックマジシャン（攻撃力2500）
- ・ブラックマジシヤンガール（攻撃力2000）

「手札からフィールド魔法発動、魔法族の里、これは自分の場に魔法使い族がいる場合のみ、相手は魔法が使えなくなる、俺の場に魔法使い族がいなければ、俺は魔法カードが発動できない、城之内も魔法使い族を召喚するか、俺の場のモンスターを全滅させるかをすれば魔法が使えるようになるぞ。」

そして、魔法カード発動天よりの宝札、このカードはお互いの手札が6枚になるようにドロ―する。俺の手札は0、よって6枚ドロ―。

「

「俺は一枚ドロ―だ。」

城之内の顔に焦りが見えないってことは時の魔術師が罠カードが手札にあるのか？

「場のレベル6以上の魔法使い族2体をリリースし、手札から黒の魔法神官を特殊召喚！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロファント・オブ・ブラック）

効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、罠カードの発動を無効にし破壊する事ができる

「こ、攻撃力3200だと!？」

これが今の俺のデッキの最高攻撃力だ。まあ、こいつは只単に攻撃力が高いだけじゃないんだけどな!

「こいつの効果はこのカードが場に出ている間、罠カードの発動と効果を無効にすることができる!」

「な、なんだと!」

城之内のデッキは罨カードでモンスターを奪うのが主なデッキ、なら、罨を無効にすれば怖くはない…が、油断できないのがなあ…。！

「俺は魔法族の結界を発動し、カードを伏せ、ターンエンド！」

遊夜 手札 6 3

場

- ・ 黒の魔法神官（攻撃力3200）
- ・ 魔法族の結界
- ・ 罨カード
- ・ 魔法族の里

「俺のターン！」

城之内 手札 6 7

「天月！お前、すげえな！」

「遊夜でいい、城之内、お前のデッキとの絆を見せてくれ！」

「ああ！見せてやるぜ遊夜！！いくぜ！時の魔術師！」

「やっぱりあったか！時の魔術師！」

とき まじゅつし  
時の魔術師

効果モンスター

星2 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻 500 / 守 400

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に発動する事ができる。

コイントスを1回行い、裏表を当てる。

当たった場合、相手フィールド上に存在するモンスターを全て破壊する。

ハズレの場合、自分フィールド上に存在するモンスターを全て破壊し、

自分は破壊したモンスターの攻撃力を合計した数値の半分のダメージを受ける。

「効果発動！コイントスをし、表が出たら相手モンスターを全滅させ、裏が出たら俺の場のモンスターが全滅し、その合計の半分のダメージを受ける！いくぜ！コイントス！…表だ！いけ！タイムマジック！」

ああ、俺の切り札が一瞬でやられた・・・。

ベッドの上でやってるからソリットビジョンシステムがないが、あったらどうなってやられていくのかが気になる…。

魔法族の結界カウンター 0 1

「さあ行くぜ！時の魔術師でダイレクトアタック！」

だが、モンスター以上に、ダメージをもらう気はない！

「リバーズカードオープン！マジシャンズ・サークル！」

「何！？」

「このカードは魔法使い族の攻撃宣言時に発動できる！お互いのデッキから攻撃力2000以下の魔法使い族を1体特殊召喚する！」

「くつ、俺のデッキにはもう魔法使い族はいないぜ・・・。」

「なら、俺だけが召喚だな、来い！霊滅術士カイクウ！」

霊滅術士カイクウ

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1800 / 守 700

このカードが相手ライフに戦闘ダメージを与えた時、

相手の墓地に存在するモンスターを2体まで選択してゲームから除外する事ができる。

また、このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、相手はお互いの墓地に存在するカードをゲームから除外する事はできない

「くつ、攻撃を中断！メインフェイズ2でカードを2枚セット！ターンエンド！」

城之内 手札7 5

場

・時の魔術士（攻500）

・伏せ魔法カード

・伏せ罠カード

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札3 4

場

・霊滅術士カイクウ（攻1800）

・魔法族の結界カウンター 1

・魔法族の里

（俺の手札に除去カードはないが、ここは、臆せず踏み込むぜ！）

「俺はクルセイダー・オブ・エンディミオンを召喚！そしてカイクウで時の魔術師を攻撃！」

クルセイダー・オブ・エンディミオン

デュアルモンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1900 / 守1200

このカードは墓地またはフィールド上に表側表示で存在する場合、通常モンスターとして扱う。

フィールド上に表側表示で存在するこのカードを通常召喚扱いとして再度召喚する事で、

このカードは効果モンスター扱いとなり以下の効果を得る

●1ターンに1度、フィールド上に表側表示で存在する

魔力カウンターを置く事ができるカード1枚に魔力カウンターを1つ置く事ができる。

この効果で魔力カウンターを置いたターンのエンドフェイズ時まで、このカードの攻撃力は600ポイントアップする。

「リバーズカードオープン！ 天使のサイコロ！ このカードは攻撃力500以下のモンスターをサイコロの出た目だけ倍加する！そして 悪魔のサイコロ！ このカードはサイコロを振り、でた目分攻撃モンスターの攻撃力を割る！…出た目は4と2！時の魔術師の攻撃力は2000！カイクウの攻撃力は900だ！タイムマジック！」

「ぐっ！」

おいおい、まさかのサイコロコンボか、アニメ版卑怯すぎるだろ悪

魔のサイコロ！収縮の運だより版とはいえ、上位じゃねえか。だが、魔法族の結界にカウンターが乗る！

魔法族の結界カウンター 1 2

遊夜LP 4000 2900

「おれはカードを1枚伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札 4 2

場

・クルセイダー・オブ・エンディミオン（1900）

・伏せ罫カード

・魔法族の結界カウンター 2

・魔法族の里

「俺のターン！」

城之内 手札 5 6

「俺はパンサーウォリアーを召喚！」

漆黒の豹戦士<sup>しっこく ひょうせんし</sup>パンサーウォリアー

効果モンスター

星4/地属性/獣戦士族/攻2000/守1600

このカードは、自分フィールド上に存在するモンスター1体をリリースしなければ攻撃宣言する事ができない

今だ！

「リバーズカードオープン！ 黒魔族復活の棺！ このカードは相手がモンスターを召喚したとき発動可能！ そのモンスターと自分の場のモンスター、クルセイダー・オブ・エンディミオンをリリースし、墓地の魔法使い族モンスターを特殊召喚する！ 甦れ！ ブラックマジシャン（攻撃力2500）！」

「ぐっ、だが、時の魔術師の効果発動！ コイントス開始、… 失敗・… だと… ？」

いやいや城之内、そんな連発してたらどれかは外れるさ。むしろ王国で一回しか失敗しなかったお前の運の良さがほうが異常なんだが。

「くっ、効果で自分の場のモンスター、つつつても時の魔術師しかないんだが、を全て破壊し、その攻撃力の合計の半分のダメージを受ける！」

ついでに場の魔法使い族が破壊されたことで魔法族の結界にカウンターが乗る

魔法族の結界カウンター 2 3

城之内 LP 4000 3750

城之内 手札 6 5

「カードを伏せ、ターンエンドだ。」

城之内 手札 5 3

場

・伏せ魔法カード

・伏せ罨カード

「俺のターン、ドロ―」

遊夜 手札2 3

場

・ブラックマジシャン（攻撃力2500）

・魔法族の結界カウンター 3

・魔法族の里

「…俺は手札から魔法発動、黒・魔・導！これはブラックマジシャンが場にいる場合、相手の魔法・罨をすべて破壊する！」

「ぐうつ！」

破壊されたのは スケープゴート と 落とし穴 か、あぶねえ…だが、俺の手札に攻撃力1250以上のカードはなえ…。なら！

「俺はガガガールを召喚！そして、魔法族の結界の効果発動！このカードと場の魔法使い族を1体墓地に送ることで、カウンターの数だけドロ―する！」

ガガガール

効果モンスター

星3 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1000 / 守 800

自分フィールド上の「ガガガマジシャン」1体を選択して発動できる。

このカードは選択したモンスターと同じレベルになる。

また、このカードを含む「ガガガ」と名のついたモンスターのみを

素材としたエクシーズモンスターは以下の効果を得る。

- このエクシーズ召喚に成功した時、相手フィールド上の特殊召喚されたモンスター1体を選択して発動できる。

選択したモンスターの攻撃力を0にする

遊夜 手札3 2 5

「俺は墓地の光属性、クルセイダー・オブ・エンデミオンと闇属性、黒の魔法神官を1体ずつ除外し、カオス・ソーサラーを特殊召喚！」

カオス・ソーサラー

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2300 / 守2000

このカードは通常召喚できない。

自分の墓地の光属性と闇属性のモンスターを

1体ずつゲームから除外した場合に特殊召喚できる。

1ターンに1度、フィールド上に表側表示で存在する

モンスター1体を選択してゲームから除外できる。

この効果を発動するターン、このカードは攻撃できない

「2500と2300…俺の負けか…。強いな！遊夜！」

「結構頑張ってデッキ組んだからな。いけ！2体でダイレクトアタック！」

ブラックマジシャン（攻撃力2500）

カオス・ソーサラー（攻撃力2300）

城之内LP3750 1250 - 1150

遊夜LP2900

「はあ、負けかあ…。」

「なあ、手札を見せてもらっていいか？」

「ああ！いいぜ！」

そう言つて手札を見せてくる。…残りの手札が ルーレット・スパイダー と 確率変動、鉄の騎士ギアフリードかよ、…魔法族の里なかつたら負けてたかもしれないな…。  
え？てか確率変動つてRのカードじゃ…。

鉄の騎士<sup>てつ きし</sup> ギア・フリード

効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻1800/守1600

このカードに装備カードが装備された時、その装備カードを破壊する。

「いいデュエルだったよ！」

「ありがとう、武藤。」

「遊戯でいいさ！それより、その魔法使い族デッキ、すごいね！デイモンシヨンマジックで上級モンスターを召喚しつつ、相手モンスターを破壊して、なおかつ魔法族の里や黒の魔法神官でロック、すごいよ！」

これはアニメ版のカード（天よりの宝札、黒魔族復活の棺）もいったから強いのであって、  
元の世界じゃ勝ち数はまあまあだったけど。それより、なぜかもう警戒心が薄れていつてるんだけど…。

『クリクリ〜。』

「え？クリボー？」

「うん、そうだよ。クリボーはこの人は悪人じゃないって。」

…あるえー？この時つて、遊戯精霊見えてたっけ？

なんかもうすでに原作崩壊し始めてないか！？

…まあいいか。何かどつと疲れた。

## 病院で和解、そしてデュエル（後書き）

今回はじめてのデュエルでしたね。今回は、時の魔術師が魔法じゃない、確率変動がある。ちなみに確率変動を引いたのはパンサーウオリアーを召喚したターンです。ガガガールはガガマジシャンとあわせて黒の魔法神官を呼べるようにと調整した結果です。次回はグールズとデュエルでもしてマリクに目をつけられるかな。

## グールズとの初対面（前書き）

デュエル内容が地味になりました。すいません。やはり、シンクロ無いと展開力が…。

## グールズとの初対面

よう、俺の名前は天月遊夜、病院で遊戯たちと仲良くなって、

遊戯にブラマジの名前をつけてもらった。名前はシーク、ゼル○臭がするが、

『シークレット（秘密）』を短縮したものらしい、

理由は、ブラックマジシャン達精霊の力を世間が知ったら、利用するかもしれないから、

だって、…うん、なんかますますゼル○と同じ理由っぽいと思うのは俺だけか？

…まあ、ブラックm…シークは名前をもらって嬉しそうだったのでよしとしよう。

で、今は無事退院し、亀のゲーム屋で遊戯、城之内とデッキを作つて、

試作デュエルをし終わり、家に帰っている途中だ。

「おい、貴様、私と戦え。」

いきなり話しかけてきたのは、ウィジャトのマークがあるフードをかぶっている男たちだった。全員額にウィジャトがあるから、おそらくマリクだろう。

「…何のようだ、レアハンター…いや、マリク・イシュタール。」

「っ！？やはり、数日前から部下にお前を見張らせていたが、なぜ貴様が我ら墓守の秘密などを知っている！？」

「ふっ、他にも知ってるぜ。グルズのボスマリクさん。」

「っ！？ふっ、いいだろう！この千年ロッドで記憶を探ってどういて知ったのかを見せてもらおう！」

シーク、頼むぞ。

『はい、黒・魔・導！』

「ぐああああ！？」

驚いてる驚いてる。…？なぜ驚く？

何故デュエルモンスターズカードが実体化したぐらいで驚く？？  
闇のゲームで実体化するだろ？

「君も何らかの闇のゲームができるようだね・・・そして、どうやら君に洗脳術は効かないみたいだ！ならこうしよう、天月、僕とデュエルしろ！」

「…いいぜ、やってやるよ。」

ラーはデッキに入っでなく、しかもそれは扱いにくいエグゾディアデッキ。

少なくとも、俺のいた世界じゃ1枚しか入れられなくても揃える奴

がわんさかいるからな。

「さあ行くぜ！」 「<sup>デュエル</sup>決闘！！」

遊夜LP4000 レアハンター（マリク）LP4000

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札5↓6

「俺は魔導騎士ディフェンダー（ATK1600）を召喚！そしてディフェンダーに魔力カウンターが乗る！」

ディフェンダー 0↓1

「そして、カードを二枚伏せ、ターンエンドだ。」

遊夜 手札6↓3  
場

・ディフェンダー（ATK1600）

・魔法カード

・罠カード

「僕のターン。ドロー。…ふむ、僕は、サファイア・ドラゴン（ATK1900）を召喚、そして、スタンピングクラッシュを発動、デッキ側のセットを破壊。そして攻撃！」

「何！？ぐううう！」

遊夜LP4000↓3500↓3200

場

- ・ディフェンダー（攻1600）
- ・魔法カード

つう・・・あのエグゾディアデッキ、防御型デッキじゃなかったのかよ。

「だが！ディフェンダーの効果！魔力カウンターを取り除き、破壊を無効！」

ディフェンダー 1 ↓ 0

「私は魔法カード発動、強欲な壺、カードを二枚ドロー、そして天使の施し、カードを3枚ドロー、そして2枚捨てる、さらにカードを一枚伏せ、ターンエンド。」

レアハンター 手札5 ↓ 6 ↓ 4 ↓ 5 ↓ 7 ↓ 5 ↓ 4

場

- ・サファイア・ドラゴン（ATK1900）
- ・魔法カード

「エンドフェイズ時、リバーズ発動！速攻魔法サイクロン！そのセツトカードを破壊する！」

そして俺のターン！ドロー！俺はディフェンダーを生贄にし、サイバネティック・マジシャン（ATK2400）を召喚！そしてバトルフェイズ！サイバネティックでサファイア・ドラゴンに攻撃！」

「ぐっつー！」

レアハンター LP4000 ↓ 3500

「（これ以上何もできない…）ターンエンド。」

遊夜 手札3 ↓ 4 ↓ 3

場

・サイバネティック・マジシャン（ATK2400）

「私のターンドロー。…モンスターをセットし、ターンエンドだ。」

レアハンター 手札3 ↓ 4 ↓ 3

場

・セットモンスター

「俺のターンドロー！俺は魔導騎士ディフェンダー（ATK1600）をもう一体召喚！そしてサイバネティックの効果発動！手札を一枚捨て、ディフェンダーの攻撃力を2000にして、2体で攻撃！」

サイバネティック・マジシャン（ATK2400） 起動砦のギア・  
ゴーレム（DEF2200）

「そしてディフェンダーでダイレクトアタック！」

レアハンター LP3500 ↓ 1500

「お前、大したこと無いな、カードを伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札3 ↓ 4 ↓ 3 ↓ 2  
場

- ・サイバネティック・マジシャン
- ・魔導騎士ディフェンダー

「くっ、ドロー……！ふふふ……モンスターとカードををセット、光の護符剣を発動、そして天よりの宝札！私はカードを6枚ドロー。魔法カード死者蘇生でサファイア・ドラゴン（攻1900）を特殊召喚！手札から天使の施し発動！カードを3枚ドローし、2枚捨てる、ターンエンド。」

「天よりの宝札で俺は4枚ドローする」

・・・お前3枚ずつ入ってるエグゾディア引いてねえのか！？

レアハンター 手札3 ↓ 4 ↓ 1 ↓ 0 ↓ 6 ↓ 5  
場

- ・セットモンスター
- ・罨カード
- ・光の護符剣

だが、表マリク、選択をまちがえたな。

「俺のターン！ドロー！死者蘇生を発動！来い！ブラックマジシャン！（ATK2500）そして強欲な壺！効果でカードを二枚ドロー！いま引いた千本ナイフを使い、お前のセットモンスターを破壊！そしてもう一枚、黒・魔・導をを発動！その光の護符剣とセットカードを破壊！」

遊夜 手札 6 ↓ 7 ↓ 6 ↓ 7 ↓ 5  
場

- ・ブラックマジシャン（ATK2500）
- ・サイバネティック・マジシャン（ATK2400）
- ・魔導騎士デIFエンダー（ATK1600）

「くっ…セツトモンスターはマシユマロン…。そして、セツトカードは聖なるバリアミラーフォース…！」

「3体で止め！」

「ぐあああああああああああああああ…！」

レアハンター LP1500 ↓ -1000 ↓ -3400 ↓ -5000  
遊夜 LP3200

「くっ…！…僕が負けるとは…！」

「やはりそれはレアハンターのなかで最弱と言われていた奴のデスキか。」

「そうだ、なぜそれを知っているか知りたいが、敗者に言い分はない、負けは負けだ。悔しいが、今回はここで引くよ。」

そう言つてグルズ全員去つていった。変なところで素直だなマリク。

…あ、そういやここ表側守備出来たな…しまった、プレイミスしてしまつたか。

そういやこのあとに城之内真紅眼取られるんだっけ？

遊戯が海馬に勝つためにも、マリクの洗脳術を解くためにも遊戯が  
持ってなきゃいけないよな。  
さて、どうかのホテルに泊まって寝るか。

## グールズとの初対面（後書き）

初期手札は、シーク、ディフェンダー、サイクロン、マジシャンズ・サークル、死者蘇生で、次に引いたのがサイバネティック・マジシャン、その次がディフェンダー、そして最後が強欲です。

海馬戦…積み込み？DM6よりはましだ。（前書き）

はい、デュエルというのは難しいですね。やるのは簡単なのに…詰  
めデュエル考える人はすごいですね。

海馬戦…積み込み？DM6よりはましだ。

俺は今日、海馬コーポレーションにいる。というか、ホテルで寝て朝起きたらここにいた。

「ふうん…貴様が遊戯の言っていた決闘者か。」

そして、目の前に海馬瀬戸がいる。

「はあ……。」

そう、遊戯が海馬に俺のことを話してしまい、興味をもたれたようだ。

「ふうん、まあいい、おい、貴様、俺と戦え。」

「いいえ……ですよ。」

あぶね、デュエル脳が活性化して言葉使いが……！

「ふうん、ではKCの屋上に来い。あとは頼むぞ、木馬。」

「ハイ！兄様！俺が連れていくよ。」

あ、木馬だ。後半いいキャラなんだよな、兄思いだし。

「ああ、頼むよ。」

ということだ

「頑張れよー！遊夜ー！」

「頑張つてー！遊夜君！」

なんか来たら遊戯や城之内たちのギャラリーが…？あれ？バトルシティって今日じゃ…。

「何を言っている、もう始まっているぞ、バトルシティ。」

え？

「ふうん、遊戯がライバルと認めた貴様を倒そうと宣伝したら集まった。そしてこのデュエルはリアルタイムで放送される。」

・・・ええ・・・。

しかも遊戯のやつ俺をライバルとか・・・そりや海馬にも興味持たれるぜ。

「…後には引けないか…いいよ、戦おう。」

「行くぞ！」

「「デュエル！！」」

海馬LP4000

遊夜LP4000

「俺の先攻！ドロー！」

海馬 手札6

「ふうん。俺はブラッド・ウォルス（ATK1900）を召喚！カードを2枚伏せ、ターンエンド。」

海馬 手札6〓3

場

・ブラッド・ウォルス（攻1900）

・魔法

・罨

・・・なんかデッキ破壊きそうだな・・・。

「俺のターン、ドローする。」

遊夜 手札6

手札にはブラッドウォルスを倒せるカードがあるが、どうするか・・・。

「・・・俺は召喚僧サモンプリースト（守1600）を召喚。カードを2枚をセット、ターンエンドだ。」

遊夜 手札3

場

・サモンプリースト（守1600）

・魔法

・罨

…いや、ここは耐えよう。

「俺のターン！ドロー！ふうん！やられ専門の雑魚モンスターか。そんなもの蹴散らしてくれるわ！ブラッドウォルスの攻撃！」「速攻魔法発動！ディメンション・マジック！」なに！？」

「効果で魔法使い族をリリ、生贄にし、手札から、来い！ブラック・マジシャン！」

『早速、おでましですか。』

ああ、頼むぞ。シーク。

「効果発動！フィールドのモンスター一体を破壊！」

「ふははははははは！それにチェインし、リバースカードオープン！収縮！そして 死のデッキ破壊ウイルス！これで貴様のモンスターは抹殺だ！ハーっハハハハハハ！」

海馬が高笑いを始める。

「あのデッキ破壊コンボ！？」

「やばいぜ！？どうすんだ遊夜！？」

・・・これ、一回言ってみたかったんだよな。

「それはどうかな？」

「なに？」

「リバーズ発動！永続罨、王宮のお触れ！」

「な、なにい！？」

「魔法、罨の無駄打ちになったな。効果で罨は無効化される！ブラット・ウォルスは破壊だ！」

「くう！・・・モンスターをセット、カードを伏せ、ターンエンドだ。」

海馬 手札2

場

・セットモンスター

・魔法

「俺のターン！」

遊夜 手札4

「俺はフィールド魔法、魔法族の里を発動！その効果でお前は魔法を発動できない！」

「ロックだと！？」

「そうさ！これが俺の戦い方さ！俺は魔法カード発動！強欲な壺！」

「さらに！ブラックマジシャンをリリースし、ブラックマジシャンガールを召喚！そして魔法カード発動！賢者の石サバティエル

！こいつはLPを半分使い、自分デッキ、墓地から好きなカード一枚手札に加えたあと、デッキに戻る。俺は 賢者の宝石 を選択！」

遊夜LP4000〓2000

「ふつ、俺は今、手札に加えた賢者の宝石を使い、デッキからブラツクマジシャンを召喚！」

『今日は何度も召喚されますね。』

「またブラツクマジシャン……。」

「スゲエ……。」

「レベル7をいとも簡単に何度も……。」

「兄様が押されてる……?」

「バトル！ブラツクマジシヤンガールでセットモンスターを攻撃！  
ブラック・バーニング  
黒魔導爆裂波 ！」

「セットモンスターは守備力2200の鉄腕ゴーレム！2000では破壊され……なっ!？」

「ブラツクマジシヤンガールは墓地のブラツクマジシヤン1体につき300攻撃力を上げる。よって攻撃力2300！そしてブラツクマジシヤンの追撃！ 黒・魔・導！」

「くっう!」

海馬LP4000〃1500

「俺はカードを2枚伏せ、ターンエンド」

遊夜LP2000 手札2

場

・ブラックマジシャン（攻2500）

・ブラックマジシャンガール（攻2300）

・王宮のお触れ

・セットカード

・セットカード

・魔法族の里

「くっ…俺は負けん！俺の…タアアアアアンツツ！！」

海馬LP1500 手札3

場

・魔法

「俺はロードオブドラゴン、ドラゴンの支配者を召喚！こいつは魔法使い族！よって！魔法が使える！俺はリバースカード、ドラゴンを呼ぶ笛を発動！この効果で手札のドラゴンを召喚！来い！ブルーアイズ！」

・・・手札2枚青眼って事故ったのか？

「そして 強欲な壺 ！効果でカード2枚ドロ！・・・ふむ、いけ！ブルーアイズ達よ！その雑魚共を蹴散らし、我が手に勝利を収めよ！【滅びのバーストストーリーム】！！」

3体の攻撃を受けたらLP1400になるが、まだ甘いぜ海馬！  
この王宮のお触れが場に出ている間、罨が発動できないだけで、無くなればいいんだからな。

「速攻魔法発動！ サイクロン　！効果で　王宮のお触れ　を破壊  
！これで罨がつかえる！」

「だが、ロードオブドラゴンが居る限り、ブルーアイズ達に魔法、  
罨は効かない！」

「知ってるさ！リバースカードオープン！　聖なるバリアミラーフ  
オース　！これで、ロードオブドラゴンだけは破壊する！」

「だが攻撃は止まらぬぞお！」

「ぐっ。」

遊夜LP2000＝1300＝800　手札2

場

・魔法族の里

「ふうん、善戦したが、これで終わりだ。カードをセットし、ター  
ンエンド。」

海馬LP1500　手札1

場

・青眼の白龍（攻3000）

・青眼の白龍（攻3000）

・罨

「遊夜、大丈夫ですか!?!」

「ああ、大丈夫だシーク…。俺の…。ターン!」

遊夜LP800 手札3

「…俺は!魔導騎士ディフェンダーを召喚!そして、魔法カード、死者蘇生 を発動!甦れ、ブラックマジシャン!」

「モンスターを召喚してダイレクトアタックを防ごうとしているのか…甘いな。」

なんでそう勝手に決めつけるかな…。

「違うぜ…。攻撃表示だ!手札から 天よりの宝札 を発動!」

このカードに賭ける!

「ふうん、俺は5枚ドロ。」

「俺は6枚ドロ。…!」

また来てくれたか、サバティエル。

「賢者の石サバティエル を発動!LPを半分にし!デッキから黒の魔法神官を手札に加える!また、ディメンション・マジック を発動!ディフェンダーを墓地に送り、現れる!サイバネティック・マジシャン!効果で青眼の白龍を破壊!」

遊夜LP400 手札3〓6〓4

場

- ・ブラックマジシャン（攻2500）
- ・サイバネティックマジシャン（攻2400）
- ・魔法族の里

「ふはははは、そんなものじゃ俺のブルーアイズには勝てん！」

「永続魔法、一族の結束を発動！この効果は墓地にあるモンスターの種類が1つだけの時、その場にいる同じ種族のモンスターの攻撃力を800上げる！」

「なん・・・だと・・・？」

ブラックマジシャン（攻2500＝3300）

サイバネティック・マジシャン（攻2400＝3200）

「サイバネティックの効果！手札を一枚捨てることに場のモンスターの攻撃力を2000にする！」

青眼の白龍（攻3000＝2000）

「そして場のレベル6以上の魔法使い族2体を生贄にし、こいつを特殊召喚する、来い！黒の魔法神官！」

「こ、攻撃力が3200…！俺のブルーアイズより高い…だと…！？」

「きたよ遊夜君のエースモンスター！」

「ああ、きやがったぜ！」

あれ？なんか勝手にエースになってるな黒の魔法神官。…まあいいか。

「一族の結束　の効果で攻撃力4000！」

「俺のオベリスクと同等だと・・・！？」

「黒の魔法神官の攻撃！」

「くつ罨カード発ど「無駄だ！黒の魔法神官が場にあるとき、罨カードの発動と効果を無効にできる！」ば、馬鹿な！？」

「くらえええ！」　「ぐあああああああああ！！」

海馬LP1500⇨500

遊夜LP800

…実際、黒の魔法神官出さなくても勝ってたな。なんか出したら海馬に精神ダメージがあるかと思ったがそのとおりだったな。【破壊輪】か…どっちみち手札の　ディメンション・マジック　で勝ってたな

「遊夜の奴、海馬に勝ちやがった…。」

「すごい…やっぱりすごいよ遊夜君は！」

「そんな…兄様が負けるなんて・・・。」

・・・あれ？これ全国放送ネットだっけ？…（冷や汗ダラダラ）

『調子に乗りましたね…。』

しまった……。。

「くっ、パズルカードだ。…そして、……このカードを…」

・・・げっ、オベリスク…。

「…知らない、それはあんたが持つてるほうがいい。パズルカードだけでいい。」

一応こんな召喚の重いカードもらっても意味ないし、一族も無意味になるし。

「むう…ルールはルールだ…。」

うゝん…なら…。

「ならば、代わりに魔法使い族のカードをいただけますか？」

「ふうん、なら、我が社にあるカードを一枚好きなものを持ってくがいい。」

「ありがとうございます。」

…バトルシティが始まったか。

俺はいつたいどうすりゃいいんだろうな。

『自分の好きなように生きよう。あなたがそういったんじゃないですか。』

シーク…

「そうだな。じゃあ、このバトルシティで優勝を目指すか。」

『はい、遊夜の仰せのままに。』

よし！待ってる！俺の、俺たちのバトルシティ！

海馬戦：積み込み？DM6よりはましだ。（後書き）

はい、拉致です。拉致されました。バトルシティ編では、レアハンターを倒し、真紅眼を手に入れ、別れて、羽賀を倒し終わった時間帯ですかね。・・・あれ？時間なくね？

あと、鉄腕ゴーレムは原作でもレベル5です、原作だから何でもアリで・・・。

## 主人公設定　　バトルシティ編　（前書き）

えー、まず、バトルシティに入る前に（もう入ってますが）主人公、天月遊夜の設定を書いておこうと思います。

## 主人公設定　～バトルシティ編～

### 【名前】

【転生前】  
あまつぎ　ゆうや

天月　夕夜

【転生後】  
あまつぎ　ゆうや

天月　遊夜

### 【年齢】

16歳（転生前）

### 【容姿】

転生前

黒髪黒目、中立的な顔立ち

転生後

金髪青目

髪型は神々の正三角を探す勇者

<http://3811.mitemin.net/i33846/>

### 【性格】

クールに振舞おうとはしているが、なることができなく、すぐ熱くなる熱血漢

仲間を侮辱されたり、デュエルのことになると手がつかなくなる。

しかし、本気でキレると…

ていうのだったらいいなあ…

### 【好きなもの】

- ・デュエル
- ・ゲーム
- ・友達
- ・運動

#### 【嫌いなもの】

- ・仲間を侮辱する者
- ・デッキを批判するもの
- ・辛いもの全般

#### 【運動神経】

普通は十代と同じ感じ

魔力を纏<sup>へ</sup>うとオリンピック選手顔負けの運動神経  
精霊と同化（十代みたいに）するとレベルに応じてさらに運動能力  
が上がる

#### 【能力】

ドロー力 【A+】 デッキ構築能力 【B-】

頭脳 【B+】 状況判断力 【A】

運 【A-】 デュエルタクティクス 【A-】

使用するデッキ

【マジシャンズ・ロック】：魔法族の里や王宮のお触れなどでロツクしながらデイメンション・マジックなどで上級モンスターを召喚するデッキ。主にブラック・マジシャン（シーク）を主体にしたデッキ

#### 【???】

魔力カウンターを主軸に組んだデッキ

【???】

もしもの時のデッキ、使わないかも

備考

遊夜の生前に使っていた魔法使い族をデッキを改良したデッキ、こっちは制限リストなどが緩いので、生前に比べると性能はまあまあ上がったが、元のデッキが弱いので、本当にまあまあである。

【特殊スキル】

精霊魔導士

魔力<sup>ヘカ</sup>を使い、戦闘をする魔導士、ブラック・マジシャン（シーク）に師事してもらい、なったもの、魂<sup>バ</sup>に宿りし精霊と同化できるが、遊夜は分離もできる。でもあまり意味はない、実際後半の十代みたいなもの

備考

生前はただの高校生だったが、神の手違いにより、遊戯王の世界に転生する。

デッキ作りはあまり得意じゃなく、（作者の力量がダメなわけです）回りそうにないが、精霊が近くにいて、デッキを信じているので回っている感じ。十代（後半）のようにモンスターを実体化させることができる。結構喧嘩に強い

【精霊】

シーク

ブラック・マジシャンの精霊、遊夜のパートナー

【性格】

優しいお兄さんの

【容姿】

涼宮ハ○ヒの憂鬱の古泉のニコニコ顔

遊戯のマハードが紫髪でシークは金髪青眼

## 主人公設定　くバトルシティ編く（後書き）

…挿絵もしたいんですが、どうすればいいでしょう、誰かやり方を教えてください。

来いよ蟲野郎！（前書き）

はい、H A G Aです。ずっと俺のターンです。でも、意味はありません。芳賀に精神的ダメージを大幅に与えるための大量展開みたいな感じです。何か羽賀ってこういうのに弱そうですからね（笑）

来いよ蟲野郎！

今俺は海馬コーポレーションを離れ、対戦相手を探しに歩いているが、

「…はあ…やつぱり、俺見るたびにみんな逃げてくよな、シーク。

」

そう、あの海馬を倒した俺を見るたびに、対戦相手が逃げていくのだ。

「仕方がないですよ、それだけのことをしてしまったのですから。」

誤解を招く言い方はやめてくれ、俺は普通に決闘しただけだ。

「それが、今の原因ですよね…。」

これじゃ、バトルシティ勝ち残れそうにないぞ…

『あきらめないでくださいよ、遊夜。』

当たり前だぜ、しかしやばいぞ…、…どっかそこらへんのやつ捕まえて無理やり決闘するか…？

「ひょゝ、っひよ、っひよ、っひよ。」

…この間に触るうざったらしい声は…

「お前があ海馬瀬戸を倒した天月遊夜か、おい、俺と決闘しろ！」

…やっぱり羽賀<sup>ザコ</sup>か、いいだろう、返り討ちにしてやるぜ！

「いいぜ。」

「「<sup>デュエル</sup>決闘！！」」

遊夜LP4000

羽賀LP4000

「俺の先攻！ドロー！」

あれ、やっぱり早いもん勝ちなのか？先攻って

羽賀 手札6

「俺はヘラクレスビートル（攻1500）を召喚！そして、カードを伏せ、ターンエンドだ！」

あの顔からして、伏せは攻撃反応型…竜崎を倒したあのカードっぱいな。

羽賀 手札4

場

・ヘラクレスビートル

・罨

（次のターン、お前は終わりさ！このセットカードはメサイアの蟻地獄、そして手札には代打バッター、インセクト女王<sup>クイーン</sup>、殺虫剤がある、もちろん仕組んだものだぜ、これで俺の勝ちだひょゝ、ひよっ

ひょー！！）

…なんかイカサマしてそうだな羽賀のやつ…ありえそうだな。だが、残念だがお前に次のターンは、回ってこない。原作で読んだとおり、召喚反応型、カウンターカードなどは入っていないことは分かっているからな！

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札6

「俺はマジカル・コンダクター（攻1700）を召喚！そして魔法カード、強欲な壺を発動、2枚ドロ魔法族の結界を発動、効果でマジカル・コンダクターにカウンターが2つ乗る、そして、光の護符剣、カウンターが2つ乗る、そして、ハリケーン、全ての魔法、罫を手札に戻す、カウンターが乗る！」

「お、俺の罫が・・・。」

遊夜 手札6 ↓ 4 ↓ 5

場

・マジカル・コンダクター（攻1700） 魔力カウンター 8

そして、魔力カウンター6つを取り除き、手札から取り除いたカウンターと同じレベルのモンスターを手札から特殊召喚できる。来い、ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）！」

「はっ、ははは！何が出るかと思ったら、レベル6のくせに攻撃力2000の雑魚モンスターか。」

…雑魚だと？

「おい、今なんて言った？」

「は？聞こえなかったのか？雑魚といったんだ。」

…こいつ、人のカードを海に捨てるわ、人のデッキに勝手にカードを入れるわ、今度は人のカードを雑魚よばわりだと？絶対に許さねえぞこいつ。

「…俺は、魔法カード発動、賢者の宝石、こいつはブラック・マジシャン・ガールがいる時、デッキ、手札からブラック・マジシャンを特殊召喚できる、来い、ブラック・マジシャン（攻2500）。」

「な、なんだと…そんなカードがあるなんて聞いてないぞ…。」

お前はヘラクレスビートル（攻1500）1枚、こっちは1700、2000、2500、これでもう勝てるが、人のカードを侮辱した罪は重い、まだまだいくぜ。

「マジカル・コンダクターにカウンターが乗る、そしてさっきの魔法カード2枚、光の護符剣、魔法族の結界を発動、カウンターが4乗る」

マジカル・コンダクター 8

「そして、命削りの宝札を発動、カードを5枚ドロ、マジカル・コンダクターに（ry」

マジカル・コンダクター 10

遊夜 手札5

場

- ・マジカル・コンダクター（攻1700） カウンター10
- ・ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）
- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・光の護符剣
- ・魔法族の結界

…うん、相手もう震えてるぞ、だが、手加減はしない！

「手札から魔法カード魔法族の里を発動、効果でカウンター（ry」

マジカル・コンダクター 12

「そして、場の2体のレベル6以上の魔法使い族を生贄にし、来い、黒の魔法神官（攻3200）！」

「あ、ああ…。」

「手札から魔法再生を発動！効果で魔法カードを1枚手札に加える！」

これ、絶対禁止カードになるよね、だってノーコストで強力な魔法カードに変わるんだぜ？

「俺はハリケーンを手札に戻す。そして発動。」

遊夜 手札5 ↓ 3 ↓ 5

場

・マジカル・コンダクター（攻1700） 16  
・黒の魔法神官（攻3200）

この手札の内、3枚は一定のカードだ、ならば、

「賢者の石サバティエルを発動、LPを半分払い、このカードをデッキに戻したあと、効果でデッキが墓地からカード1枚を手札に加える。打ちでの小槌を手札に加え、発動！このカードと魔法カード3枚をデッキに戻し、4枚ドロー！効果で（ry」

マジカル・コンダクター 18

遊夜LP4000↓2000

手札6

…フツ、いいカードが舞い込んだ。

「死者蘇生を発動！蘇れ、ブラック・マジシャン（攻2500）！そして速攻魔法カード、光と闇の洗礼を発動、ブラック・マジシャンを生贄に、デッキから、混沌の黒魔術士（攻2800）を特殊召喚！効果で墓地から魔法カードを一枚手札に戻す。俺は魔法再生を手札に加える。そして発動、死者蘇生を選択する。そして発動、効果でブラック・マジシャン（攻2500）をもう一度特殊召喚！！」

「遊夜、あなたは私を何度場に呼ぶのですか？」

…えつと…3度目だな。

「前世では一回でも召喚されれば多かった方でしたよ…。」

マジカルコンダクター 26

遊夜LP2000 手札3

場

・マジカルコンダクター（攻1700） カウンター26

・ブラック・マジシャン シーク（攻2500）

・混沌の黒魔術士（攻2800）

・黒の魔法神官（攻3200）

「そして、死ねばもろとも！発動！お互いの手札が3枚以上の場合、手札を全て捨て、カードを5枚ドロー。しかし、発動者は自ら捨てたカード数×100ダメージを受ける。俺は死ねばもろともを合わせ、3枚、よって、300ダメージ！」

遊夜LP2000↓1700

手札5

マジカルコンダクター 28

「そして、今引いた賢者の石サバティエルを発動、効果でデッキから打ちでの小槌を手札に加える。そして発動、手札をすべて戻し、5枚ドロー。」

遊夜LP1700↓850

マジカルコンダクター 32

うん、俺ほんと何したいんだろ、エグゾディアを揃えるわけもなく、ただ、手札交換とかの魔法カード多様で魔力カウンター貯めてるだけじゃないか…。まあ、相手には何かしているみたいに感じ、絶望しているような表情をしているがな。

「…俺は、魔法カード発動、騎士の称号、ブラック・マジシャンを生贄に、デッキか手札からブラック・マジシャンズ・ナイト（攻2500）を特殊召喚、特殊召喚に成功したとき、相手モンスター1体を破壊する。」

「俺のヘラクレスビートルが！」

…ぶっちゃけ、壁にもならないぞ。今の状況は。

「そして、魔法カード発動、早すぎた埋葬。こいつは800ポイント払い、墓地からモンスター1体を特殊召喚。俺はブラック・マジシャン（攻2500）を蘇生。」

『あなたは本当に…いくら私を呼び出せば…。』

…シーク、なんかほんとにゴメン。

遊夜LP850↓50 手札5↓3  
場

- ・マジカルコンダクター（攻1700）
- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・ブラック・マジシャンズ・ナイト（攻2500）
- ・混沌の黒魔術士（攻2800）
- ・黒の魔法神官（攻3200）

…やりすぎたか…？だが、人のカードを侮辱する決闘者の風上にもおけない奴にはこの程度でもまだまだだが…これ以上やれないしな、10000越えのオーバーキルで許してやるよ。

「全員で虫野郎<sup>はが</sup>にダイレクトアタック！！ 混沌五重魔法呪文<sup>カオス・ファイブ・マジックスペル</sup>！！

「！」

「うわああああああああああああああああああ！！！！！！」

羽賀LP4000 ↓ 2300 ↓ 1200 ↓ 12700 ↓ 15500  
↓ 18700

「そしてデイメンション・マジック！ブラック・マジシャンズ・ナイトを生贄に、現れる！魔導騎士ディフェンダー（攻1600）そして追撃！！」

羽賀LP18700 ↓ 110300

遊夜LP50

「そんなあゝ、この俺がワンターンキル、及びオーバーキルされるなんてゝ。」

「あ、そうそう、俺、TV見てた頃から（見ていません）言ってみたかったけど、…お前、絶対弱いだろ。」

「ガーン！！ Σ（。D 一一一）」

「さてと、アンティールだ、パズルカードとレアカードを渡してもらおう。」

「く、くっそー！！この俺がレアカードを2枚も奪われるなんてゝ！！」

…究極完成体グレートモス…いるかこんなもの！！…別に、魔法使

い族じゃなけりやデッキに入れないがな。これでパズルカードは3枚、なまじ会場を知っているから行きたいが、6枚持っていないから、さっさと集めるか。…イシズさん梓とつてもいいよな？さて、次の標的えものを探しに生きますか。

『遊夜、次はどこらへんを歩きますか？』

大通りに行こう、あそこなら人が集まるしな。

『そうですか、では行きましょうか。』

あと3枚、楽しそうで楽しくない道のりっばいな…。

来いよ蟲野郎！（後書き）

なんか、チートドロとドロ強化カードがすごいことに……。こんなはずじゃあ……。GXだったらあそこに一族の結束を使って更にと  
思ったのですが

竜崎…強くな？（前書き）

あれ？なんかカードの時系列とか攻撃力とかがもう簡単に青眼の白龍を超えた・・・

竜崎…強くな？

さつき虫野郎を倒し、決闘者<sup>デュエリスト</sup>を求め、大通りの方にやって来た、確かここには竜崎と紹場がいたよな…っと、いたいた、竜崎。

『次の相手はあの帽子をかぶった少年ですか？』

「ああ、一応年上だけだな。」

そう言い、竜崎に話しかける。

「おい、決闘<sup>デュエル</sup>しろよ。」

…遊星だね。あのセリフは名台詞だ。

「ああ？なんやワレ？ってお前は海馬瀬戸を倒した決闘者<sup>デュエリスト</sup>やないか  
！」

一応、俺のことは知ってるだな。

「ああ、日本大会2位の实力を持つあんと戦いたくてね。」

実際、楽に倒せるから。

「へえ、あんたにそんな評価をもらつとるなんて光栄やわ。いいで、やったるうやないか！」

「ああ、だが、手加減はしない！」

さて、こいつは人のカードを侮辱したりする卑怯な真似はしないと  
思うが、したらな・・・。

「<sup>デュエル</sup>決闘！！」

遊夜 LP 4000

竜崎 LP 4000

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札 6

まずは様子見をしてみるか。

「俺は魔導騎士ディフェンダー（守2000）を守備表示で召喚し、  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ。」

遊夜 手札 4

場

・魔導騎士ディフェンダー（守2000） カウンター 1

・魔法

「ワイのターンや！」

竜崎 手札 6

「ワイはこのモンスター、この俊足のギラサウルス（攻1400）  
を特殊召喚や！このモンスターは特殊召喚したとき、相手の墓地の  
モンスター1体を相手の場に特殊召喚できるが、お前の墓地には一  
体もモンスターはおらん、よって、効果は無効になる！そしてワ

イはギラサウルスを生贄にして、暗黒トリケラトプス（攻2400）を召喚や！」

攻撃力2400、貫通効果を持つモンスターか、少しやばいか・・・？

「そして攻撃や！ 怪鳥けちよう ！！」

「だが、ディフェンダーに寄せられたカウンターを取り除き、破壊を無効にする！！」

「だが、貫通ダメージは受けてもらうで！！」

遊夜LP4000↓3600

「そしてワイはカードを2枚伏せ、ターンエンドや！！」

竜崎 手札2

場

・暗黒トリケラトプス（攻2400）ダーク

・魔法

・罨

「俺のターンだ！！」

遊夜 手札5

場

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

・魔法

「俺は 賢者の石サバティエル を発動、効果でLPを半分払い、このカードをデッキに戻し、墓地、デッキからカードを1枚選択し、手札に加える。俺は魔法カード、ディメンション・マジック を選択する。」

遊夜LP3600↓1800

「そして俺は久遠くおんの魔術師ミラ（攻1800）を召喚、効果発動、相手のセットされたカードを確認出来る、これに対して魔法、罫は発動できない。」

右のセットカードは突進か。なかなか面倒なカードだな。

「俺は ディメンション・マジックを発動。久遠の魔術師ミラを生贄に、来い！ブラック・マジシャン（攻2500）！！」

シーク…何故殆どデュエルの決闘で初期手札に来るのだろうか？

「こ、攻撃力2500やと…！？」

「そして ディメンション・マジック の効果でフィールドのモンスター一体を破壊、俺は暗黒トリケラトプスを選択。」

「そしてディフェンダーを攻撃表示（攻1600）にして2体で攻撃！デュアルマジック 二乗合成魔法 ！」

「へっ！ワイはリバーズカード発動！ 化石発掘 や！こいつは手札を一枚捨て、墓地からモンスター1体特殊召喚できるんやで！ワイはこの効果で捨てた墓地の暗黒恐獣ブラックティラノ（攻2600）を特殊召喚や！」

「もう一つのカードは蘇生カードだったか！くっ、攻撃を中断、永続魔法カード発動！マジック・サンクチュアリを発動！お互いに魔法カードを選択、手札に加える！カードを伏せ、ターンエンドだ！」

遊夜 手札2

場

- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・魔導騎士ディフェンダー（攻1600）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・セットカード
- ・セットカード

「ふふふ、ワイのターンやで！」

竜崎4

場

- ・ダークティラノ暗黒恐獣（攻2600）
- ・魔法カード（突進）
- ・化石発掘

「ワイはこのままブラック・マジシャンに攻撃や！！」

「俺は 禁じられし聖杯 を発動！モンスター1体の効果を無効化し、攻撃力400上げる。」

ブラック・マジシャン（攻2500↓2900）

「なら 突進 を発動や！！攻撃力700アップ！！」

暗黒恐獣（攻2600↓3300）

「ハハハワイの勝ちや！」

「そいつはどうかな？」

「何やと！？」

「俺はもう一つのセットカード、永続魔法カード、…一族の結束を発動！墓地の種族が1つのみの場合、自分の場のモンスター全ての攻撃力800アップ！！」

ブラック・マジシャン（攻2900↓3700）

魔導騎士ディフェンダー（攻1600↓2400）

「し、しもうた、これなら魔導騎士ディフェンダーに攻撃しとけばよかったでー！！」

竜崎LP4000↓3600

「くっ、ワイはモンスターを守備表示、そしてカードを1枚伏せ、ターンエンドやー！！」

竜崎 手札2

場

・ハイパーハンマーヘッド（守1200）

・罨

「俺のターン！」

遊夜 手札3

場

・ブラック・マジシャン（攻3300）

・魔導騎士ディフェンダー（攻2400）

・一族の結束

・マジック・サンクチュアリ

…バウンスカードか、厄介だな…。

「俺はディフェンダーで攻撃！」

「ハンマーヘッドの効果でディフェンダーをバウンスや!!」

「ならブラック・マジシャンでダイレクトアタック! 黒・魔・導<sup>ブラックマジック</sup>  
!!」

「ちょいまちや!! 罠カード ヒーロー見参 発動や! わいの手札は2枚、どっちを選ぶ?」  
「俺は、右を選ぶ。」  
「これはモンスター、よってこのカード<sup>アルティメット・ティラノ</sup>究極恐竜（攻3000）を特殊召喚や!!」

「ふつ、だが攻撃力3000、楽に倒せるぜ!!」

「くうう・・・!」

竜崎LP3600↓3300

「俺はもう一度魔導騎士ディフェンダー（守2000）を召喚しターンエンド。」

遊夜 手札3

場

・ブラック・マジシャン（攻3300）

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

・一族の結束

・マジック・サンクチュアリ

「（ワイの切り札が…！）ワイのターン…！！！」

竜崎2

竜崎のあの顔…！！ま・さ・か！！

「ワイは 天よりの宝札 を発動や！！」

やっぱりか！！

「ワイは5枚ドロー！！」

「俺は3枚ドロー。」

やばくなってきたな。

「ワイはまず 大嵐 を発動や！！」

くっ！！一族の結束が破壊されたのは痛い！！

「そしてワイは マジック・サンクチュアリ で加えた 死者蘇生  
アルティメット・ティラノ  
を発動や、蘇れ！究極恐竜（攻3000）！！」

3000か、今の状況は辛いぞ・・・！

「そしてブラック・マジシャンに攻撃や！！」

「ディフェンダーの効果で破壊を無効！！」

遊夜LP1800↓1300

「だが、究極恐竜は場のモンスター全てに攻撃できる！魔導騎士デ  
ィフェンダーを破壊や！そ

してわいはカードを2枚伏せ、ターンエンドや。」

竜崎 手札2

アルティメット・ティラノ

・究極恐竜

・魔法

・罨

「俺のターン！」

遊夜 手札7

場

・ブラック・マジシャン（攻2500）

このカードは！！

「俺はこのカード、魔術の呪文書を発動、この効果でブラック・マジ  
シヤンの攻撃力を1000アップ！3500だ！」

「それにチェインして、サイクロン！それを破壊や！！」

マジで何があつた竜崎、別人じゃね!?

「だが破壊されたことでLP1000回復。」

遊夜LP1300↓2300

「ちいつ、LP回復か!！」

「俺はガガマジシャン(攻1500)を召喚!そして効果発動!俺が宣言するレベルは7!」

「レベルを宣言して…?まさか!！」

「そう、そのまさかさ!ガガマジシャンとブラック・マジシャンを生贄に、黒の魔法神官(攻3200)を特殊召喚する!」

「攻撃力3200…!さすがやで…!!(だがセットカードは収縮、これで…!!)」

「俺はフィールド魔法発動!魔法族の里を発動!！」

遊夜 手札3

場

- ・黒の魔法神官(攻3200)

- ・魔導騎士ディフェンダー(守2000)

- ・魔法族の里

「それにチェーンして収縮!!黒の魔法神官の攻撃力を半減させるで!！」

黒の魔法神官攻3200↓1600

「つつ！カードを2枚伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札1

「ワイのターン！！」

竜崎 手札3

場

アルティメット・ティラノ

・究極恐竜（攻3000）

・罨

「ワイはもう一体のギラサウルスを特殊召喚（攻1400）！！さあ、墓地からモンスターを召喚しいや！！」

「俺はブラック・マジシャンを（守2100）で召喚！」

「そしてワイは2体を生け贄に、こい！超伝導恐竜（攻3300）  
スーパーコンダクターティラノ！！」

「げっ！3300…！！」

「そして攻撃や！！」

「ぐっ・・・！俺は罨カード発動！時の機械、タイムマシーン！！これは特殊召喚扱いではないから黒の魔法神官にも適応！！」

「ちっ、結局罨はつかえんか！！」

遊夜LP 2300 ↓ 2200

「ワイはターンエンドや!!」

竜崎 手札1

場

スーパーコンダクターティラノ

・超伝導恐竜(攻3300)

・罨

「俺の…ターン!!」

遊夜 手札2

・黒の魔法神官(攻3200)

・ブラック・マジシャン(守2100)

・魔法

・魔法族の里

「俺は、魔法カード発動！賢者の石サバティエル！LPを半分払いデッキに戻し、魔法カード、一族の結束を手札に戻す!!」

遊夜LP 2200 ↓ 1100

「そして発動!!」

黒の魔法神官(攻3200 ↓ 4000)

ブラック・マジシャン(攻2500 ↓ 3300)

「…ワイの負けか、クソっ！悔しいなあ!!」

「ああ、だが、お前はすごかったぜ！」

「そう言ってもらえば悔しいが少し嬉しいわ！」

「また、決闘<sup>デュエル</sup>しよう!!」

「ああ、またいつかな!!」

竜崎LP3300↓2600↓1700

「楽しかったぜ!竜崎!!」

「ああ、負けはしたが、いい決闘<sup>デュエル</sup>やった！」

「今度はアンティなしで決闘しよう！」

「ああ、ワイのカード、超伝導恐竜をやるわ。」

「いや、いらない、それはお前が持つてるからこそ輝く。」

「そうなんか?でもアンティルール…」

「俺がいいって言ってんだからいいんだよ。パズルカードだけで。」

「そ、そうか、ありがとうな!!」

「ああ、またな!!」

真紅眼奪われたあいつ、結構かわいそうだったからな。自業自得だ

が。

『結構いいデュエルでしたね。』

「ああ、あいつ、王国からあそこまで成長してるなんてな…だけど、なんで竜崎、紹場に負けたんだ？」

『わかりませんが、紹場という決闘者<sup>デュエリスト</sup>はあそこにいますよ。』

「そうか、じゃあ、あいつに決闘挑もうか。」

『分かっていますよ。遊夜。』

竜崎…強くな？（後書き）

竜崎いいキャラにしすぎたかな・・・？個人的に好きなんですよ竜崎。  
攻3300…ヤヴァイ。ブルーアイズ青眼超えた

## 執念深いゲールズボスマリク（前書き）

サーセン、紹場、デッキ資料が少なすぎてかけませんでした…。（苦笑）

そして出来が悪い感じが…あ、あとOCGと原作ごっちゃですぶっちゃけ言々とアニメ版天よりの宝札とOCG版天よりの宝札が同盟カードとして認められてるくらい

## 執念深いゲールズボスマリク

さっき竜崎リウサキを倒して、パズルカードが4枚になった。

「なんか原作より決闘者のレベルが高いような…?」

『ああ、神が言っていましたよ。決闘者少し強くするって。』

「そうか、そのせいで、さっき竜崎が強かったんだな。で、羽賀は？」

『ワンターンキルしたあなたが言うことじゃないでしょう…（苦笑）』

そっぴゃワンキルしたな…予想以上に弱かった

「おーい、お前、決闘しないかー?」

そう言い紹場に話しかける

「えっ…天月遊夜!？」

「わぁー本物だー」

「すごいすごい!」

なんか弟たちが集まってきたよ。

「ああ、弟たちがすまない、それで…決闘は、パズルカードがもう

ないから、出来ないんだ、すまないね。」

「そうか、城之内に強いって聞いて来たけど、無駄足だったか、じやあさ、バトルシティが終わったら決闘しようぜ!」

「ああ、それならいいよ。」

「そうか、俺はパズルカードを集めに行くから、またな!」

「ああ!」

そう言い終え、また決闘者を探しに出かけたが、すぐ、

「我らグールズと共に来てもらおう...。」

絶対マリクだ十中八九マリクだ

「ああ、いいぜ、どこへ行くんだ?」

いいぜ、誘いに乗ってやるよ。

「こっちだ。」

そう言い、ついていくと、とあるゲーム屋についた

「おいおい・・・パンドラ戦か?」

そう、俺や遊戯以外の只一人のブラマジ使い...でも確かコピーだったような。

「パンドラを知っているのかい？」

「遊戯に聞いた。」

そういうことにしておこう。

「へえ…。」

何か見透かされてそうだ…。

「待っていましたよ。」

「お前と決闘すればいいのか」

「勝てたら見逃してあげるけど、負けたら…。」

「負けねえよ、少なくとも今のお前にはな。」

闇マリクにはどうかかわからない。てかあいつはマジでやばいからな。

「減らず口を…パンドラ！やってしまえ！」

「分かっていますよ。」

「やるしかねえか。」

正直、決闘でここまで乗り気じゃないのは初めてかもしれないな。

「デュエル  
決闘！！」

遊夜 LP 4000

パンドラ LP 4000

「俺の先攻。ドロー！」

遊夜 手札 6

「俺は熟練の黒魔導士（攻1900）を召喚。そして魔法カード、マジック・サンクチュアリを発動。そして2枚伏せターンエンド。」

遊夜 手札 4

場

- ・熟練の黒魔導士（攻1900）

- ・マジック・サンクチュアリ

- ・魔法

- ・罨

「<sup>わたくし</sup>私のターン！」

パンドラ 手札 7

「<sup>そつせい</sup>創世の預言者（攻1800）を召喚します！そして洗脳ブレイン  
<sup>よげんしや</sup>コントロール！LP 800払い、相手モンスターのコントロールを  
得ます！！」

パンドラ LP 4000 ↓ 3200

ぶっちゃけ言うとか心変わりでよくね？って、そうか、こっちでは使えたな、ドロー系とかしか入れてなかったぜ。

デュアルサモン  
「そして二重召喚発動！2体を生け贄に、来なさい！ブラック・マジシャン（攻2500）！！」

来たな、パンドラ・マジシャン。あ、ちなみに、「遊戯のブラマジ  
Ⅱ紫」「俺のシークⅡ漆黑」「パンドラのブラマジⅡ赤紫」なんだ  
ぜ。

「そして、ブラック・マジシャンでダイレクトアタック！  
黒魔導  
！！！」

「リバーズカードオープン！マジシャンズ・サークル！！これでお  
互いのデッキから攻撃力2000以下の魔法使いを1体ずつ特殊召  
喚する！」

マジカル  
マリオネット  
「私は魔法の操り人形（攻2000）を召喚します。」

「俺はブラックマジシャンガール（攻2000）を特殊召喚！」

「だが結局は変わりませんよ！むしろ悪くなったみたいですねえ！」

「ふっ、リバーズカードオープン！一族の結束！」

アテム  
遊戯大好き結束の力！2積みしてるからすぐ来てくれて嬉しいぜ！

「この効果でブラックマジシャンガールの攻撃力は」

「2800ですと！？だが、魔法の操り人形に魔力カウンターが乗  
ります！よって攻撃力2200！！そしてメインフェイズ2！永続  
魔法カードエクトプラズマー発動！私は魔法の操り人形を選択、で  
すがその前に、魔法カード2枚によってたまったカウンター2つを

取り除き、ブラックマジシャンガールは破壊させていただきます！」

「ぐっ！」

遊夜LP4000↓2900

「ハハハハ！ターンエンドです！」

パンドラ 手札2

場

・ブラック・マジシャン（攻2500）

・エクトプラズマー

ぶっちゃけ言うと、飛ばしすぎじゃね？俺まだ手札4枚あるし、一族の結束もあるぞ？

「俺のターンだ！」

遊夜 手札5

場

・マジック・サンクチュアリ

・一族の結束

「俺は死者蘇生を発動し、ブラックマジシャンガール（攻2000↓2800）を特殊召喚！そしてこいつ、魔導戦士ブレイカー（攻1600↓1900↓2700）そしてブレイカーが召喚したとき付いたカウンターを取り除き、場の魔法、罠を1枚破壊する。マナ・ブレイク！」

魔導戦士ブレイカー（攻2700↓2400）

「そしてブラックマジシャンガールでブラック・マジシャンを攻撃  
ブラック・バーニング  
！ 黒魔導爆裂波 ！！！」

「ぬっっっっ！！」

「そして魔導戦士ブレイカーでダイレクトアタック！！」

「ぐはあ・・・！」

LP 3200 ↓ 2900 ↓ 500

「俺は1枚カードを伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札2

場

- ・ブラックマジシャンガール（攻3100）
- ・魔導戦士ブレイカー（攻2400）
- ・一族の結束
- ・畏

しまったな。エクトプラスマー破壊しなければ勝っていたのに

「くっ・・・私のターン！」

パンドラ 手札3

場

- ・無し

「私は強欲な壺を発動！！カードを2枚ドロー！そして装備魔法力

ード発動！強奪！効果でブラックマジシャンガールを私の場に！」

…奪われても、攻撃力2300だけど

「そして魔法カード発動！黒魔術のカーテン！LPを半分払い、デッキからブラック・マジシャン（攻2500）を特殊召喚です！」

LP500↓250

「師弟の絆を見せてあげなさい2体で攻撃！ブラック・バーニング・マジック……！」

「その弟子を盗んだお前がその技を口にすんじゃないー！！リバーScカードオープン！マジシャンズ・セレクト！こいつは場に魔法使いがいる場合、攻撃を無効にし、攻撃力が一番低い相手モンスターを破壊する！」

すまない、ブラックマジシヤンガール…。

「くっ！カードを1枚伏せ、ターン……エンドです……。」「

パンドラ 手札1

場

・ブラック・マジシヤン（攻2500）

・罨

「俺のターンだ！ドロー！」

遊夜 手札3

場

- ・魔導戦士ブレイカー（攻2400）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・一族の結束

「俺は賢者の石サバティエルを発動。命削りの宝札を選択。そして埋葬されし生贄発動。相手と自分の墓地のモンスターを1体ずつ除外し、手札からブラック・マジシャン（攻2500↓3300）を特殊召喚する！命削りの宝札を使い、カードを5枚ドロ！」

遊夜 手札5 LP2900↓1450  
場

- ・ブラック・マジシャン（攻3300）
- ・魔導戦士ブレイカー（攻2400）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・一族の結束

「あ、ああ……」

「そしてディメンション・マジック、魔導戦士ブレイカーを生贄にガガマジシャン（攻1500↓2300）を特殊召喚！効果であるたのブラックマジシャンを破壊！そしてガガガール（攻1000↓1800）を召喚！」

「な、なんだそのブラック・マジシャンとブラックマジシヤンガールによく似たモンスターは……！！」

「ガガガという、新しい魔術師だ。<sup>マジシャン</sup>2体を生け贄に黒の魔法神官（攻3200↓4000）を特殊召喚！天よりの宝札を使い、6枚ドロ！。早すぎた埋葬を使い、ブラックマジシヤンガール（攻2000↓2300↓2600↓3400）を特殊召喚。」

遊夜 手札5 ↓ 0 ↓ 6 ↓ 5    LP 1450 ↓ 650  
場

- ・ブラック・マジシャン（攻3300）
- ・ブラックマジシャンガール（攻3400）
- ・黒の魔法神官（攻4000）
- ・マジック・サンクチュアリ
- ・一族の結束

「3体の攻撃！ 超魔導波動弾 ちようまどうはどうだん ！！！」

「ぐはああああああああああ！！！！！」

パンドラLP 250 ↓ 13050 ↓ 16450 ↓ 110450

「俺の勝ちだぜ？マリク・イシユタール。」

「くっ、パズルカードとレアカードだ。次こそは君を負かしてみせるよ。」

しっこい！しっこすぎるぞマリク！

『執念というか何と言うか…（苦笑）』

「まあ、これでパズルカードはあと1枚次で終わるな。」

『はい、出来そうにないと言っておきながら着々と進んでいますね。』

「ああ、さ、次行こうぜ！」



## 執念深いゲールズボスマリク（後書き）

はい、マジシャンズ・セレクトはアニメで遊戯がバトルシティで使いましたね。

それと、オリ技名付けようかと悩んでいる作者です。技名付けていいでしょうか？

アトランティスって、クジラとか亀の儀式と相性悪いよな（前書き）

感想で言われて、アニメを見たんですが…10枚、置きましたね、  
バクラ戦でウイジャ磐のスペース開けるためにあのフィールド魔法  
使っていましたし。そして、梶木の喋り方、わからない・・・

アトランティスって、クジラとか亀の儀式と相性悪いよな

「さて、と、パズルカードもあと一枚か。」

『そうですね。というか、何故水族館へ？』

「そりゃあ、梶木と決闘デュエルしたいからだ。」

『梶木…というのはあの、魚族デッキを使う少年ですか？』

「ああ、そいつだ。結構好きな奴なんだ。」

『そうですか。ああ、つきましたよ。』

「ああ、…城之内が居るな。そうか、シャチのショーが始まる前か。」

「パンサーウォリアーで攻撃！ 黒・豹・疾・風・斬！！！」

…決まったな。やはり最後は伝説のフィッシャーマンだったか。

「さて、そろそろ行くか。シーク」

『はい。』

「おい、城之内！」

「おお、遊夜、お前もここに来たのか。」

「ああ、決闘者サーチ、だっけか？<sup>デュエリスト</sup>それを使ってここに来たんだ。」

嘘だ。原作を知っているから来たんだ。

「おお、俺もそれでここに来たんだ。」

「おい、城之内。お前こいつを知っとるんか？」

「ああ、梶木、俺の友達だ。」

「へえ、こんな友達おつたんやなあ。」

「ああ、俺の名は天月遊夜、<sup>あまつきゆうや</sup>あんたは？」

「オレは梶木漁太<sup>かじきりようた</sup>じゃい。お前も決闘<sup>デュエル</sup>ディスクをもっとるってことは決闘者なんか？」

「ああ、パズルカードも5枚集まっただぜ！」

「へー、俺はもう6枚集まってるぜ！」

お前と、気絶させられた&拉致られて時間なかったのに短期間で4枚集めた俺を比べるな！

「そうか。梶木だよな。俺とも決闘しないか？」

「おう、売られた決闘は買うのが礼儀じゃい！」

「そうか！なら、行くぜ！」

さっきのパンドラとの決闘よりも、やっぱ、楽しい決闘のほうがいいな。

「「デュエル  
決闘！！」」

梶木 LP 4000  
遊夜 LP 4000

「オレのターンからじゃい！」

梶木 手札 6

「オレはこいつを守備で召喚じゃい！」

海月<sup>クラゲ</sup> ジェリーフィッシュ  
通常モンスター

星4 / 水属性 / 水族 / 攻1200 / 守1500  
海を漂うクラゲ。半透明の身体で姿を確認しにくい

「海月か。確か電気に強いんだよな。」

「オレはカードを1枚伏せ、ターンエンドじゃ！」

梶木 手札 4

場

海月<sup>クラゲ</sup> ジェリーフィッシュ  
・セットカード (守1500)

「俺のターンだ。ドロー！」

## 遊夜 手札6

「俺は魔導騎士ディフェンダー（攻1600）を召喚だ。効果で魔力カウンターを乗せる。」

魔導騎士ディフェンダー

効果モンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1600 / 守2000

このカードが召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大1つまで）。

フィールド上に表側表示で存在する魔法使い族モンスターが破壊される場合、

代わりに自分フィールド上に存在する魔力カウンターを、破壊される魔法使い族モンスター1体につき1つ取り除く事ができる。

この効果は1ターンに1度しか使用できない。

「ディフェンダーで攻撃！」

「ならオレは罠発動！ フィッシャー・チャージ！ 効果で自分フィールド上に存在する魚族モンスター1体を生贄にフィールド上のカード1枚を破壊し、自分のデッキからカードを1枚ドロウするんじゃないじゃ！ オレは海月<sup>クラゲ</sup>を選択！」

「ディフェンダーの効果発動！ 召喚したときに乗ったカウンターを除去し、破壊を無効にする！ お前の場にはモンスターはいない。よって、ダイレクトアタックになる！」

「くっ！ カードを1枚ドロウ。」

梶木LP4000↓2400

「俺はカードを伏せ、ターンエンド。」

…手札にディメンション・マジックがあったら、1KILLできたのにな。

遊夜 手札4  
場

- ・魔導騎士ディフェンダー（攻1600）
- ・セットカード

「オレのターン！ドローじゃい！」

梶木 手札6

「オレは永続魔法 ウォーターハザード を発動じゃ！これは1ターンに1度、場にモンスターがいないとき、手札からレベル4以下の水属性モンスター1体を特殊召喚できるんじゃ！こい、深海王デビルシャーク（攻1700）！そしてヒゲアンコウ（攻1500）を召喚じゃい！」

しんかいおう  
深海王デビルシャーク

効果モンスター

星4 / 水属性 / 魚族 / 攻1700 / 守 600

このカードは1ターンに1度だけ、対象を指定しないカードの効果では破壊されない

ヒゲアンコウ

効果モンスター

星4 / 水属性 / 魚族 / 攻1500 / 守1600

水属性モンスターを生け贄召喚する場合、このモンスター1体で2体分の生け贄とする事ができる。

「やばいな…（セットカードは 聖なるバリアミラーフォース、  
デビルシャークは破壊できないか…。）」

「オレはデビルシャークでディフェンダーを攻撃じゃ！そしてヒゲアンコウでダイレクトアタックじゃ！」

…まだ、発動しないほうがいいか。

遊夜LP4000 ↓ 3900 ↓ 2400

「遊夜と梶木のライフポイントが並んだ！どうなるんだ！？」

城之内、ライフが並び、場は向こうの方がいいが、俺にはこの状況を打破出来る手札が揃っている。

「オレはカードを1枚伏せ、ターンエンドじゃ。」

梶木LP2400 手札2

場

しんかいおっ

・深海王デビルシャーク（攻1700）

・ヒゲアンコウ（攻1500）

・ウォーターハザード

・セットカード

「…はははっ。楽しくなってきたぜ！俺のターン！！」

遊夜LP2400 手札5

場

・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「俺は 死者蘇生 で俺の墓地のディフェンダーを場に特殊召喚し、それを生贄に、こいつを召喚だ！！」

ブリザード・プリンセス

効果モンスター

星8 / 水属性 / 魔法使い族 / 攻2800 / 守2100

このカードは魔法使い族モンスター1体をリリースして

表側攻撃表示でアドバンス召喚する事ができる。

このカードが召喚に成功したターン、相手は魔法・罠カードを発動する事ができない。

「れ、レベル8を一体で召喚じゃと…！？」

「それだけじゃないぜ、このカードが召喚に成功したターン、相手は魔法、罠を発動できないんだぜ。」

「な、なんじゃと！？」

「まだまだ、手札から 強欲な壺 を発動。2枚ドロ。そして、埋葬されし生贄 発動！これは自分と相手の墓地からモンスターカードを1枚ずつゲームから除外して発動する。自分の手札からレベル5以上のモンスターを表側表示で特殊召喚する。俺の墓地の魔導騎士ディフェンダー、梶木の墓地の海月<sup>クラゲ</sup>、ジェリーフィッシュ、

を除外し、手札からブラック・マジシャン（攻2500）を特殊召喚！！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100

魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス。

「くっ！！」

「ブリザード・プリンセスでヒゲアンコウ、ブラック・マジシャンでデビルシャークを攻撃！ ブリザード・ショットブラック・マジック 氷結弾 黒魔導！！」

「くっ！」

梶木LP2400 ↓ 1100 ↓ 300

「カードを伏せて、俺のターンは終了だ。」

遊夜LP2400 手札1

場

・ブラック・マジシャン（攻2500）

・ブリザード・プリンセス（攻2800）

・セットカード

・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「ハハハッ、強いのお遊夜、オレも負けるわけにはいかな。オレの、ターンじゃー！！」

梶木LP300 手札3

場

- ・ウォーターハザード
- ・セットカード

「オレは強欲な壺を発動じゃい！これで2枚ドロー。」

おいおい、ここで強欲を引いたのか。

「オレは 伝説の都アトランティス 発動じゃ！このフィールド魔法は「海」として扱うんじゃ。このカードがフィールド上に存在する限り、フィールド上に表側表示で存在する全ての水属性モンスターの攻撃力・守備力は200ポイントアップし。また、手札及びフィールド上の水属性モンスターのレベルは1つ下がるんじゃ。」

おいおい、海じゃなく強化版のアトランティスかよ。

「…オレはモンスターとカードをセット。ターンじゃ。」

梶木 手札1

場

- ・モンスター
- ・ウォーターハザード
- ・セット
- ・セット
- ・伝説の都アトランティス

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札2

場

- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・ブリザード・プリンセス（攻2800）
- ・セットカード
- ・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「俺はモンスターを召喚！」

召喚僧サモンプリースト

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 800 / 守1600

このカードはリリースできない。

このカードは召喚・反転召喚に成功した時、守備表示になる。

1ターンに1度、手札から魔法カード1枚を捨てる事で、

自分のデッキからレベル4モンスター1体を特殊召喚する。

この効果で特殊召喚したモンスターは、そのターン攻撃する事ができない

「それにチェーンし、げきりゅうそつ激流葬 を発動じゃいー！」

「んなつ！？」

やばい！俺にはもうすることがない！！

「くっ！ターンエンドだ！」

遊夜LP2400 手札1

場

・セットカード

・セットカード（聖なるバリアミラーフォース）

「オレのターンじゃ！！」

梶木LP300 手札2

場

・ウォーターハザード

・セット

・伝説の都アトランティス

「オレは ウォーターハザード の効果発動！手札からレインボー  
フィッシュ（攻1800）」

レインボーフィッシュ

通常モンスター

星4 / 水属性 / 魚族 / 攻1800 / 守 800

世にも珍しい七色の魚。捕まえるのはかなり難しい

「効果で攻撃力200アップ。攻撃じゃ！！」

「罨カード発動！！ 聖なるバリア ミラーフォース ！！相手モ  
ンスターの攻撃宣言時に発動！相手フィールド上に存在する攻撃表  
示モンスターを全て破壊するぜ！！」

「それにチェーンじゃ！！カウンター罨 魔宮の賄賂 ！相手の魔  
法・罨カードの発動を無効にし破壊するんじやい！！相手はデッキ  
からカードを1枚ドロウするんじやがな。」

「っ！！…ドロウ。」

遊夜LP2400↓400 手札1↓2

「オレはカードをセット。ターンエンド!」

梶木LP300 手札0

場

- ・レインボーフィッシュ（攻1800↓2000）
- ・ウォーターハザード
- ・セット
- ・伝説の都アトランティス

くっ…楽しいが、やばくなってきたな。

『神は、あなたと同等の決闘者<sup>デュエリスト</sup>レベルにしたみたいですね。』

「ああ、元の世界では、友達が除去ガジェや未来オーバー、宝札エグゾ、宣告者パーミッションとかで負けてばっかで、俺よりも滅茶苦茶強かったからな。というか、前世まともなバトルが見たことねえな俺…。特殊勝ちされたり未来オーバーのサイバーとハーフシャットのコンボでオーバーキルされまくったからなあ…。（泣）」

「お・・おい、大丈夫か!?!」

「あ、ああ、大丈夫だ。理不尽な過去の決闘<sup>デュエル</sup>を思い出して泣いていただけだ。」

「そ、そうか。」

「じゃあ、改めて…俺の、ターン!」

遊夜LP400 手札3

場

・セットカード

「俺は、永続魔法発動！ マジック・サンクチュアリ ！！このカードは発動時にお互いのデッキから魔法カードを1枚選択して手札に加える。そしてこのカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、互いのプレイヤーは全ての魔法カードを速攻魔法カードとして扱って発動する事が出来る。だが装備・永続魔法の特性は無効化されないがな。そして、今手札に加えたカード、天よりの宝札を発動！！お互いの手札は6枚になるようドロウする。」

遊夜・梶木 手札6

「俺は 賢者の石サバティエル を発動！効果でLPを半分払い、デッキ、墓地からカードを選択し、手札に加える。俺は 死者蘇生 を選択する。その後、このカードをデッキに戻し、シャッフル。」

遊夜LP400↓200

「 死者蘇生を発動。効果で墓地からブラック・マジシャン（攻2500）を特殊召喚！そしてさらに魔法カード発動。 師弟の絆 ！自分のフィールド上に「ブラック・マジシャン」が表側表示で存在する時に発動する事ができる。自分の手札・デッキ・墓地から、「ブラック・マジシャン・ガール」1体を特殊召喚する。この効果で特殊召喚した「ブラック・マジシャン・ガール」が戦闘でモンスターを破壊した時、自分はデッキからカードを1枚ドロウする。来い！ ブラック・マジシャン・ガール ！！」

ブラック・マジシャン・ガール

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1700

お互いの墓地に存在する「ブラック・マジシャン」

「マジシャン・オブ・ブラックカオス」1体につき、

このカードの攻撃力は300ポイントアップする

「そして、2体を生け贄に、黒の魔法神官（攻3200）を特殊召喚！」

「おお、来たか遊夜の切り札！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロファント・オブ・ブラック）

効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、  
罨カードの発動を無効にし破壊する事ができる

「こ、攻撃力3200!？」

「永続魔法 一族の結束 を発動！自分の墓地に存在するモンスター1の元々の種族が1種類のみの場合、自分フィールド上に表側表示で存在するその種族のモンスターの攻撃力は800ポイントアップする！俺の墓地には魔法使い族しかない、よって効果適応だ。」

黒の魔法神官（攻3200↓4000）

「攻撃力4000じゃと…どないせいつつーんじゃ!？」

…元の世界では4000なんてはした攻撃力なんだが…。まあ、こ  
ちでは驚異か。

あと、黒の魔法神官、ほんとにフィニッシャーになることが多いな。

「黒の魔法神官でレインボーフィッシュを攻撃!! セレスティア  
ル・ブラック・バーニング!!」

「うああああああああ!!」

梶木LP300↓1700

遊夜LP200

「…勝った、か…。」

今回はマジで危なかった。最後のターン、残りの手札2枚が 拡散  
する波動 と 魔法族の里 って。サバティエル引いてなかったら  
攻撃力2000以上のモンスターを出せなかったし…。

「はー、オレの負けか。おめえ強えな。」

「ああ、あんたも強いな。こっちも最後にあのカードを引かなけれ  
ば負けていたかもしれない。」

「へへー、そうだろ! ほれ、パズルカードとレアカードじゃ。…頑  
張れよ、遊夜、城之内! オレの分までやってくれよ!」

「ああ！」「もちろんだぜ！」

「これで、パズルカードが揃ったな。」

「ああ、さて、場所は…つと。」

「ここだな。」

「ああ！いこうぜ！」

…その前に、マリクがきて、洗脳されるけど。…邪魔したいが、真<sup>レッド</sup>紅眼<sup>ドレッドアイズ</sup>を遊戯のデッキに入れさせると、城之内の妹の目のために、今回は素直に通しておいてやるか。

アトランティスって、クジラとか亀の儀式と相性悪いよな（後書き）

コピー&貼り付けという楽な方法があっただすね。自分、ずっとあれをいちいち書いていたんだと思っていました。

## 遊戯VS洗脳城之内（前書き）

今回、ネタが思いつかないので洗脳城之内と遊戯の決闘をかき、ところどころオリジナルにしてみたいと思います。

## 遊戯VS洗脳城之内

今、俺は椅子に縛り付けられていて、目の前には洗脳された城之内と遊戯がむかいあっている。

「始めるぜ、遊戯…。生と死をかけた決闘をな…！」

「城之内君！正気を取り戻してくれ！」

「へっ、正気…い！？俺は正気だぜ？正気で遊戯、てめーをぶちのめしてえのさ！」

「遊戯！てめーは俺との決闘から逃げることはできねーぜ…。どちらかが命を落とす死の決闘からなあ！」

…うん、どうしてこうなったか思い返してみよう。

まず、デュエルが終わって、城之内たちと外に出たらマリクと獏良が来て、  
不良を城之内とぶちのめして、誰かに殴られて（多分マリク）気絶させられて、

ここまで連れてこられた。

…うん、状況把握完了だ。

で、今デュエルが始まるのか。

「…決闘…！」

遊戯LP4000

城之内LP4000

「俺のターン、ドロー…。」

ドローしたあと、遊戯は固まる。

「おらおらどうした！？早くモンスターを出しな！遊戯！」

「…俺は、クイーンズ・ナイト（守1600）を召喚。カードを1枚伏せ、ターンエンド。」

クイーンズ・ナイト

通常モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1500 / 守1600

しなやかな動きで敵を翻弄し、

相手のスキを突いて素早い攻撃を繰り出す

遊戯LP4000 手札4

場

・クイーンズ・ナイト（守1600）

・セットカード

…？原作やアニメと違い、バフオメットじゃなくてクイーンズ・ナイト？ということだ？

「（…シーク、いつでもでられるよう準備しておいてくれ。）」「

『了解です。』

「へっ俺のターンだな、ドロー！…はっ！俺は手札から魔法カード  
サンダーボルト を発動だ！こいつは無条件に相手モンスターを  
すべて破壊する極悪な効果だぜ！」

「なに！？」

…ここでライティングボルテックスじゃないのは、世界の修正力か  
何かか？

「さらに、俺はゴ布林突撃部隊（攻2300）を場<sup>フィールド</sup>にだし、装備  
魔法 デーモンの斧 を発動！これでゴ布林突撃部隊の攻撃力は  
1000アップするぜ！」

ゴ布林突撃部隊

効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻2300/守 0

このカードは攻撃した場合、バトルフェイズ終了時に守備表示にな  
り、

次の自分のターンのエンドフェイズ時まで表示形式を変更する事が  
できない

「攻撃力3300！？」

「へっ！遊戯にダイレクトアタック！！」

「くっ！罠カード発動！ 六芒星の呪縛 …このカードに攻撃を  
加えたモンスターは攻撃力を700下げ、さらに攻撃する事ができ  
ず、表示形式を変更する事もできない！！」

ゴブリン突撃部隊（攻3300↓2600）

「ちつ、だが、攻撃ができずとも、ダメージを与えることはできるんだぜ？遊戯！こいつを喰らいな！ファイアボール！！遊戯に500ポイントダメージを与える！！」

「ぐああ！！」

遊戯LP4000↓3500

「へへ…！お前のターンだぜ！遊戯！」

城之内LP4000 手札2

場

・ゴブリン突撃部隊（攻2600）

・デーモンの斧

「くっ…俺のターン！」

遊戯LP3500 手札5

場

・六芒星の呪縛

「俺は、洗脳・ブレインコントロール・を発動！LPを800払い、城之内君のゴブリン突撃部隊を俺の場と呼ぶ！」

遊戯LP3500↓2700

「小賢しい真似しやがって…！」

「俺は、ゴブリンを生け贄に、…デーモンの召喚を場に出す！」

デーモンの召喚

通常モンスター

星6 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻2500 / 守1200

闇の力を使い、人の心を惑わすデーモン。

悪魔族ではかなり強力な力を誇る。

デーモンの召喚だ！？ あれはバトルシティではギルファードデーモンになっていたはずだぞ！？

「デーモンの召喚でダイレクトアタック！ 魔<sup>まじつらい</sup>降雷！！！」

「ちっ！」

城之内LP4000↓1500

「へっ、効かねえよ…そんな攻撃い…！」

やっぱ真<sup>レッドアイズ</sup>紅眼じゃなきゃダメか？

「くっ、カードをセットし、俺のターンは終了だ…。」

遊戯LP3500 手札2

場

- ・デーモンの召喚（攻2500）
- ・セットカード

「俺のターン！ものマネ幻想師を召喚するぜ！こいつでデーモンの召喚の能力をコピーするぜ！」

城之内LP1500 手札2

場

- ・ものマネ幻想師（攻2500）

ものマネ幻想師

効果モンスター

星1/光属性/魔法使い族/攻 0 / 守 0

このカードが召喚・反転召喚・特殊召喚に成功した時、

相手フィールド上に表側表示で存在するモンスター1体を選択して発動する。

このカードの攻撃力・守備力は、  
選択したモンスターの元々の攻撃力・守備力と同じ数値になる

「何っ！？」

「くくくつ、行くぜ！モノまね魔降雷 ！！」

「くつ！！」

「俺は、強欲な壺を発動、カードを2枚引き、カードを2枚伏せ、

ターンエンドだぜ。」

城之内LP1500 手札1  
場

・セットカード  
・セットカード

「…俺のターン！」

遊戯LP3500 手札3  
場

・セットカード

「俺は、ビッグ・シールド・ガードナー（守2600）を召喚し、  
ターンエンド。」

ビッグ・シールド・ガードナー

効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻 1000/守2600

フィールド上に裏側表示で存在するこのモンスター1体を対象にする魔法カードの発動を無効にする。

その時、このカードは表側守備表示になる

え、こっちの鬼畜ガードナーかよ…。

「へっ、俺もターンだな。…俺は天よりの宝札を発動だぜ！精々いいカードをひけるよう祈るんだな！」

遊戯・城之内 手札6

「へっ。俺は手札2枚の デスメテオ を発動だ！これで2000のダメージを受けてもらっぜ！」

「ああああああ！！！」

遊戯LP 3500 ↓ 1500

「ハハハハハハ！！俺のデッキは最大限に火力を上げてあるのよ！モンスターカードなんて必要ないぐらい禁止カードでなあ！！俺は、ロケット戦士を召喚。ターンエンド。」

ロケット戦士

効果モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1500 / 守1300

自分のバトルフェイズ時、このカードは戦闘では破壊されず、このカードの戦闘によって発生する自分への戦闘ダメージは0になる。

このカードがモンスターを攻撃した場合、ダメージ計算後に攻撃対象モンスターの

攻撃力はエンドフェイズ時まで500ポイントダウンする

「く…き、君の決闘者<sup>デュエリスト</sup>の心は、少しも痛みを感じちゃいないのか…」

「ケッ、決闘者の心だあ…？知るかなもん。」

「…俺の全身を貫く痛みは…君のカードで焼かれた痛みなんかじゃない…。デュエリストとしての心を失ってしまった君への悲しみだ！！！」

「…俺はお前を潰すぜ遊戯…。お前のターンだ！！遊戯！！！」

…遊戯と交代するのか？

「…今度は僕が城之内君の相手だよ。」

「奴を出せ！てめえなんか俺の相手じゃねえ！！」

「僕のターンだ！…手札から魔法カード、エクスチェンジを發動！これで、お互いの手札を1枚交換する！」

「ケツ、どうせろくな手札が…！！れ、真紅眼！？へっ、俺はこいつを…！？なぜ取れないっ、うわああああアアアア！！？」

とったカードは…強欲な壺、ここも違うか。

「城之内君！！…僕は、クリボーを召喚、カードをセットし、ターンエンド。」

クリボー

効果モンスター

星1/闇属性/悪魔族/攻 300/守 200

相手ターンの戦闘ダメージ計算時、このカードを手札から捨てて発動する。

その戦闘によって発生する自分への戦闘ダメージは0になる

遊戯LP1500 手札3

場

・ビッグ・シールド・ガードナー（守2600）  
・クリボー（守200）

- ・セットカード
- ・セットカード

「くっ……。俺のターンだ！」

城之内LP1500 手札4  
場

- ・ロケット戦士（攻1500）
- ・セットカード
- ・セットカード

「俺は、リトル・ウイングカードを召喚。」

リトル・ウイングカード

効果モンスター

星4 / 風属性 / 戦士族 / 攻1400 / 守1800

このカードは自分のエンドフェイズに1度だけ表示形式を変更する  
事ができる

「クリボーを攻撃だ！！」

「くっ、畏カード 魂の綱 を発動！自軍モンスターが破壊された  
とき、LP1000払い、デッキからレベル4以下のモンスター1  
体特殊召喚する！僕が呼び出すのは、キングス・ナイト！！」

キングス・ナイト

効果モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1600 / 守1400

自分フィールド上に「クイーンズ・ナイト」が存在する場合、デッ

キから「ジャックス・ナイト」  
1体を特殊召喚する事ができる

「ちつ、生贄用を残しちまったか。ターンエンド。」

城之内LP1500 手札3

場

- ・ロケット戦士（攻1500）
- ・リトル・ウイングガード（攻1400）
- ・セットカード
- ・セットカード

「僕のターン!!」

遊戯LP1500 手札4

場

- ・ビッグ・シールド・ガードナー（守2600）
- ・キングス・ナイト（攻1600）
- ・セットカード
- ・セットカード

「僕は場の2体を生け贄に捧げ、レッドアイズ・ブラックドラゴンを召喚!!」

レッドアイズ ブラックドラゴン

真紅眼の黒龍

通常モンスター

星7 / 闇属性 / ドラゴン族 / 攻2400 / 守2000

真紅の眼を持つ黒竜。怒りの黒き炎はその眼に映る者全てを焼き尽くす

「レ、レッドアイズ…。」

「レッドアイズの攻撃！！リトル・ウィングガードに 黒炎弾 こくえんだん！！」

「くっ！」

城之内LP1500↓500

「ターンエンド。」

「お、俺の・・・ターン・・・」

「……………嫌だっ！俺はそんな記憶、刻みつけたくねえ！  
！」

…少し、驚いた。いきなり大声出すなど言ってやりたい。

「…この決闘デュエルの真の敗者が分かったよ、それは、マリク！お前だ！  
いくら洗脳しようと、城之内君はお前の言つとおりにならない！！」

「う、器如きが生意気に…！！」

「本当に僕に勝ちたいなら、復讐の念で攻撃してみろ！マリク！！」

「…デスメテオ…！！」

「!!」

「遊・戯……死ぬなあ！遊戯い!!」

「うん！リバースカードオープン！ 精霊の鏡　!! 相手が魔法力  
ードを発動した時のカウンター罠!! その魔法を掌握する!!」

~~~~~長い長いセリフ~~~~~

「君は、僕がひとりぼっちじゃないってことを……そして、勇気を教
えてくれた……。大切な親友だ!! 城之内君……大好きだ……!!」

「遊戯!!」

「精霊よ！デスメテオの対象は、僕だ！」

……そろそろ、行くか。

「行くぞ！シーク!!」

この縛ってる鎖は、頑丈だが、魔力を纏ヘカわせれば、意味はない！

ガキッ！

「おっと、そこまでだ。」

「遊夜!?!」

「遊夜くん!?!」

遊戯に近づくと、手錠の鎖を思いっきり引っ張り、壊す。さらに、

鍵の入っている箱を叩き割り、中から鍵を取り出し、遊戯の手錠を外した。

「お、おい、遊夜？どういうことだ？」

自分の手錠を外した城之内が話しかけてくる。

「どういうことって言われても、お前と一緒に気絶させられて、今やっと（嘘）外してきたところだ。」

「そ、そうか。」

「で、そろそろ来る頃だな（ボソッ）」

「え？何か言ったか？」

「いや？なんでもない。俺は先に行っておくよ。じゃあな。」

そう言っていると、遊夜は魔力で強化した状態でバトルシップまで走っていった。

遊戯VS洗脳城之内（後書き）

最後の方が、時間がなくなったので、やっつけになってしまいました。
た。m（| |）m

デュエルシップ、やっぱでかいな。（前書き）

イシズ梓強奪します。未来がかわりました（笑）

そしてここで書いたパック、なんというランダムパック。

今回は繋ぎ目なので短めです、

デュエルシップ、やっぱでかいな。

さつき遊戯たちと別れて、童実野スタジアム建設予定地に走ってきた俺は磯野からパスを貰い、デッキ構築を練り直している。

「…魔力カウンターデッキにしようか？いや、主力がアーカナイトマジシャン、シンクロだし、モンスターを直接攻撃するから禁止だな。」

…メタル化魔法反射装甲 を使えばオベリスクは攻撃力2000以上で勝てるし、禁じられし聖杯 でオシリス・ラーは1ターンのみ無効化できる。…元の世界では スキルドレイン だしなあ…あ！ エフェクト・ヴェーラー も使えるか。

そう言い、スタジアムの近くにあるカード屋でパックを買う。

『…あなたは2、3パックを買って、何故、あなたはサーチもせず に 団結の力 や 貪欲な壺 、 冥府の使者ゴーズ が当たるのですか？』

「知らないよ…けどなあ、団結もゴーズも貪欲も持つてるんだが…。」

『元の世界でゴールドパックに、Rとやらの付録に、交換で手に入れたカードですからね』

「まあいいや。城之内たちにあげるか。俺は使わないし。」

…実際、絶版になったカード、 転生の予言 が欲しかったな。ラ

ーが墓地に行ってもデッキに戻せるから。ダンディ も欲しかったが、魔法使いには合わないしな。

『 無欲な壺 というほぼ同じ効果のカードがあたりましたが。そこらはどうでしょうか？ 』

「いや、死者蘇生 でラーを蘇らせるのを防ぐためには罠か速攻魔法じゃなきゃダメなんだ。」

…あれ？いつの間にかラー対策を始めてしまった。別に俺がマリクと戦うというわけでもないのに。

- - - - -

「よお、遊戯。城之内。やっと来たのか。」

「なあ、俺たち（舞）は全力で車を飛ばしたのに、なんで先にお前が着いてるんだよ。」

「シーク達精霊を舐めないでもらいたい。」

「あ、ああ…。」

パックを買い、戻ってきたところ、遊戯たちがほぼ同じタイミングで到着した。

「？…ねえ、あんたって、どっかで見たような…？」

孔雀舞が聞いてくる。

「あー、ほら、朝、海馬と生放送でデュエルして勝った奴だ。」

城之内、その言い方はなくないか？

「ああ！そうだ思い出した！天月遊夜だったね！」

「ああ。」

話している間に時間になった。

「本戦出場の方は、速やかに集まってください。」

「…集まったはいいが、ここでデュエルするのか？」

「ふん、やはり凡骨は凡骨だな。」

「凡骨って言うなあ！」

「落ち着け、城之内、海馬、その言い草だと、何か宇宙そらでデュエルするとは言わないよな？」

「ふうん、さすが俺を倒した決闘者、勘が鋭いな。」

その時、

ゴオオオオオオオオオオ

「な、なんだなんだア！！؟؟」

空に飛行船が現れる。やっぱでけえな…。

「これが決勝へ進むデュエルをする舞台！名付けて【デュエルシップ】！！」

「まあ、名前とかはぶっちゃけどうでもいいから、さっさとはいるうぜ。」

飛行機とか乗ったとないから、空の旅は楽しみだ！

「ふうん、そう焦るな、希望に満ちた眼で見ても、デュエルシップは逃げんぞ。」

その言葉で、顔が赤くなるのを感じた。希望に満ちた眼で見てもいいじゃん。まだ中学校だもの。

「まあいいや。デュエルしようぜ！」

決勝進出者は俺、遊戯、城之内、海馬、舞、洗脳されたバクラ、マリク、リシドか。イズズ、梓とってすまない。

「いや、僕はデッキを組み直すから、デュエルはできないよ。」

「へへ、ここで勝ち進めば戦えるだろ？」

「俺もデッキ構築マグネットモンスターを練り直し（デッキに入れ）しなければいけない。」

「あたしは遠慮しておくよ。」

「僕は勝てそうにないからいいよ・・・」

みんな一斉に断られた。…俺はシークに言ったつもりなんだが…？

『声に出てましたよ。』

またかよ俺。

デュエルシップの長い廊下を歩き、部屋についた。

「さて、シーク、決闘だ！」

『はい。わかりました。』

そう言つとシークは実体化し、予備のデュエルディスクを構える。

「行くぞ！シーク！」

「ふふふ！来なさい、遊夜！」

「「^{デュエル}決闘！！」」

シークのデッキはほぼ俺と同じデッキだ。これじゃ、魔法族の里の効果が、ないようなもんだな。

…今回は、遊戯たちがいないから、少しデッキを改良した。主に融合デッキで

遊夜LP4000

シークLP4000

「俺のターン！！」

遊夜 手札6

「俺はクルセイダー・オブ・エンディミオンを召喚！」

クルセイダー・オブ・エンディミオン

デュアルモンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1900 / 守1200

このカードは墓地またはフィールド上に表側表示で存在する場合、通常モンスターとして扱う。

フィールド上に表側表示で存在するこのカードを通常召喚扱いとして再度召喚する事で、

このカードは効果モンスター扱いとなり以下の効果を得る

●1ターンに1度、フィールド上に表側表示で存在する

魔力カウンターを置く事ができるカード1枚に魔力カウンターを1つ置く事ができる。

この効果で魔力カウンターを置いたターンのエンドフェイズ時まで、このカードの攻撃力は600ポイントアップする。

「カードを1枚伏せターンエンド。」

遊夜 手札4

場

M

・クルセイダー・オブ・エンディミオン（攻1900）

M / T

・セットカード

「私のターンですね。」

シーク 手札6

「私は、マジカル・コンダクターを召喚です。」

マジカル・コンダクター

効果モンスター

星4 / 地属性 / 魔法使い族 / 攻1700 / 守1400

自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンターを任意の個数取り除く事で、取り除いた数と同じレベルの魔法使い族モンスター1体を、

手札または自分の墓地から特殊召喚する。

この効果は1ターンに1度しか使用できない。

「そして、永続魔法 魔法族の結界 を発動！カウンターが乗ります。 強欲な壺 、カードを2枚ドロ。カウンターが乗ります。永続魔法 マジック・サンクチュアリ ！お互いに魔法カードを手札に加える。カウンターが乗ります。そして、魔力カウンター6つを取り除き、ブラック・マジシャン・ガールを特殊召喚！！」

ブラック・マジシャン・ガール

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1700

お互いの墓地に存在する「ブラック・マジシャン」

「マジシャン・オブ・ブラックカオス」1体につき、

このカードの攻撃力は300ポイントアップする

「そして、 マジック・サンクチュアリ で手札に加えた魔法カード、 賢者の宝石 を発動！効果でブラック・マジシャン（私自身）

を特殊召喚!!」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100
魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

シーク 手札3

場

M

・マジカル・コンダクター（攻1700）

・ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）

・ブラック・マジシャン（攻2500）

M / T

・マジック・サンクチュアリ

・魔法族の結界

「え…なにそのコンボ…」

「ふふふ、あなたもやっているではありませんか。」

「うつ、否定できない…」

「ふふふ、さらに魔法カード 奇跡のマジックゲート を発動します。あなたの知っているとおり、自分の場に魔法使いが2体以上いる場合、そのモンスターのコントロール権を得ます。私はクルセイダー・オブ・エンディミオンを選択。4体で直接攻撃！
ダイレクトアタック 混沌魔導_{カオス・マジック・バースト}爆撃波_{ク・バースト}!!」

「させるかああ！！リバースカードオープン！カウンター罠 攻撃
の無力化　！！こいつで、バトルフェイズを終了させる！！」

「惜しかったですね。あと少しだったのですが。」

「ONE TURN KILL させられてたまるか！」

「あなたのデッキなのですが…。（苦笑）」

「…だよねー。」

「…私はカードを伏せ、これでターンエンド。」

シーク 手札2

M 場

・マジカル・コンダクター（攻1700）

・ブラック・マジシャン・ガール（攻2000）

・ブラック・マジシャン（攻2500）

・クルセイダー・オブ・エンディミオン（攻1900）

M/T

・マジック・サンクチュアリ

・魔法族の結界

・セットカード

「俺のターン！！」

遊夜 手札5

場

無し

「俺は手札を一枚捨てることでレベル5、T H A・トリツキーを特殊召喚！そしてレベル2、アーケロンファイロを召喚！俺はこの2体をチューニング！」

【次代を背負う魔術の使徒よ 仲間の魔力を纏いて 敵を薙ぎ倒せ！シンクロ召喚！】

現れる！アーカナイトマジシャン！！効果発動！魔力カウンター2つを取り除き、魔法族の結界とセットカードを破壊して、装備魔法 ワンダー・ワンド を発動！こいつはこのカードと装備モンスターを墓地に送り、2枚ドロウ出来る！そして、今引いたミラクル・シンクロ・フュージョン を発動！これは自分のフィールド上か墓地から、融合モンスターカードによって決められた融合素材モンスターをゲームから除外し、シンクロモンスターを融合素材とするその融合モンスター1体を融合召喚扱いとしてエクストラデッキから特殊召喚する！俺は、覇魔導士^{はまどうし}アーカナイトマジシャンを選択し！墓地のアーカナイトマジシャンとT H A・トリツキーを除外し、特殊召喚！！」

ザ
T H E ・トリツキー

効果モンスター

星5 / 風属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1200

このカードは手札を1枚捨てて、手札から特殊召喚する事ができる。

アーケイン・ファイロ

チューナー（効果モンスター）

星2 / 炎属性 / 魔法使い族 / 攻1000 / 守400

このカードがシンクロモンスターの

シンクロ召喚に使用され墓地へ送られた場合、

自分のデッキから「バスター・モード」1枚を手札に加える事がで

きる

アーカナイト・マジシャン

シンクロ・効果モンスター

星7 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻 4000 / 守 1800

チューナー＋チューナー以外の魔法使い族モンスター1体以上

このカードがシンクロ召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンター1つにつき、

このカードの攻撃力は1000ポイントアップする。

また、自分フィールド上に存在する魔力カウンターを1つ取り除く事で、

相手フィールド上に存在するカード1枚を破壊する。

はまごつし
覇魔導士アーカナイト・マジシャン

融合・効果モンスター

星10 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻 14000 / 守 2800

魔法使い族シンクロモンスター＋魔法使い族モンスター

このカードは融合召喚でのみエクストラデッキから特殊召喚することができる。

このカードが融合召喚に成功した時、このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンター1つにつき、

このカードの攻撃力は1000ポイントアップする。

1ターンに1度、自分フィールド上に存在する魔力カウンターを1つ取り除く事で、

以下の効果を発動する事ができる。

- フィールド上に存在するカード1枚を選択して破壊する。
- 自分のデッキからカードを1枚ドローする。

「…トリッキーを使つてのシンクロ、しかも ワンダーワンド で
手札補充、しかもそのドローで ミラクル・シンクロ・フュージョ
ン、チートドローですね。」

「うつせえ。手札から 拡散する波動 発動！1000ライフポイ
ントを払い、自分フィールド上のレベル7以上の魔法使い族モンス
ター1体を選択する。このターン、選択したモンスターのみが攻撃
可能になり、相手モンスター全てに1回ずつ攻撃出来る。さらにこ
の攻撃で破壊された効果モンスターの効果は発動しない。」

遊夜LP4000↓3000

「攻撃力3400の全体攻撃、鬼畜ですね。」

「…うつさい。覇魔導士アーカナイトマジシャンで攻撃！ 覇魔導魔^{はまうてい}
法ゴッドノウズ …！」

「くっ！」

シークLP4000↓2300↓900↓0↓11500

「…ははは！逆にこっちがONE TURN KILLされました
よ。」

「どうだ！シーク！」

「たった1枚のカードが勝負を分けましたね。」

「攻撃の無力化 か？」

「はい、あれさえなければ、私の勝ちでしたね。私の手札には、死者蘇生」と早すぎた埋葬、セットカードは聖なるバリアミラーフォース、でしたから。」

そう言つて手札を見せてくるシーク…それを見て俺の顔は青くなっているだろう。もし、アカナイトマジシャンでセットじゃなく、モンスターを破壊して攻撃していたら、ミラーフォースで破壊され、打つ手がなくなり、負けていたのだから。

「…ほとんど引き分けか。」

「同じデツキ、ミラーバトルでしたし、当然でしょう。」

「自分の魂に打ち勝て…か？シーク。」

「はい。」

デュエルが終わると同時に、館内にアナウンスが響く。

バトルシティ決勝進出者の方々はロビーに集まってください！

…来たか。

「…行くか！シーク！」

『はい。』

デュエルシップ、やっぱでかいな。（後書き）

バトルシティは大体は同じなので、デュエルは遊夜の番まで飛ばします。よろしくお願いしますね。

・10月30日、訂正しました。アーカナイトのところを

・シンクロのセリフはWikiで見たのを自分なりに変えたものです。

デュエルシップのデュエル、体いてえ…。（前書き）

対戦表？そんなの適当に決まってる。原作どおりにしたら遊夜VS海馬だから。オリジナルに変えました。

デュエルシップのデュエル、体いてえ…。

今、遊夜は呼び出しがかかり、急いでロビーに向かっている。

「やべ！すっかりデュエルに夢中になってたな。」

『全く…。』

「お、ついたぜ。」

「おせーぞ！遊夜！」

「悪い悪い、デッキ構築をしていたらおそくなった。」

「ったく…。それより、それぞれの対戦相手が決まったぜ！」

「へえ……。」「

そう言って遊夜は対戦表を見る。

1 回戦

・海馬 瀬戸VSマリク・イシュタル（リシド）

2 回戦

・武藤 遊戯VS獏良 了

3 回戦

・城之内 克也VSナム

4 回戦

・天月 遊夜VS孔雀 舞

…おい、なんだこの組み合わせ…。

「おい！行こうぜ遊戯！遊夜！」

「…ああ。」

そんなこんなで結果。

1回戦

ラーの暴走で海馬勝利、

2回戦

遊戯が原作通り勝利

3回戦

ラーの暴走で復活した闇マリクの勝利、城之内は原作通り仮死状態に。

「…で、残りは俺と孔雀さんか。」

「舞でいいわ。でも、子供だからって、手加減する気はないわよ。」

「…ああ、元からそのつもりだ！」

…しかし、ここに立つと体が冷える＋痛いぞ辛いぜ…。

「デュエル決闘！！」

遊夜LP4000

舞LP4000

「俺のターン、ドロー！」

遊夜 手札6

…ここは様子見をするか。

「俺は魔導騎士ディフェンダーを守備表示で召喚し、ターンエンド。」

遊夜LP4000 手札5

場

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

魔導騎士ディフェンダー

効果モンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1600 / 守2000

このカードが召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大1つまで）。

フィールド上に表側表示で存在する魔法使い族モンスターが破壊される場合、

代わりに自分フィールド上に存在する魔力カウンターを、

破壊される魔法使い族モンスター1体につき1つ取り除く事ができる。

この効果は1ターンに1度しか使用できない

「あたしのターン！！」

舞 手札6

「あたしは増援を発動！デッキからアマゾネスの聖戦士を召喚！」

アマゾネスの聖戦士^{せいせんし}

効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻1700/守 300

自分のフィールド上の「アマゾネス」という名のついたモンスターカード1枚につき、

このカードの攻撃力は100ポイントアップする

「あたしはカードを1枚セット、ターンエンド。」

舞LP4000 手札4

場

・アマゾネスの聖戦士（攻1800）

・セットカード

…やっぱアマゾネス系が入ってんのか。

「俺のターン！」

遊夜LP4000 手札6

場

・魔導騎士ディフェンダー（守2000）

「俺は手札を一枚捨て、THA・トリッキーを召喚！」

THE^ザ トリッキー

効果モンスター

星5 / 風属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1200

このカードは手札を1枚捨てて、手札から特殊召喚する事ができる

「レベル5が特殊召喚!？」

「ああ、こいつは手札を1枚捨てることで特殊召喚ができるのさ。」

「くっ…。」

「俺は 奇跡のマジックゲート を発動!これは場に魔法使い族のモンスター2体以上いる場合、相手フィールドのモンスター1体のコントロール権を得る。俺はアマゾネスの聖戦士を選択する!」

「なんですって!？」

「魔導騎士ディフェンダーを攻撃表示にし、3体でダイレクトアタック!」

「させないわ!永続罠発動! 銀幕のミラーウォール !!これは場に出ている限り、攻撃してきた相手フィールドのモンスターの攻撃力を半分にする!」

「なんだと!？」

魔導騎士ディフェンダー ATK1600 ↓ 800

THA・トリッキー ATK2000 ↓ 1000

アマゾネスの聖戦士 ATK1800 ↓ 900

舞 LP4000 ↓ 3200 ↓ 2200 ↓ 1300

「…俺はカードをセット、ターンエンドだ。」

遊夜 手札2
場

・魔導騎士ディフェンダー（攻800）

・THA・トリッキー（攻1000）

・アマゾネスの聖戦士（攻900）

・セットカード

「流石遊夜だな… たった1ターンで勝負がつくと思っちゃったぜ。」

「…俺も、勝負がつくと思っただがなあ…。」

『そう上手くは行きませんね。』

「まだあたしは負けていない！デュエリストは最後の最後まで勝負をあきらめないんだ！あたしのターン！！」

舞LP1300 手札5

場

・銀幕のミラーウォール

「あたしはハッピー・クイーンを召喚！」

ハッピー・クイーン

効果モンスター

星4/風属性/鳥獣族/攻1900/守1200

このカードを手札から墓地に捨てる。

デッキから「ハッピーの狩場」1枚を手札に加える。

このカードのカード名は、フィールド上または墓地に存在する限り「ハーピィ・レディ」として扱う。

「あたしはハーピィ・クイーンでT H A・トリッキーを攻撃!」

「俺はディフェンダーの効果発動!カウンターを取り除き、破壊を無効!」

「でも、超過ダメージは受けてもらっよ!」

「くっ!」

遊夜LP4000↓3100

「あたしはカードを2枚伏せターンエンドだ、」

舞LP1300 手札3

場

・ハーピィ・クイーン

・銀幕のミラーウォール

・セットカード

・セットカード

「俺のターン!」

遊夜 手札3

場

・魔導騎士ディフェンダー(攻800)

・T H A・トリッキー(攻1000)

・アマゾネスの聖戦士（攻900）

・セットカード

「俺はトリッキーとアマゾネスの聖戦士をリリース！来い！我が相棒！ブラック・マジシャン！！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100

魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

「ふふふ、銀幕のミラーウォールがある限り、勝てないわよ？」

「ふつ、それはどうかな？リバーズカードオープン！黒魔導！」

ブラック・マジック

！これは場にブラックマジシャンが居る時発動可能！！相手の場の魔法、罠をすべて破壊する！」

「っ！なら！ゴッドバード・アタック 発動！ハーピー・クイーンを生贄に、ブラック・マジシャンと魔導騎士ディフェンダーを破壊する！」

「…カードをセット、ターンエンド。」

遊夜 手札1

場

・セットカード

「ふふふ、あたしのターン!!」

舞LP1300 手札4

「あたしは星見鳥ラリスを召喚。」

ほしみどり
星見鳥ラリス

効果モンスター

星3 / 風属性 / 鳥獣族 / 攻 800 / 守 800

このカードが戦闘を行う場合、ダメージステップの間このカードの攻撃力は

戦闘を行う相手モンスターのレベル×200ポイントアップする。

また、このカードが攻撃したダメージステップ終了時、このカードをゲームから除外し、

次の自分のターンのバトルフェイズ開始時に表側攻撃表示で自分フィールド上に戻す

「げっ…それかよ…。」

「ダイレクトアタック!」

遊夜LP3100 ↓ 2300

「カードを1枚伏せて、ターンエンド。」

舞LP1300 手札2

場

・星見鳥ラリス（攻800）

・セットカード

「俺のターン!!」

遊夜 手札2

場

・セットカード

「俺は 強欲な壺 を発動!カードを2枚ドロ―!」

…よし!

「俺はガガマジションを召喚!」

ガガマジション

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1500 / 守1000

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に

1から8までの任意のレベルを宣言して発動する事ができる。

エンドフェイズ時まで、このカードのレベルは宣言したレベルとなる。

「ガガマジション」は自分フィールド上に1体しか表側表示で存在できない。

このカードはシンクロ素材とする事はできない

「俺はレベル1を選択し、ラリスに攻撃! ガガマジック!!」

「くっ…」

舞LP1300↓600

「俺はカードをセット、ターンエンド。」

遊夜LP2300 手札1

場

- ・ガガガマジシャン（攻1500）
- ・セットカード

「あたしのターンだ！！」

舞LP600 手札3

場

- ・セットカード

「あたしは 死者蘇生 でブラック・マジシャンを特殊召喚！攻撃
ブラック・マジック
！ 黒魔導 ！！」

「リバーiscardオープン！ マジシャンズ・セレクト ！！攻撃
を無効にし、相手の場の攻撃力が一番低いモンスターを破壊！」

「あたしは星見獣ガリスの効果を発動！このカードを相手に見せ、
デッキの一番上を墓地に送る。そして、それがモンスターカードな
ら、このカードを特殊召喚出来る！」

ほしみじゅう

星見獣ガリス

効果モンスター

星3 / 地属性 / 獣族 / 攻 800 / 守 800

手札にあるこのカードを相手に見せて発動する。

自分のデッキの一番上のカードを墓地へ送り、

そのカードがモンスターだった場合、

そのモンスターのレベル×200ポイントダメージを相手ライフに与え

このカードを特殊召喚する。

そのカードがモンスター以外だった場合、このカードを破壊する。

…おいおい、どんどんハーピィ&アマゾネスじゃなくなってきたぞぞ。

「落ちたカードは…アマゾネス女王^{クイーン}！よって、ガリスを特殊召喚！
」

アマゾネス女王^{クイーン}

効果モンスター

星6/地属性/戦士族/攻2400/守1800

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、

自分フィールド上に存在する「アマゾネス」と名のついたモンスター

は

戦闘では破壊されない。

遊夜LP2300↓1100

「あたしはガリスを生贄に、もう一体のアマゾネス女王を召喚。これでターンエンド。」

舞LP600 手札0

場

・アマゾネス女王（攻2400）

・セットカード

「…ワクワクするぜ！！俺のターン！」

遊夜LP1100 手札2

場

・ガガガマジシャン（攻1500）

…よっしゃ！

「俺はガガガマジシャンをレベル6にする。さらに 死者蘇生を
発動ブラック・マジシャンを蘇生する。…2体をリリースし、黒の
魔法神官を特殊召喚！！攻撃だ！ セレスティア・ブラック・バー
ニング …！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロファント・オブ・ブラック）
効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター
2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、
罨カードの発動を無効にし破壊する事ができる

「させない！！リバーズカードオープン 無駄だ！」っ！？罨が発動し
ない！？」

「黒の魔法神官が場にいる場合、罨の発動を無効にし、破壊できる
！」

「そ、そんな!？」

「いっけえええええ!!」

舞LP600↓1200

遊夜LP1100

「…結構、危なかった。最後に 死者蘇生 がこなきや、凌ぎ様がなかった。」

「はぁ…あたしの負けか。」

「だが、いいデュエルだったぜ。遊夜、舞。」

「負けそうになったけどな。」

「やっぱり決め手は黒の魔法神官なんだな。」

「…そういやそうだな。」

…マジでフィニッシャーだな。

「…城之内君を助けるためには、マリクを倒さなければならないが…。」

「ああ、だが、もしマリクと戦うことになっても、負ける気は少しもない。」

「ああ。その時は頼むぜ。」

【これより、全ての決闘は終了しました。デュエルシップにいる全ての者は自室へとお戻りください。】

「…いよいよ明日か。」

「ああ、そうだな。」

「…また明日、決勝で会おう。」

そう言い、遊戯は自室へと戻っていく。それにつられ、全員が自室へと戻っていった。

「…さて、俺も戻るかね。」

そう言い、戻ろうとする時、

「少し、お時間をいただけますか？」

謎の声が響いた…。

デュエルシップのデュエル、体いてえ…。（後書き）

最後のは、まあ、マリクの勘違いを発覚させるために必要なイベントですから……。

10月31日ガリスの効果を修正

11月2日、死者蘇生の召喚モンスターを修正

11月7日、対戦表の変更

決戦！バトルロイヤル（前編）（前書き）

え？イシズさんはどうしたって？ああ、あれ、重要じゃないから、カットしました。…ごめんなさい嘘です、パソコンが消えて、データが消えて、書き直すのがめんどかつただけです

決戦！バトルロイヤル（前編）

今、俺はアルカトラズのバトルロイヤルを始めようとしているところだ。

昨日、不意打ち気味にイシズさんが来たから間違えて魔導波を撃つてしまいそうになった。実際は俺というイレギュラーの事情説明を要求してきた。まあ、色々とはぐらかして説明した。あとそれを遊戯たちに教えてやれと頼んだ。ああ、イシズさんが乗ってたのって、パズルカードを6枚集めた人は乗れるらしい。

「では！これよりバトルロイヤルを開始する！4人はそれぞれデッキからモンスターカードを選択し、その攻撃力順に先行が取れる。しかし、提示したモンスターカードは再びデッキに戻されることは許されない！」

そして、それぞれが選択したカードは、

| | | | |
|-----|------|-----------|-------|
| 海馬 | 仮面魔獣 | デス・カーディウス | 攻3300 |
| 遊戯 | | グレムリン | 攻1300 |
| マリク | | レクンガ | 攻1700 |
| 遊夜 | 霊滅術士 | カイクウ | 攻1800 |

「これより決定した！先行から、海馬瀬戸、天月遊夜、マリク・イシュタル、武藤遊戯とします！」

「『決闘！』」
デュエル
「『決闘！』」

海馬 LP 4000

遊夜 LP 4000

マリク LP 4000

遊戯 LP 4000

「俺の先行！！ドロー！！」

海馬 手札 6

「俺はカードを1枚カードを伏せ、ブラット・ヴォルス召喚！、ターンエンド」

ブラッド・ヴォルス

通常モンスター

星4 / 闇属性 / 獣戦士族 / 攻1900 / 守1200

悪行の限りを尽くし、それを喜びとしている魔獣人。
手にした斧は常に血塗られている

海馬 手札 4

場

・ブラッド・ヴォルス（攻1900）

・セットカード

「俺のターン！」

遊夜 手札 6

「俺はマジカル・コンダクターを攻撃表示で場に出し、カードを2枚伏せ、ターンエンド。」

遊夜 手札3
場

- ・マジカル・コンダクター（攻1700）
- ・セットカード
- ・セットカード

マジカル・コンダクター

効果モンスター

星4/地属性/魔法使い族/攻1700/守1400

自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンターを任意の個数取り除く事で、取り除いた数と同じレベルの魔法使い族モンスター1体を、

手札または自分の墓地から特殊召喚する。

この効果は1ターンに1度しか使用できない

「はっ！俺のターンか、ドロー！ ニュードリュア召喚！守備表示！」

ニュードリュア

効果モンスター

星4/闇属性/悪魔族/攻1200/守800

このカードが戦闘によって破壊され墓地へ送られた時、フィールド上に存在するモンスター1体を破壊する

…正直言おう、俺はずっとニユードリユアをニユードリアだと思っていた。

「ターンエンドだ。」

マリク 手札5

場

・ニユードリユア（守800）

「俺のターン！！俺はビッグ・シールド・ガードナーを守備表示で召喚！」

ビッグ・シールド・ガードナー

効果モンスター

星4 / 地属性 / 戦士族 / 攻 100 / 守 2600

フィールド上に裏側表示で存在するこのモンスター1体を対象にする魔法カードの発動を無効にする。その時、このカードは表側守備表示になる。

「さらにカードを2枚伏せ、ターンエンドだ。」

遊戯 手札3

場

・ビッグ・シールド・ガードナー（守2600）

・セットカード

・セットカード

「フッ、俺のターンは…天月遊夜！お前に攻撃をする！」

おいおい俺にか、セットカードが2枚あるつてのに、無用心だな。

「リバーズカードオープン！ マジシャンズ・セレクト ！！」

「ふははは！俺はリバーズカード、破壊輪 俺はブラッド・ヴォ
ルスを選択！お互いにダメージを与える！」

「……なっ！」「」

海馬・遊戯・マリク・遊夜LP4000↓2100

「早速ダメージが来たか。」

「フハハハハ！俺は コストダウン を発動！俺は手札からカー
ドを1枚捨てることでモンスターのレベルを2下げる！俺はレベル
4となったカイザー・グライダーを召喚だ！」

カイザー・グライダー

効果モンスター

星6 / 光属性 / ドラゴン族 / 攻2400 / 守2200

このカードは同じ攻撃力を持つモンスターとの戦闘では破壊されな
い。

このカードが破壊され墓地へ送られた時、

フィールド上のモンスター1体を持ち主の手札に戻す

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

海馬 手札1

場

・カイザー・グライダー（攻2400）

・セットカード

「俺のターン！ドロー！」

遊夜 手札 4

「俺は、ガガガマジシャンを召喚！」

ガガガマジシャン

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1500 / 守1000

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に

1から8までの任意のレベルを宣言して発動する事ができる。

エンドフェイズ時まで、このカードのレベルは宣言したレベルとなる。

「ガガガマジシャン」は自分フィールド上に1体しか表側表示で存在できない。

このカードはシンクロ素材とする事はできない

「俺は手札から魔法カード 賢者の石サバティエル を発動！俺はデッキから ガガガシールド を手札に加える。…そして、強欲な壺 を発動！カードを2枚ドロー、そしてカードを2枚伏せ、ターンエンド」

遊夜 LP 2100 ↓ 1050 手札 4

場

・マジカル・コンダクター（攻1700）

・ガガガマジシャン（攻1500）

・セットカード

・セットカード

・セットカード

「俺のターンだぁ！ドロー！俺はロードポイズンを召喚！」

ロードポイズン

効果モンスター

星4 / 水属性 / 植物族 / 攻1500 / 守1000

このカードが戦闘によって破壊され墓地に送られた時、自分の墓地に存在する「ロードポイズン」以外の

植物族モンスター1体を自分フィールド上に特殊召喚する

「そして、ニードリアを攻撃表示！そして、天月遊夜のマジカル・コンダクターに攻撃い！」

「させるか！ディメンション・マジックを発動だ！俺はマジカル・コンダクターをリリースし、ブラック・マジシャンを特殊召喚！効果でニードリアを破壊！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100

魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

「ちっ、（これじゃ、痛恨の呪術が使えん…！）カードをセットし、ターンエンド！」

マリク 手札4

場

・ロードポイズン（攻1500）

・セットカード

…マリク、それ格好の餌食だぞ？

「俺のターン！俺はビッグ・シールド・ガードナーを生贄に、暗黒魔族ギルファアードーモン召喚！」

「

あんこくまぞく

暗黒魔族ギルファアードーモン

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻2200 / 守2500

このカードが墓地へ送られた時、フィールド上に存在するモンスター1体を選択して発動する事ができる。

このカードを攻撃力500ポイントダウンの装備カード扱いとして、選択したモンスターに装備する。

「…俺は、これでターンエンドだ。」

遊戯 手札3

場

・暗黒魔族ギルファアードーモン（守2500）

・セットカード

・セットカード

「俺のターン！」

海馬 手札2

「俺は、マリク！貴様を攻撃する！！行け！カイザー・グライダー

「!!」

「ふおおお!!」

マリクLP2100↓1200

「ふうん、俺はこれでターンエンドだ。」

海馬 手札2

場

- ・カイザー・グライダー（攻2400）
- ・セットカード

「俺のターンだ!!」

遊夜LP1050 手札4

場

- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・ガガガマジシャン（攻1500）
- ・セットカード
- ・セットカード

うわゝ、今ここでシンクロとかエクシーズとかしてカットビたい。
ダメだ俺、自重自重。

「俺は…。こいつを召喚！ガガガガール!!」

ガガガガール

効果モンスター

星3 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1000 / 守 800

自分フィールド上の「ガガガマジシャン」1体を選択して発動できる。

このカードは選択したモンスターと同じレベルになる。

また、このカードを含む「ガガガ」と名のついたモンスターのみを素材としたエクシーズモンスターは以下の効果を得る。

- このエクシーズ召喚に成功した時、相手フィールド上の特殊召喚されたモンスター1体を選択して発動できる。

選択したモンスターの攻撃力を0にする

「ガガガ、ガール…？」

「ふうん（やはり、ガガガマジシャンといい、サバティエルといい、我が社のカードではない…。どういうことだ…コピーカードではないと鑑識はいつているが…。）」

「…俺のブラック・マジシャンとブラックマジシヤンガールのようなものか？」

…一応、遊戯は一回見てんだけどね…。

「俺はガガガマジシヤンをレベル8にする！で、ガガガガールの効果発動！このカードが場のガガガマジシヤンと同じレベルになる！」

「レベル8が2体…！」

「そうだ！俺は場のガガガ2体をリリース！来い！黒の魔法神官！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロファント・オブ・ブラック）

効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、

罨カードの発動を無効にし破壊する事ができる

「な、何い！？」

「これで、俺たちの罨は封じこめられた！！」

「俺は、…マリクヘダイレクトアタック！」

「ふっ…俺は手札からバトル・フェーダーを特殊召喚し、バトルフェイズをスキップする！」

バトルフェーダー

効果モンスター

星1 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻0 / 守0

相手モンスターの直接攻撃宣言時に発動する事ができる。

このカードを手札から特殊召喚し、バトルフェイズを終了する。

この効果で特殊召喚したこのカードは、

フィールド上から離れた場合ゲームから除外される

「！！！」

バトルフェーダーって、確かまだこの時代出てなかっただろ！？

「ちっ、ターンエンド。」

遊夜LP1050 手札2

場

- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・黒の魔法神官（攻3200）
- ・セットカード
- ・セットカード

「俺のターン！俺は、バトルフェーダーを攻撃表示、そして、強制転移 発動！俺が選ぶのは…海馬！お前だ！」

モンスター交換、マリクは海馬に嫌なカードを使ってくるな。（注

遊夜は 奇跡のマジックゲート を持っています）

「俺は、カイザー・グライダーを選択！」

「そして、俺はブラック・マジシャンと黒の魔法神官の2体をリリースし、天月遊夜の場合に溶岩魔人ラヴァ・ゴーレム召喚！」

ようがんまじん
溶岩魔神ラヴァ・ゴーレム

効果モンスター

星8 / 炎属性 / 悪魔族 / 攻3000 / 守2500

このカードは通常召喚できない。

相手フィールド上に存在するモンスター2体をリリースし、手札から相手フィールド上に特殊召喚する。

自分のスタンバイフェイズ毎に、自分は1000ポイントダメージを受ける。

このカードを特殊召喚するターン、自分は通常召喚できない。

「げえっ！俺にも来たかよ！」

「俺はカイザー・グライダーでバトルフェーダーを攻撃い！！」

「させん！ 攻撃誘導アーマー！！俺は遊戯のギルファードモンを選択！」

「そうはいかない！リバースカードオープン！ 盗賊の七つ道具！！」

遊戯LP2100↓1100

「馬鹿なああああ！！」

海馬LP2100↓300

…王様なのに盗賊の道具だったよ…まあ、でも海馬のLPはゼロになった、さて、次の遊戯のターンで何が起きるか…。

決戦！バトルロイヤル（前編）（後書き）

時間が足りませんでした。頑張りましたデータ消えて、即効でこれ仕上げましたから。そして、なぜ、マリクがバトルフェーダー持つてるって？？何でもありだ、いいじゃないか！作者の力量が低いんだもの！

決戦！バトルロイヤル（後編）（前書き）

短いです。ネタが思いつきません。

決戦！バトルロイヤル（後編）

遊戯LP1100 手札3

場

- ・ 暗黒魔族ギルファデーモン（守2500）
- ・ セットカード

遊夜LP1050 手札2

場

- ・ 溶岩魔人ラヴァゴーレム（攻3000）
- ・ セットカード
- ・ セットカード

マリクLP1200 手札2

場

- ・ カイザー・グライダー（攻2400）
- ・ セットカード

前回、アテムとマリクのコンボで海馬を蹴落とした、で、アテムが勝つためと、城之内君を助けるためには、俺が準決勝でマリクと戦わなきゃな。

「俺のターン！」

遊戯 手札4

「俺は 死者蘇生 で遊夜の墓地のブラック・マジシャンを場に出す。そして 融合 ！手札のバスター・ブレイダーと場のブラック・マジシャンを融合！来い！超魔導剣士 ブラック・パラディン！！」

バスター・ブレイダー

効果モンスター

星7 / 地属性 / 戦士族 / 攻2600 / 守2300

このカードの攻撃力は、相手フィールド上及び相手の墓地に存在するドラゴン族モンスター1体につき500ポイントアップする

ちょうまどうけんし

超魔導剣士 - ブラック・パラディン

融合・効果モンスター

星8 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2900 / 守2400

「ブラック・マジシャン」+「バスター・ブレイダー」

このカードは融合召喚でしか特殊召喚できない。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、

手札を1枚捨てる事で、魔法カードの発動を無効にし破壊する。

このカードの攻撃力は、フィールド上及びお互いの墓地に存在するドラゴン族モンスター1体につき500ポイントアップする

遊戯 手札1

「げっ。場にカイザー・グライダーが居るから、3400かよ。」

「さらにリバーズカードオープン！ 拡散^{かくさん}する波動^{はつどう}！ 1000ラ

イフポイントを払うことで。自分フィールド上のレベル7以上の魔法使い族モンスター1体は

このターン、相手モンスター全てに1回ずつ攻撃する。これを発動すると、その1体しか攻撃は出来ない。さらにこの攻撃で破壊された効果モンスターの効果は発動しない。」

「あ、これでカイザー・グライダーの効果は無効になる！」

「ダニい！？」

「逝くぜ！ ちようまどうれっはさん 超魔導裂波斬 ！！」

遊戯LP 1100 ↓ 100

遊夜LP 1050 ↓ 650

マリクLP 1200 ↓ 200

「強欲な壺 でカード2枚ドロし、ターンエンド。」

遊戯LP 100 手札2

場

・超魔導剣士ブラック・パラディン（攻2900）

・暗黒魔族ギルファデーモン（守2500）

「俺のターン！ドロー！」

遊夜LP 650 手札3

場

・セットカード

・セットカード

「∴俺はモンスター1体をセットし、ターンエンド。」

遊夜手札2

「俺のターン！ドロオ！」

マリクLP200 手札3

場

・セットカード

「俺はカード2枚セット、ターンエンドだ。」

マリク手札1

「俺のターン。」

遊戯LP100 手札3

場

・超魔導剣士ブラック・パラディン（攻2900）

・暗黒魔族ギルファデーモン（守2500）

「俺はギルファデーモンを攻撃表示にし、セットモンスターを攻撃！」

「セットカードは見習い魔術師、効果でデッキから執念深き老魔導士をセット。」

みなち まじゅつし
見習い魔術師

効果モンスター

星2/闇属性/魔法使い族/攻 400/守 800

このカードが召喚・反転召喚・特殊召喚に成功した時、フィールド上に表側表示で存在する魔力カウンターを置く事ができるカード1枚に魔力カウンターを1つ置く。

このカードが戦闘によって破壊された場合、

自分のデッキからレベル2以下の魔法使い族モンスター1体を

自分フィールド上にセットすることができる。

しゅっねんぶが ろうまじゅつし
執念深き老魔術師

効果モンスター

星2 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 450 / 守 600

リバース：相手フィールド上に存在するモンスター1体を破壊する。

「くっ！ならブラック・パラディンでマリクヘダイレクトアタック
！」

「ふぁーははー！かかったな遊戯！喰らえい！永続罠 メタル・
リフレクト・スライム ！！」

「守備力3000だと！？」

「ブラック・パラディンは攻撃力2900、遊戯のライフは100
…。」

「俺の負けか…。」

遊戯LP100↓0

「これより、決勝進出者の対戦相手が決まりました！一回戦！武藤
遊戯VS海馬瀬戸！2回戦！天月遊夜VSマリク・イシュタール！
！」

これで、決まったか…？何か忘れてるような。

「ゴンドラ射出ー！！」

…え？

「うわあああああああああああ！！」

こええええええええええええええええ！！

「決勝はすぐおこないますので、準備をしてください。」

「『『『『』』』』』 おう！（わかつている）（ハイハイ）『『『『』』』』」

やつとここか。マジでラー対策しねえとやばいな。…あ、除外すればokか。

準決勝 VS マリク（前編）（前書き）

短いです。ラーまだ出ません。そして、なんか追い詰められます。

準決勝 VS マリク（前編）

今、バトルロイヤルを終え、決勝1回目、遊戯VS海馬の終わり頃である。

「ブラックパライディンの攻撃！
超魔導裂波斬ちやうまでつれつぱざん　！！」

…原作通りだな。

「くっ！このカードを受け取れ遊戯い！！」

見るたびに思う、どうやってカード投げられるんだ！？紙であそこまでビュッってできないぞ！？

「さあ、次は俺達の番だぜえ？闇が待ってるぞあ…フッフ…。」

黙ってる顔芸と言いたくなるような崩れた顔を晒すマリク、結構怖いというよりキモイ。

「遊夜。…危険してもいいんだぞ。」

「そつよ遊夜君！相手は神のカードを持っているのよ！」

遊戯や杏子が言ってくるが、城之内に追い詰められるって弱いんじゃない？

「大丈夫だ。負ける気は無いぞ。…シークが弱めてくれるしな（ボソッ）」

「…そうか。分かった。」

「遊戯！遊夜君はまだ子供なのよ！？」

マリクは6歳児だよ。

「遊夜、…勝て！」

「……………！！ああ！」

「仲間たちとの別れは済んだかあ？」

「お前こそ、現世との別れは済んだか？」

「ほざけ！」

「「^{デュエル}決闘！！」

マリクLP4000 手札5

遊夜LP4000 手札5

「俺のターン！」

マリク 手札6

「俺はギル・ガースを召喚！」

ギル・ガース

通常モンスター

星4 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻1800 / 守1200

鋼鉄の鎧を身にまとった殺戮マシン。巨大なカタナで容赦なく攻撃をする。

「そして俺はカードを2枚伏せ、ターンエンド。お前の死が近づいて来てるぞおお？」

「うるさいぜ！少し黙ってろ！俺のターン！」

（マジでウザイぞこいつ！）

マリクLP4000 手札3
場

・ギル・ガース
・セットカード
・セットカード

遊夜LP4000 手札6

（くっ伏せが怖いが行くしかない！）

「俺はマジカル・コンダクターを召喚！」

マジカル・コンダクター

効果モンスター

星4/地属性/魔法使い族/攻1700/守1400

自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンターを任意の個数取り除く事で、取り除いた数と同じレベルの魔法使い族モンスター1体を、

手札または自分の墓地から特殊召喚する。

この効果は1ターンに1度しか使用できない

「それに対して、俺は罨をはつどおう！」

発音キメエ！

「隠れ兵　！こいつの効果で手札のレベル4以下の闇属性を特殊召喚できるぜえへへえ…。」

なんか背中がゾクゾクする…悪寒があ…！！

「俺はホールディング・アームズを特殊召喚！」

ホールディング・アームズ（アニメオリカ）

4 攻500 守1200

このカードが召喚・反転召喚・特殊召喚に成功した次のターンのエンドフェイズまでこのカードは戦闘ダメージを受けず、魔法・罨・モンスターの効果を受けない。このカードが召喚・反転召喚・特殊召喚時に、相手モンスター1体を指定する。指定したモンスターはこのカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、攻撃宣言を行う事ができない。

闇 悪魔族

「こいつが選択したモンスター、マジカル・コンダクターは攻撃できないぞお？」

「なら！　ディメンション・マジック　！！俺はマジカル・コンダクターを生贄にして、来い！ブリザード・プリンセス！！そしてギ

ル・ガースを破壊！」

ブリザード・プリンセス

効果モンスター

星8 / 水属性 / 魔法使い族 / 攻2800 / 守2100

このカードは魔法使い族モンスター1体をリリースして

表側攻撃表示でアドバンス召喚する事ができる。

このカードが召喚に成功したターン、相手は魔法・罠カードを発動する事ができない

（こいつは次のターンまで使いたくなかったんだけどな…。）

「生贄に対してカウンター罠発動！ 歓喜の断末魔（アニメメモリ）相手がモンスターを生け贄に捧げた時に発動だ。生贄にして召喚されたモンスターの攻撃力をゼロにする。その後、生け贄に捧げたモンスターの攻撃力分の数値分、自分のライフポイントが回復するのだあ。」

マリクLP4000↓5700

ブリザード・プリンセス（攻2800↓0）

「ぐっ！俺は ワンダーワンド 発動！そして生贄にして2枚ドロ！カードを伏せターンエンド。」

遊夜LP4000 手札3

場

・セットカード

「俺のターン！ドロお！」

マリクLP5700 手札4
場

・ホールディング・アームズ

「俺は 埋葬されし生贄 を発動！お前の墓地のマジカル・コンダクターと俺の墓地のギル・ガースを除外して俺はヘルポエマーを召喚！」

地獄詩人ヘルポエマー

効果モンスター

星5/闇属性/悪魔族/攻2000/守1400

このカードが戦闘によって破壊され墓地に送られた場合効果が発動する。

このカードが墓地に存在する限り、相手バトルフェイズ終了時に相手は手札からカードを1枚ランダムに捨てる。

このカードは墓地からの特殊召喚はできない。

(…使いにくくね？)

『それを言うならあなたのブラックマジシャンガールもでしょうが…。』

「お前、自分の弟子だろ…。」

『いいんですよ、あいつには。』

(…あいつには？それってことは…「なあ「さらに俺はホールディング・アームズを生贄にレジェント・デビル召喚！」ちつ。」

レジェンド・デビル

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻1500 / 守1800

自分のターンのスタンバイフェイズ毎に、

このカードの攻撃力は700ポイントずつアップする。

（正直、ターンジャンプ あれば3900になって強いと思うカードだな。）

「俺は2体で攻撃だあ！」

「ちっ 聖なるバリアミラーフォ 速攻魔法 我が身を盾に だ！
！」なっ！？」

遊夜LP4000↓500

マリクlp5700↓4200

つつっ！！いくらシークが緩和してくれてるつつつてもいってえ！

「俺はこれでターンエンドだ。」

マリクLP4200 手札0

場

・ヘルポエマー

・レジェント・デビル

「俺のターン！」

遊夜LP500 手札4

「聖バリ無効にされたのは痛い…。くつ、俺はサモンプリーストを召喚！」

召喚僧^{しょうかんそう}サモンプリースト

効果モンスター（準制限カード）

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 800 / 守 1600

このカードはリリースできない。

このカードは召喚・反転召喚に成功した時、守備表示になる。

1ターンに1度、手札から魔法カード1枚を捨てる事で、

自分のデッキからレベル4モンスター1体を特殊召喚する。

この効果で特殊召喚したモンスターは、そのターン攻撃する事ができない

「そして、手札の 拡散する波動 を捨て、デッキからガガマジシヤンを特殊召喚！」

ガガマジシヤン

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 1500 / 守 1000

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に

1から8までの任意のレベルを宣言して発動する事ができる。

エンドフェイズ時まで、このカードのレベルは宣言したレベルとなる。

「ガガマジシヤン」は自分フィールド上に1体しか表側表示で存在できない。

このカードはシンクロ素材とする事はできない

「強欲な壺 でカードを2枚ドロ。行くぜ！ 死者蘇生 でブリザード・プリンセスを特殊召喚！そしてバトルフェイズ！いけ！ブリザード・ハンマー ！！！」

「くっ！」

ブリザード・プリンセス（攻2800）

VS

レジェント・デビル（攻1500）

マリクLP4200↓2900

「俺はカードを伏せ、ターンエンドだ。」

遊夜LP500 手札1
場

・ブリザード・プリンセス（攻2800）

・ガガマジシャン（守1000）

・サモンプリースト（守1600）

・セットカード

マリクLP2900 手札0

・ヘルポエマー（攻2000）

「フフフ、またしても、遊戯以外に神を見せることになるとはね…。」

「

…?」

（手札0の状態で「神を見せることになるとはね」だと？出来る訳がないだろう。）

「行くぜえ！俺のターン！」

準決勝 VS マリク（前編）（後書き）

時間がない…時間が…。

歡喜の断末魔に關してはモンスターをカード効果關係無くリリースしてから召喚（例外なく）される者全体に發動するものだと思います。

準決勝 VS マリク（後半）（前書き）

すいません、パソコンが消えて、データが消えたのでマリクはラークが出たあと瞬殺します。そのせいで短いですが、疲れてしまい、書く気力がなくなっただけです。身勝手ですが、ご了承ください。ですが遊戯戦は期待をしておいてください！

準決勝 VS マリク（後半）

遊夜LP500 手札1

場

- ・ブリザード・プリンセス（攻2800）
- ・ガガガマジシャン（守1000）
- ・サモンブリスト（守1600）
- ・セットカード

マリクLP2900 手札0

- ・ヘルポエマー（攻2000）

「俺のタアーン、ドロウ！俺は 天使の施し を発動、3枚ドロ―し、2枚捨てる。そして魔法カード、 天よりの宝札 を発動！カードを6枚ドロ―だ。そしてお前の場のブリザード・プリンセスとガガガマジシャンを生贄に、俺はラヴァゴーレムをお前の場に召喚する！」

ようがんまじん

溶岩魔神ラヴァ・ゴーレム

効果モンスター

星8 / 炎属性 / 悪魔族 / 攻3000 / 守2500

このカードは通常召喚できない。

相手フィールド上に存在するモンスター2体をリリースし、

手札から相手フィールド上に特殊召喚する。

自分のスタンバイフェイズ毎に、自分は1000ポイントダメージを受ける。

このカードを特殊召喚するターン、自分は通常召喚できない。

「ちよつ、まつ、アツアアアアアア！！」

召喚された溶岩の体を持つ巨体の持つ籠に閉じ込められる遊夜。

「くつくつくつ、さらに俺は 死者蘇生 で天使の施しで捨てたラ
ーを蘇らせるう。来い！不死鳥お！そして我が魂をコストにラーを
覚醒させるう！……………」

マリクはLP1000削り、ゴリラ語を唱え始める。

「げっ、さらにラーかよ…ん？待てよ、神にこいつが効くかどうか
試してみる価値はあるな…。」

「……………！いけえラーよ！天月遊夜を焼き尽くせえ！」

「「「遊夜！」「」」

遊戯たちは城之内との戦いを思い出しているようだ。だが、関係ないぜ！

「俺は手札のエフェクトヴェーラーの効果を発動！！」

「このタイミングで手札からモンスター効果！？！？」

「俺のクリボーのようなものか？」

「神への魔法、モンスター効果は1ターンのみ受け付ける…。」

「ま、まさかその効果は！？」

「そう、その名のとおり相手のモンスター効果を無効化させるカー

ドだ！」

場に出てきたエフェクトヴェーラーは自身をオーロラのようにしーを包み込む、包み込まれたラーの炎は沈静化した。

エフェクト・ヴェーラー

チューナー（効果モンスター）

星1 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻 0 / 守 0

このカードを手札から墓地へ送り、

相手フィールド上に表側表示で存在する

効果モンスター1体を選択して発動する。

選択した相手モンスターの効果をエンドフェイズ時まで無効にする。
この効果は相手のメインフェイズ時のみ発動する事ができる

「ちっ、バトルフェイズでヘルポエマーでサモンブリストを破壊し、ターンエンドだ。」

マリク LP 1900 手札 4

場

・ヘルポエマー（攻2000）

「俺のターンだ！」

「しかしラヴァゴーレムの効果で貴様はGAME OVERだ！」

「くっ、終わりなのか…！？」

本田の言葉に遊戯が反応する。

「いや、遊夜の顔を見てみてくれ、何か策があるみたいだ。」

「何を言っている遊戲い、このターンで終わりなんだよおこいつはあ！」

「遊戲の言葉が正解だぜ。俺はリバースカード 神秘の中華なべを発動！こいつは自分のモンスター1体を生贄に、攻撃力、守備力どちらかの数値をライフに加えるカードだ。俺はラヴァゴーレムの攻撃力を選択するぜ。」

遊夜LP3500 手札6

「よしっ！これで遊夜が圧倒的なアドバンテージを得たぜ！」

「くっ…。しまったあ…。」

「俺はクルセイダー・オブ・エンディミオン（攻1900）を召喚、そして俺は 魔法再生 を使い、死者蘇生を手札に加え発動し、ラ―を特殊召喚する。」

「なっ！？」「神を召喚だぞ！？」

「ふっ…ファハハハハ！なめるなよガキが！貴様如きが神を操ることが出来るものか！」

「（シーク、解読を頼めるか？）」

『お任せを、私に続けてください。今我が魂を神に捧げ……………』

「今、我が魂を神に捧げ・・・・・・・・・・・・・・・・」

「なっ！ヒエラティック・テキストを読んでいるだど……！？馬鹿な！？千年アイテムの掲示がない奴になぜ読める！？」

そんなマリクを尻目に海馬兄弟以外の者は全員

「……（……絶対シークに解読を頼んでるな。）……」

満場一致で正解を導き出していた。

「（まあ、神のおかげ（転生させた方）だけだな。っと終了か、もう絶対言いたくねえなコレ。）さあいけラー！【ゴッドフェニックス】！！」

ラーの炎がヘルポエマーを包み、灰と化した。さらにラーの攻撃はマリクの精神にもダメージを与える。

「おおつつくおおおアアアア！！！！！！！！」

「……これで終わりだ！クルセイダー・オブ・エンディミオンで止め！」

クルセイダー・オブ・エンディミオン 攻1900

マリク LP1900 ↓ 0

「そこまで！勝者 天月遊夜！」

「やったな遊夜！これで城之内君達は戻ってくるはずだ。」

「いや、遊戯、マリクにマインドクラッシュをやっておいでくれ。それで多分マリクは元に戻る…はず。」

「今の間は気になるが、分かった、やっておくれ。」

「…30分後の決勝のステージで待っているよ。」

さあ、これでラストステージだ。

準決勝 VS マリク（後半）（後書き）

え？マインドクラッシュで終わらせたのが不服ですか？…実際、それしか思い浮かばなかったんです…。

決勝戦 VS 武藤遊戯（前編）（前書き）

風邪が治ったので投稿…

やばい、原作通りに書いた話が黒歴史すぎる…。

そして今回も…設定って、面倒くさいね、伏線の張り方もめんどくさいね。

決勝戦 VS 武藤遊戯（前編）

「…そろそろ決勝の時間か…ついにここまで来たな、シーク。」

『はい、そうですね、戦ったのは原作の人ばかりでしたが…、』

今さっきマリク戦を終え、決勝の相手、武藤遊戯、いやアテムとの決闘のためデッキ改良を終えたところだ。
デュエル

【決勝戦を行うので、今すぐ出場選手、武藤遊戯、天月遊夜は集まってください。】

時間を示すアナウンスが決闘塔に響き渡る。
デュエルタワー

「…よし、出来たぞ、今できる俺にとって最高のデッキが！」

『行きましょう、遊夜。』

「ああ！絶対に勝ってみせるよ。」

ウィイウィイイン

不思議だ、最上階へと登るエレベーターの音が今はよく聞こえる、

…俺は弱い。俺の周りはすごい奴ばかりだった、故に俺は決闘を楽しめた、

あいつらに勝つという目標が出来たからな、俺はあいつらが最強の決闘者だと思ってた頃もあった、

攻撃力10000超えなんて普通だと思ってたからな…

俺だって、ジ・アース使ってシャイニングフレア吸収したら10000越え出来るんだよ…。たまに。

まあ、それは置いて…大丈夫だ、俺のデッキにはあいつらからもらったカードが入ってる、勝てるさ。

あいつらの決闘前のセリフは、GXのをパクっていたからな…。

イイイイイ…チーン！

「着いたみたいだな…勝ってみせるさ、なあシーク！」

『…ふつ、当たり前でしょう。』

ワアアアアアアア！

ドアが開くと、天空コロシウムがあった、

「来たな、遊夜！」

そのコロシアムの真ん中に佇む決闘者、武藤遊戯、

大丈夫さ。俺はいつもどおりやればいい、そうさ、いつもどおり皆で決闘前にいつも言っていたセリフを言おう。

…さあ、

「楽しい決闘デュエルをしようぜ！」

「望むところだ！」

【決勝戦、開始iiiiii!!】

「「決闘デュエル!!」」

遊戯LP4000

遊夜LP4000

「俺のターンドロー!…俺は磁石の戦士αを召喚!」

磁石の戦士α、

通常モンスター

星4/地属性/岩石族/攻1400/守1700

α、β、γで変形合体する。

「さらに俺はカードを2枚伏せターンエンド。」

遊戯LP4000 手札3

場

・磁石の戦士α、（守1700）

・セットカード

・セットカード

「俺のターン、ドロー！俺は魔導戦士ブレイカーを召喚！

魔導戦士ブレイカー

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1600 / 守1000

このカードが召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大1つまで）。

このカードに乗っている魔力カウンター1つにつき、

このカードの攻撃力は300ポイントアップする。

また、このカードに乗っている魔力カウンターを1つ取り除く事で、フィールド上に存在する魔法・罠カード1枚を破壊する

「効果で魔力カウンターがのり、攻撃力1900となる。…攻撃だ！」

魔導戦士ブレイカーの剣にオーラが宿り斬撃が飛び、磁石の戦士は破壊される。

「俺は破壊されたとき場の罠カード発動！魂の綱！効果でLP1000払い、デッキからクイーンズナイトを特殊召喚！」

遊戯LP4000 ↓ 3000

クイーンズ・ナイト、

通常モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1500 / 守1600

しなやかな動きで敵を翻弄し、

相手のスキを突いて素早い攻撃を繰り出す

「くっ、カードを1枚伏せ、魔導戦士ブレイカーの効果発動！魔力カウンターを取り除き、残ったセットカードを破壊する！【マナ・ブレイク】！！」

先ほどとは違う魔力オーラが剣を包み、放たれ、遊戯のカードを破壊した。

「魔法解除 か、無駄打ちになったな。ターンエンド。」

遊夜LP4000 手札4

場

- ・魔導戦士ブレイカー（攻1600）
- ・セットカード

「俺のターン！ドロー！」

遊戯LP3000 手札4

場

- ・クイーンズナイト（攻1500）

「俺はキングス・ナイトを召喚！効果発動！キングが場に出たとき、クイーンが既に入ればジャックを場に出せる！来い！ジャックスナ

イト!!」

キングス・ナイト、

効果モンスター

星4 / 光属性 / 戦士族 / 攻1600 / 守1400

自分フィールド上に「クイーンズ・ナイト」が存在する場合に

このカードが召喚に成功した時、デッキから「ジャックス・ナイト」1体を特殊召喚することができる。

ジャックス・ナイト、

通常モンスター

星5 / 光属性 / 戦士族 / 攻1900 / 守1000

あらゆる剣術に精通した戦士。

とても正義感が強く、弱き者を守るために闘っている

「こいつはやばいな…。」

「さらに俺は 融合 を発動!場の3体を融合し…現れる!アルカナ・ナイト・ジョーカー!!!」

アルカナナイトジョーカー

融合・効果モンスター

星9 / 光属性 / 戦士族 / 攻3800 / 守2500

「クイーンズ・ナイト」+「ジャックス・ナイト」+「キングス・ナイト」

このカードの融合召喚は上記のカードでしか行えない。

フィールド上に表側表示で存在するこのカードが、

魔法カードの対象になった場合は魔法カードを、

罨カードの対象になった場合は罨カードを、効果モンスターの効果の対象になった場合はモンスターカードを、手札から1枚捨てる事でその効果は無効にする。この効果は1ターンに1度しか使用できない

「3800か…（デメンション・マジックを使っても無駄か…？いや、）その召喚に対して、エフェクトヴェーラーの効果発動！」

「無駄だぜ！手札を一枚捨て…いや、受けよう。（使っても結局は意味がない。だが）俺は 強欲な壺 でカードを2枚ドロ―する。」

「俺はリバーズ発動！ デメンション・マジック ！俺は場のブレイカーをリリース！来い！ブラック・マジシャン！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100
魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

「俺はアルカナ・ナイト・ジョーカーを破壊する！」

ブラック・マジシャンが出てきた棺の鎖がアルカナ・ナイト・ジョーカーに巻き付き、爆発する。

「くっ、だが 死者蘇生 で場に戻す！」

「ちっ、そう簡単に勝てないか。」

「当然、攻撃だ！行け！【ジョーカーソードスラッシュ】！」

アルカナ・ナイト・ジョーカー 攻3800

VS

ブラック・マジシャン 攻2500

遊夜LP4000↓2700

アルカナ・ナイト・ジョーカーの剣は無残にもブラック・マジシャンの結果を破壊する

「くっ！」

「俺はこのままターンエンドだ。」

遊戯LP3000 手札2

場

・アルカナ・ナイト・ジョーカー（攻3800）

「俺のターン！」

遊夜LP2700 手札3

「俺は召喚僧サモンプリーストを召喚！」

召喚僧サモンプリースト

効果モンスター（準制限カード）

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 800 / 守1600

このカードはリリースできない。

このカードは召喚・反転召喚に成功した時、守備表示になる。

1ターンに1度、手札から魔法カード1枚を捨てる事で、

自分のデッキからレベル4モンスター1体を特殊召喚する。

この効果で特殊召喚したモンスターは、そのターン攻撃する事ができない

「俺は手札の 賢者の宝石 を墓地に送り、デッキからガガマジシャンを特殊召喚!!」

ガガマジシャン

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1500 / 守1000

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に

1から8までの任意のレベルを宣言して発動する事ができる。

エンドフェイズ時まで、このカードのレベルは宣言したレベルとなる。

「ガガマジシャン」は自分フィールド上に1体しか表側表示で存在できない。

このカードはシンクロ素材とする事はできない

「俺は残りの手札、 強欲な壺 を使い、カードを2枚ドロ―、！来た！カードを1枚伏せ 天よりの宝札 発動！効果で6枚ドロ―する！」

「俺は4枚ドロ―だ。∴手札のワタポンの効果発動、こいつを特殊召喚するぜ！」

ワタポン、

効果モンスター

星1 / 光属性 / 天使族 / 攻 200 / 守 300

このカードが魔法・罫・効果モンスターの効果によって

自分のデッキから手札に加わった場合、

このカードを自分フィールド上に特殊召喚する事ができる

「俺は 死者蘇生 でブラック・マジシャンを蘇生する。」

「ふつ、来るか、お前のデッキのエースが！」

「俺はガガマジシャンをレベル8にし、ブラック・マジシャンと共にリリース、来い！黒の魔法神官！！」

黒の魔法神官（マジック・ハイエロファント・オブ・ブラック）

効果モンスター

星9 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻3200 / 守2800

このカードは通常召喚できない。

自分フィールド上に存在するレベル6以上の魔法使い族モンスター2体を

生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、畏れカードの発動を無効にし破壊する事ができる

「さらに俺はリバース発動！ 一族の結束！」

黒の魔法神官 攻3200 ↓ 4000

「さあ行くぜ！【セレスティア・ブラック・バーニング】！！」

黒の魔法神官

攻4000

VS

アルカナ・ナイト・ジョーカー

攻3800

「っ！」

遊戯LP2800

「俺はターンエンド。」

遊夜LP2700 手札4

場

- ・黒の魔法神官（攻4000）
- ・サモンプリースト（守1600）
- ・一族の結束

「俺のターンだ！」

遊戯LP2800 手札6

場

- ・ワタポン

「俺は手札を一枚捨て、THA・トリッキーを特殊召喚！」

THEトリッキー、

効果モンスター

星5/風属性/魔法使い族/攻2000/守1200

このカードは手札を1枚捨てて、手札から特殊召喚する事ができる

「俺は速攻魔法 トリッキーズ・マジック4 を発動！自分フィールド上に表側表示で存在するTHE トリッキー1体を墓地に送る、このカードの効果処理時に相手フィールド上に存在するモンスターの数だけ「トリッキートークン」（魔法使い族・風・星5・攻20

00/守1200)を守備表示で特殊召喚するぜ。このトークンは攻撃宣言を行う事はできないがな。」

「これで、場に3体のモンスターが揃った…。」

「見せてやるぜ、3体を生贄に、現れる！破壊神オベリスクー！」

オベリスクの巨神兵

効果モンスター

星10/神属性/幻神獣族/攻4000/守4000

このカードを通常召喚する場合、

自分フィールド上に存在するモンスター3体をリリースして

アドバンス召喚しなければならない。

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、

このカードを魔法・罠・モンスターの効果の対象にする事はできない。

自分フィールド上に存在するモンスター2体をリリースする事で、

相手フィールド上に存在するモンスターを全て破壊する。

特殊召喚されたこのカードは、エンドフェイズ時に墓地へ送られる

「俺はオベリスクでサモンプリーストを攻撃、【ゴッドハンドクラッシャー】！」

オベリスクの巨神兵 攻4000

VS

サモンプリースト 守1600

神の拳は年老いた召喚士を叩き潰す。…なんかサモンプリーストから呪詛が聞こえてくるのは気のせいか…？気のせいだよな！

「俺は、ターンエンド。」

遊戯LP2800 手札2
場

・オベリスクの巨神兵（攻4000）

「くっ、俺のターン！」

遊夜LP2700 手札5
場

・黒の魔法神官（攻4000）
・一族の結束

「俺は魔導騎士ディフェンダーを召喚！効果でカウンターが乗る。」

魔導騎士ディフェンダー

効果モンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1600 / 守2000

このカードが召喚に成功した時、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大1つまで）。

フィールド上に表側表示で存在する魔法使い族モンスターが破壊される場合、

代わりに自分フィールド上に存在する魔力カウンターを、

破壊される魔法使い族モンスター1体につき1つ取り除く事ができる。

この効果は1ターンに1度しか使用できない

魔導騎士ディフェンダー 攻1600 ↓ 2400

「行くぞ！黒の魔法神官でオベリスクを攻撃！」

「相打ち狙いか？」

「いや？ディフェンダーの効果発動！自分フィールドの魔力カウンターを取り除くことで破壊を無効にする！」

「何！？」

黒の魔法神官 攻4000 破壊無効

VS

オベリスクの巨神兵 攻4000

「さらにディフェンダーで攻撃だ！」

遊戯LP2800↓400

「くっ、だが、手札のゴーズの効果発動！現れろ！冥府の使者ゴーズ&カイエン！」

冥府の使者ゴーズ 攻2700

カイエントークン 攻2400

冥府の使者ゴーズ、

効果モンスター（制限カード）

星7/闇属性/悪魔族/攻2700/守2500

自分フィールド上にカードが存在しない場合、

相手がコントロールするカードによってダメージを受けた時、

このカードを手札から特殊召喚する事ができる。

この方法で特殊召喚に成功した時、受けたダメージの種類により以下の効果を発動する。

●戦闘ダメージの場合、自分フィールド上に「冥府の使者カイエン トークン」

（天使族・光・星7・攻/守?）を1体特殊召喚する。

このトークンの攻撃力・守備力は、この時受けた戦闘ダメージと同じ数値になる。

●カードの効果によるダメージの場合、
受けたダメージと同じダメージを相手ライフに与える

「なっ！しまった！くっ、俺はカードを2枚伏せターンエンド。」

遊夜LP2700 手札2

場

・黒の魔法神官（攻4000）

・魔導騎士ディフェンダー（攻2400）

・一族の結束

・セットカード

・セットカード

遊戯LP400 手札1

場

・冥府の使者ゴーズ（攻2700）

・カイエントークン（攻2400）

「やるな、遊戯！」

「ふっ、こっから俺の反撃だ！」

決勝戦 VS 武藤遊戯（前編）（後書き）

アンケを取ります。

G X 編では魔法族だけでは無理があるので

? このままマジシャンで突っ切る

? 他のデッキを使っても良い

の2つでお願いいたします。

決勝戦 VS 武藤遊戯（後編）（前書き）

てか遊夜のデッキロックだよな・・・？

このごろ全然使っていない気がする…。

決勝戦 VS 武藤遊戯（後編）

遊夜LP 2700 手札 2
場

- ・ 黒の魔法神官（攻4000）
- ・ 魔導騎士ディフェンダー（攻2400）
- ・ 一族の結束
- ・ セットカード
- ・ セットカード

遊戯LP 400 手札 1
場

- ・ 冥府の使者ゴーズ（攻2700）
- ・ カイエントークン（攻2400）

「俺のターンドロー!!」

遊戯手札 2

「俺は天使の施しを発動！3枚ドロし、2枚捨てる。そして俺は今墓地に送ったデーモンの召喚と墓地のワタポンを除外し、カオス・ソルジャー - 開闢の使者 - を特殊召喚だ！」

デーモンの召喚、
通常モンスター

星6 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻2500 / 守1200

闇の力を使い、人の心を惑わすデーモン。

悪魔族ではかなり強力な力を誇る。

カオス・ソルジャー開闢の使者（GX）

効果モンスター（制限カード）

星8 / 光属性 / 戦士族 / 攻3000 / 守2500

このカードは通常召喚できない。

自分の墓地の光属性と闇属性モンスターを1体ずつ

ゲームから除外した場合に特殊召喚できる。

1ターンに1度、以下の効果から1つを選択して発動できる。

●フィールド上のモンスター1体を選択してゲームから除外する。

この効果を発動するターン、このカードは攻撃できない。

●このカードの攻撃によって相手モンスターを破壊した場合、もう1度だけ続けて攻撃を行う事ができる。

「んなにいい!!?」

いや確かに、GXで出てたけど!この時はまだだろ!ドーマ編ぐらいからだろお!?

「スゲエ、攻撃力3000を特殊召喚したぜ!」

「王国で使ったカオスソルジャーのリメイクか!」

「だがその召喚に対してリバーズカードオープン! 黒魔族復活の棺!こいつでカオス・ソルジャーと場のデIFエンダーを墓地に送り、墓地よりブラック・マジシャンを特殊召喚する!」

ブラック・マジシャン 攻2500 ↓ 3300

「くっ、だが俺は 天よりの宝札 を発動!」

遊夜手札 2 ↓ 4

遊戯手札 0 ↓ 6

「俺は 死者転生 発動！手札を一枚捨て、墓地からカオス・ソルジャーを手札に戻す。そして俺は墓地のジャックス・ナイトと死者転生で捨てたグレムリンを除外し、カオス・ソルジャーを、もう一度特殊召喚！」

グレムリン、

通常モンスター

星4 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻1300 / 守1400

いたずら好きの小さな悪魔。

暗闇から襲ってくる。気をつける！

遊戯手札 6 ↓ 4 ↓ 5 ↓ 4

「そして、カオス・ソルジャーの効果で黒の魔法神官を除外！」

遊戯LP 400 手札 4

場

・冥府の使者ゴース（攻2700）

・カイエントークン（攻2400）

・カオス・ソルジャー - 開闢の使者 - （攻3000）

遊夜LP 2700 手札 6

場

・ブラック・マジシャン（攻3300）

- ・一族の結束
- ・セットカード

「カードを2枚伏せ。俺は エクスチェンジ を発動！」

「げっ、」

遊戯の手札

- ・賢者の宝石

遊夜の手札

- ・マジック・サンクチュアリ
- ・魔宮の賄賂
- ・クルセイダー・オブ・エンディミオン
- ・熟練の黒魔術士
- ・神秘の中華なべ
- ・ブリザード・プリンセス

「俺はマジック・サンクチュアリを選択するぜ。」

「っ…賢者の宝石だ。」

「そして今交換した マジック・サンクチュアリ を発動！俺はデッキから サイクロン を選択するぜ。」

「なら俺は デイメンション・マジック だ。」

「俺は サイクロン を発動！効果で 一族の結束 を破壊する！」

「くっ！」

「場のゴースでブラック・マジシャンを、カイエンでダイレクトアタック！」

冥府の使者ゴース 攻2700

VS

ブラック・マジシャン 攻2500

「させるか！リバーiscardオープン！リビングデッドの呼び声！効果で俺はディフェンダーを特殊召喚！」

「ならばカイエンでディフェンダーを攻撃！」

カイエントークン 攻2400

VS

魔導騎士ディフェンダー 攻1600

遊夜LP2700↓2500↓1700

「俺はこのままターンエンドだ。」

遊戯LP400 手札0

場

・冥府の使者ゴース（攻2700）

・カイエントークン（攻2400）

・カオス・ソルジャー - 開闢の使者 - （攻3000）

・セットカード

・セットカード

「やっぱすげえな、1枚ずつしか入っていないデッキをそこまで回せるなんて。」

「そうか？」

「ああ、だが、俺のマジシャン達も負けていないぜ！俺のターン！（このカードは！）」

遊夜LP1700 手札8

「（お前のカード、使わせてもらっぜ雨宮！）俺は手札からクルセイダー・オブ・エンディミオンを召喚！そして デイメンション・マジック を発動し、手札からブリザード・プリンセスを特殊召喚！効果でカオス・ソルジャーを破壊する。」

クルセイダー・オブ・エンディミオン
デュアルモンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1900 / 守1200

このカードは墓地またはフィールド上に表側表示で存在する場合、通常モンスターとして扱う。

フィールド上に表側表示で存在するこのカードを通常召喚扱いとして再度召喚する事で、

このカードは効果モンスター扱いとなり以下の効果を得る

- 1ターンに1度、フィールド上に表側表示で存在する

魔力カウンターを置く事ができるカード1枚に魔力カウンターを1つ置く事ができる。

この効果で魔力カウンターを置いたターンのエンドフェイズ時まで、このカードの攻撃力は600ポイントアップする。

ブリザード・プリンセス

効果モンスター

星8 / 水属性 / 魔法使い族 / 攻2800 / 守2100

このカードは魔法使い族モンスター1体をリリースして

表側攻撃表示でアドバンス召喚する事ができる。

このカードが召喚に成功したターン、相手は魔法・罠カードを発動する事ができない

「俺は魔法カード メタモルフォーゼ 突然変異 を発動！こいつは生贄に捧げたモン

スターと同じレベルの融合モンスター1体を特殊召喚出来る！俺はレベル8！ブリザード・プリンスを生贄に、エク…融合デッキからサイバー・ツイン・ドラゴンを特殊召喚！」

- なあなあ、夕夜、お前もサイバー系使わねえか？ -

- いや、サイバードラゴン高いだろ、雨宮… -

フューチャーフュージョン

「未来融合で融合呪印で特殊召喚出来るだろ。とりあえず、サイバードラゴン、サイバーツインドラゴン、サイバーエンドドラゴン渡しておくから、デッキ組んでみてくれよ。」

- 仕方ないな… -

…結局組んだはいいがあいつの裏サイバーにボコボコにされたな…あれツインとかじゃなくてキメラティックくれよと思ったしな…。

サイバー・ツイン・ドラゴン

融合・効果モンスター

星8 / 光属性 / 機械族 / 攻2800 / 守2100

「サイバー・ドラゴン」+「サイバー・ドラゴン」

このカードの融合召喚は、上記のカードでしか行えない。

このカードは一度のバトルフェイズ中に2回攻撃する事ができる。

「融合召喚をせずに融合モンスターを召喚するなんて、なんてカードだ！」

「サイバー……？紹馬か？」

「俺はゴーズを攻撃！」

サイバー ツインドラゴン 攻2800

VS

冥府の使者ゴーズ 攻2700

遊戯LP400↓300

「さらにサイバーツインは2度攻撃出来る！行け！【エヴォルーション・ツイン・バースト】！！」

「なんだと！？くっ、俺はリバーズカード マジカルシルクハット 発動！デッキからモンスター以外のカード、俺は 融合解除と 罠はずし を選択する。」

「……俺は真ん中を攻撃する。」

「破壊されたのは融合解除だ。」

「ちっ……俺はカードを3枚伏せ、ターンエンド。」

遊夜LP1700 手札1
場

- ・サイバー・ツイン・ドラゴン（攻2800）
- ・セットカード
- ・セットカード
- ・セットカード

「このターンで何かしなければ…負ける！俺のターン！」

遊戯LP300 手札2
場

- ・カイエントークン（攻2400）
- ・セットカード

「俺はリバースカード、デビルズ・サンクチュアリを発「それに対して 魔宮の賄賂 を発動！魔法・罠の発動を無効にして破壊し、相手は1枚ドロウする。」…ドロウ…！俺はカードを1枚伏せ翻弄するエルフの剣士を守備表示で召喚！」

翻弄するエルフの剣士、
効果モンスター

星4/地属性/戦士族/攻1400/守1200
このカードは攻撃力1900以上のモンスターとの戦闘では破壊されない。

「俺はカイエントークンを守備表示にし、ターンエンド。」

遊戯LP300 手札0
場

- ・カイエントークン（守2400）

- ・ 翻弄するエルフの剣士（守1200）
- ・ セットカード

「…俺のターン！」

遊夜LP1700 手札2

場

- ・ サイバー・ツイン・ドラゴン（攻2800）
- ・ セットカード
- ・ セットカード

「…（あのリバースカード…）攻撃だ！」

「俺はリバースカードオープン！ 重力解除 ！！このカードの効果で場のモンスター全ての表示形式は変わる。」

サイバー・ツイン・ドラゴン 攻2800 ↓ 守2100

カイエントークン 守2400 ↓ 攻2400

翻弄するエルフの剣士 守1200 ↓ 攻1400

「くっ、俺は熟練の黒魔術士を召喚し、ターンエンド。」

熟練の黒魔術士

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1900 / 守1700

このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、

自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大3つまで）。

遊夜LP1700 手札2
場

- ・サイバー・ツイン・ドラゴン（守2100）
- ・熟練の黒魔術士（守1700）
- ・セットカード
- ・セットカード

「俺のターン！」

遊戯LP300 手札1
場

- ・カイエントークン（攻2400）
- ・翻弄するエルフの剣士（攻1400）

「…俺はカイエントークンでサイバー・ツイン・ドラゴンを攻撃！」

カイエントークン （攻2400）

VS

サイバー・ツイン・ドラゴン（守2100）

「俺は翻弄するエルフの剣士を守備にして、ターンエンドだ。」

「くっ…（セットカードは 神秘の中華なべ と 賢者の宝石、
逆転は狙えないし、そもそも エクスチェンジ で見られてるから、
ブラフにもならないな…。）俺のターン！！！」

遊夜LP1700 手札3
場

- ・熟練の黒魔術士（守1700）
- ・セットカード（神秘の中華なべ）
- ・セットカード（賢者の宝石）

「俺は場の熟練の黒魔術士を生贄に、サイバネティック・マジシャンを召喚だ！」

サイバネティック・マジシャン
効果モンスター

星6 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻2400 / 守1000

手札を1枚捨てる。このターンのエンドフェイズ時まで

フィールド上に表側表示で存在するモンスター1体の攻撃力は2000になる

「サイバネティック・マジシャンの効果発動！手札を1枚墓地に送ることで場のモンスターの攻撃力を2000にする！俺はカイエントークンを2000にするぜ。」

カイエントークン 攻2400 ↓ 2000

「サイバネティック・マジシャンで攻撃！」

「手札のクリボーの効果発動！戦闘ダメージを0にする！」

「ああもうしつこいな！ターンエンド！」

遊夜LP1700 手札1

場

- ・サイバネティック・マジシャン（攻2400）
- ・セットカード（神秘の中華なべ）

・セットカード（賢者の宝石）

「俺も、負ける訳にはいかなからな！ドロー！」

遊戯LP300 手札2

場

・翻弄するエルフの剣士（守1200）

「俺はブロックマンを守備表示で召喚、さらに 光の護符剣 を発動、これの効果で相手ターンで数え3ターン相手は攻撃できない。ターンエンドだ。」

ブロックマン、

効果モンスター

星4 / 地属性 / 岩石族 / 攻1000 / 守1500

このカードを生け贄に捧げる。

このカードが自分フィールド上に表側表示で存在した自分のターン数と同じ数だけ

「ブロックトークン」（岩石族・地・星4・攻1000 / 守1500）を

守備表示で特殊召喚する。

このトークンは攻撃宣言を行う事はできない。

遊戯LP300 手札0

場

・翻弄するエルフの剣士（守1200）

・ブロックマン（守1500）ターン1

・光の護符剣 ターン0

「俺のターン！」

遊夜LP1700 手札2
場

- ・サイバネティック・マジシャン（攻2400）
- ・セットカード（神秘の中華なべ）
- ・セットカード（賢者の宝石）

「俺はこのままターンエンドだ。」

光の護符剣 ターン1

「俺のターン！」

遊戯LP300 手札1
場

- ・翻弄するエルフの剣士（守1200）
- ・ブロックマン（守1500）ターン2
- ・光の護符剣 ターン1

「俺も、このままターンエンドだ。」

「俺のターン！」

遊夜LP1700 手札3
場

- ・サイバネティック・マジシャン（攻2400）
- ・セットカード（神秘の中華なべ）
- ・セットカード（賢者の宝石）

「ターンエンド。」

光の護符剣 ターン2

「俺のターン！」

遊戯LP300 手札2

場

- ・ 翻弄するエルフの剣士（守1200）
- ・ ブロックマン（守1500）ターン3
- ・ 光の護符剣 ターン2

「俺はブロックマンの効果発動！ブロックマンを墓地に送り、「ブロックトークン」（岩石族・地・星4・攻1000/守1500）を3体特殊召喚！する。さらにその2体を生贄に、来い！ブラック・マジシャン！！翻弄するエルフの剣士を攻撃表示にし、攻撃！【黒・魔・導】！」

ブラック・マジシャン、
通常モンスター

星7/闇属性/魔法使い族/攻2500/守2100
魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

ブラック・マジシャン 攻2500

VS

サイバネティック・マジシャン 攻2400

遊夜LP1700↓1600

「さらに翻弄するエルフの剣士でダイレクトアタック！！」
【清・剣・

斬^{ざん}】！！」

遊夜LP1600↓400

「俺はこれでターンエンド！」

遊戯LP300 手札1

場

- ・ブラック・マジシャン（攻2500）
- ・翻弄するエルフの剣士（攻1400）
- ・ブロックトークン（守1500）
- ・光の護符剣 ターン2

「俺の…ターン！」

遊夜LP400 手札3

場

- ・セットカード（神秘の中華なべ）
- ・セットカード（賢者の宝石）

「俺は天使の施しを発動！3枚ドロし、2枚捨てる、よし！俺はマジカル・コンダクターを召喚！」

マジカル・コンダクター

効果モンスター

星4/地属性/魔法使い族/攻1700/守1400

自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを2つ置く。

このカードに乗っている魔力カウンターを任意の個数取り除く事で、取り除いた数と同じレベルの魔法使い族モンスター1体を、

手札または自分の墓地から特殊召喚する。

この効果は1ターンに1度しか使用できない。

「俺はリバーズカードオープン！ 神秘の中華なべ！マジカル・コンダクターを生贄に、LPを1700回復する。」

遊夜LP400↓2100

「さらに手札から 早すぎた埋葬 を発動！LPを800払い、墓地からブラック・マジシャン・ガールを特殊召喚！墓地のブラック・マジシャンの数だけ攻撃力を300上げる！」

遊夜LP2100↓1300

ブラック・マジシャン・ガール 攻2000↓2300

「そのカードは…！今の 天使の施し でか…！しかも エクスチエンジ で渡したカードは…！」

ブラック・マジシャン・ガール

効果モンスター

星6/闇属性/魔法使い族/攻2000/守1700

お互いの墓地に存在する「ブラック・マジシャン」

「マジシャン・オブ・ブラックカオス」1体につき、

このカードの攻撃力は300ポイントアップする

「その通りだぜ遊戯！もう一つのセットカード 賢者の宝石 を発動！これでデッキから2枚目のブラック・マジシャンを特殊召喚！」

ブラック・マジシャン

通常モンスター

星7 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2500 / 守2100
魔法使いとしては、攻撃力・守備力ともに最高クラス

「くつ、だが攻撃は出来ないぜ?」

「それはどうかな? 俺の最後の手札、黒・魔・導 を発動! 自分の場にブラック・マジシャンがいれば、相手の場の魔法・罠を全て破壊する! お前の場の 光の護符剣 を破壊する!」

「くつ、俺にもう攻撃を防ぐ手立てはない・・・!」

「ブラック・マジシャンで翻弄するエルフの剣士を攻撃! 【黒・魔・導】!」

ブラック・マジシャン 攻2500

VS

翻弄するエルフの剣士 攻1400

遊戯LP300 ↓ 1800

遊夜LP1300

【そこまで! 勝者は天月遊夜!】

「よっしゃあああああああ!」

「…おめでとう。遊夜。…お前に、神のカードを渡そう、どちらかを選んでくれ。」

「俺は、オシリスを選ぶが、必要ならば、お前にオシリスとラーを渡すぜ、^{フェラオ}王様。」

「！…そうか、ありがとう。」

【さて、決闘塔の起爆装置を作動させた、爆発までの1時間までに、この島から離れるように。】

「なっ！海馬のやつ！負け惜しみまでに限度があるだろ！」

「皆！急げ！」

「き、聞いてない…」

磯野さんは、何か凹んでいたけど、誰も気にしていない。まあ、爆発まで時間ないしな。

「遊夜！急げ！」

「ああ、わかってるよ。」

さて、これからどうなるのかね。

…楽しみだ。

決勝戦 VS 武藤遊戯（後編）（後書き）

え？今回出た雨宮？これっきりだと思いますよ？

遊夜が友達に貰ったカードは結構ありますよ。あとあいっらは4人です。その一人が雨宮です。って設定にしようと思います。

感想…欲しいな（チラッ

次回は海馬とペガサスと話をします。O H A N A S I I じゃないですよ。

遊夜が転生者というのをばらし、シンクロ・エクシーズを提案するだけです。

オマケ&アンケート（前書き）

白「オマケというか…雑談？何がしたかったかわからないかいですね。」

遊「暴露回とも言えるな。」

シ「まあ、色々なことを話しますね。」

オマケ&アンケート

白「えー、アンケート結果、？が一人、？が4人ということで、ほかのデッキを使うということになりましたー！」

遊「ほかのデッキ…ねえ、お前にそんな高度な使い分け、できるのか？」

シ「まあ、何事もチャレンジ、ということですかね。」

遊「ところで、基本的にどういうデッキを使うんだ？一応GXは基本シンクロ・エクシーズだろ？ほかの小説みたいに。」

シ「シンクロ・エクシーズだと、アーカナイトマジシャンと希望王ホープが主体のデッキになるという設定でしたが…？」

白「まあ、とりあえず、低レベル主体の見習いシンクロで、E・HEROジ・アース主体でそこにさらにエクシーズを突っ込むデッキだ。あとは、感想にあったオリカ主体のスフィアと、暗黒界や特殊勝ちデッキだな。」

遊「…割と多いな、できんのか？特に暗黒界はひじき様の【遊戯王】憑依とデュエルと転生と」の主人公のデッキだぞ？」

シ「さらにE・HEROはありきたりですし、サイドデッキ15枚までですからきついですよ？いくらTFで作ったデッキをモデルにしているとはいえ、結構負けが多いデッキじゃありませんか。」

遊「決勝戦ではサイバー・ツイン・ドラゴン使ったし…、長引かせ

るためとはいえ、他に手があつたんじゃないか？前世で俺表サイバ
ー流デッキ作ってるし…。」

シ「雨宮、という親友にボコボコにされている、とも語ってました
ね。」

白「ああ、なんか高すぎる壁ってそんな感じかと。」

遊「おい、何俺が弱いイメージが強いんだ。」

白「いや、…まあ、…作者が弱いから…だな。」

シ「現実では魔法使いデッキに【サイバードラゴン】いれてたり、
【マシユマロン】入れてたり、【ゴーズ】入れてたり、なんのつも
りなんですか…。そのくせ【魔法族の里】を入れているという…私を
初期絵、石版、腕組み、パンドラと持っているのにデッキ入れてい
ませんし…。」

白「いや…友達、【ガジェット&フォートレス】、【宝玉獣&ハモ
ン】【ブラックフェザー】、【ベノム】とか使ってるから、何も能
力ないブラマジより、エンディミオンとかサイバネティック入れて
るほうがいいでしょと言われて…。」

遊「友達に言われるまでブラマジ3積みしてたお前が言うことじゃ
ねえな、コンボカードも入れてなかったしな。」

白「うっさい！兄に誘われてカード貰って初めてデッキ組んだ時の
切り札（最高攻撃力）がブラック・マジシャンだったんだよ！」

遊「パンドラ・マジシャンの方の、だけどな。」

シ「その後わざわざレリーフの初期絵の私を買ったくせにデッキに入れてないという……。」

遊「完全に金の無駄遣いだな、初期パック買って石版ブラマジと腕組みブラマジだけでよかつたろ。」

白「いいじゃないか、観賞用でも。」

シ「そのあとガガ達が出てパックを買いに行こうとしてお金がないと言っていたのはどこの誰、でしたか？」

白「うっ、いいんだよ、あれでも結構勝てるんだから。」

遊「3割は、勝ててるな。」

シ「スターダスト、アーカナイト、ギガンティック、フォーミュラを買ってシンクロを使い始めてようやく時々勝てる、という悲惨な状況ですね。」

遊「チューナーが入れもしない【バスターモード】をサーチするアーケロン×2とエフェクトヴェーラー1枚だけという……これで良くシンクロカード買ったなお前。」

白「……さあ、アンケートを始めましょう！今回は

【遊夜の新たな精霊】

です。」

遊「さりげなく逃げたな、で、俺の新たな精霊？シークいるじゃん。それに沢山居たって書き分けがさらにめんどくなるだけだぞ。」

シ「まあ、いいんじゃないですか？困るのは作者なんですから。」

白「とりあえず、候補は

・E・HERO ジ・アース

・アーカナイト・マジシャン

・スターダストドラゴン

・ガガガマジシャン&ガール

・ブラック・マジシャン・ガール

の内2〜3人ですね。」

遊「ガガガマジシャンにはいつも世話になってるな、俺。」

シ「まあ、ガガガマジシャン1体で儀式が出来るし、ありがたすぎますね。」

遊「まあ、1体しか場に居られないから困るがな。」

シ「作者はZEXALでガガガマジシャン初登場の時、1500だから【地獄の暴走召喚】で一気に場に出してエクシーズや黒の魔法神官を出せるなどか言って、OCG見たとき（´・ω・´）になっ

てましたからね。」

白「ちょ、おま！何、人の恥ずかしい話暴露してんの！？」

遊「まあまあ、いいじゃないか、誰でもそついうのはあるさ、ラーのOCGでこれでラーデッキができるぞと張り切って死者蘇生を手札に加えるカード集めてOCGみて（。D。）となつた奴もいるさ。」

白「俺じゃねーか！バルバロスとかガンナーを生贄に9000とか余裕で行けるとか言ってたの俺じゃねーか！」

遊「二回言つなよ…バルバロスとかガンナーもってないくせによくそんなこと言えたな。」

シ「まあ、外国版でも探せば有るだろと思っていましたからね作者は。」

白「んだよ、レダメの外国版あつたからあると思つてたんだよ。」

遊「まあレダメはドラゴニック・レギオンで手に入るから価値は多少下がるだろうがな。」

シ「というか、あれはひどいでしょう、サイドラ、レダメ、カイバーマン、リビデ。ライラ、なんというゴージャスですね。」

遊「まあ、話はそこらへんにしておこつぜ。」

白「了解、と言うことで、精霊アンケート、よろしくお願いします。」

シ「別に、あの中から選ばなくても独自に書いてくれたら出す……
かもしれません。」

遊「昆虫やら見た目が気持ち悪いのは不採用……だってさ。……ドラゴン族とかは、リリなのキャロのフリードみたいな感じになるかもしれないぜ。」

白「……昔、ゴキブリが……大量に……セミが……くるな毛虫iiiiiiii
iiiiiiiiiiiiiiiiiiii……」

シ「ああ、遊夜、作者は虫が苦手だから、その話をしてトラウマを蘇らせないように……って、遅かったですか。」

遊「まあ、とりあえず、感想をくれた、
モコナ〓モドキ様 漣@酒天様 無限の剣製作者様 なすび様 F
J様 通りすがりの決闘者様 みかげ様 ゼクスユイ様 雪の守護
神様 雪凧様 流星様 亀7様 マルコシアス様 テリー様、ご感想
ありがとうございます！」

シ「そして、こんな駄文&デュエルをお気に入り登録してくれた方々も、ありがとうございます。これからもこの小説をよろしくお
願いします。」

番外編 〽前世の記憶1〽（前書き）

一応、思いつかないからおまけとして投下…。

現実世界で遊夜、もとい夕夜が決闘した時の記録、

…カードリストは2011現在ですよ、だから ハリケーン も
禁止です。

カオスソルジャー開闢の使者は制限です。…使いませんが

番外編 〽前世の記憶1〽

昔の、夢を見た…あれは、サイバー系カードを貰った翌日…。

雨「おい、夕夜！サイバーデッキ出来たか！？」

夕「雨宮、なんとか徹夜して持てるカード全てをひっくり返して作った…。39枚目までやって、最後光属性に合うカード探してたら見つかったけど…。」

雨「へえ、紛失したオネスト見つかったんだな。」

夕「ああ、なんとか見つかったが、そんなときやもう朝だったんだがな…。」

… これは…俺の、前世の記憶…？ ……

雨「つつーことは、デッキ出来たんだな、よし！じゃあ、さっさと帰ってやるっぜ！」

夕「おい待て、まだ昼休みだぞ？」

雨「…そうだったぜ、…ああー、待ち遠しいぜ！」

…… …… そっぴや雨宮は色々抜けてる奴だったな ……

〽放課後〽

雨「さあ、決闘^{デュエル}しようぜ！」

夕「…勝てそうな気がしないが、行くぜ。」

？「頑張れよーどうせ負けるだろうがなー！」

夕「黙ってる小波！この10主！」

小「誰が歴代主人公最低レベル頭脳の野球バカだ！」

横から茶々を入れてきたのは小波^{こなみレキ}、…パ○ポケとは関係ない。…
どこことなく似ているが。

雨「おいおい！そんなことどうでもいいからセリフ言おうぜ！セリフ！」

……雨宮…、そういや、リアル十代とか言われてたな…。子供
みたいないところもあったし…。

……そして小波…お前はどこから見ても立派な野球バカの
高校生だ。

夕「…はあ、…さあ、楽しい決闘をしようぜ！…13主め。（ボソ
ッ」

小「おい！誰が歴代主人公最高レベルの変態野球バカだ！」

夕・雨「^{デュエル}決闘！！」

小「無視すんなよお！」

…ちなみにプレイマットは俺がロードオブマジシャンのマットで、
雨宮が巨竜の復活？とか言うデッキのマットだ。

夕夜LP8000

雨宮LP8000

夕夜 手札6

タ「俺のターン！俺はモンスターをセット、カードを2枚伏せターンエンド。」

夕夜LP8000 手札3

場

・モンスター

・セットカード

・セットカード

雨「俺のターン！俺はサイバー・ドラゴンを特殊召喚！さらに俺は手札の融合呪印生物・光・を召喚し、効果発動！場のサイバードラゴンと融合呪印生物をリリースし、デッキからエクストラデッキからサイバー・ツイン・ドラゴンを特殊召喚！さあ行け！【エヴォリュション・ツイン・バースト】！」

サイバー・ドラゴン

効果モンスター

星5/光属性/機械族/攻2100/守1600

相手フィールド上にモンスターが存在し、

自分フィールド上にモンスターが存在しない場合

このカードは手札から特殊召喚できる。

融合呪印生物 - 光 ひかり

効果モンスター

星3 / 光属性 / 岩石族 / 攻1000 / 守1600

このカードを融合素材モンスター1体の代わりにする事ができる。

その際、他の融合素材モンスターは正規のものでなければならない。
フィールド上のこのカードを含む融合素材モンスターを生け贄に捧げる事で、光属性の融合モンスター1体を特殊召喚する

サイバー・ツイン・ドラゴン

融合・効果モンスター

星8 / 光属性 / 機械族 / 攻2800 / 守2100

「サイバー・ドラゴン」+「サイバー・ドラゴン」

このカードの融合召喚は、上記のカードで行えない。

このカードは一度のバトルフェイズ中に2回攻撃する事ができる

タ「俺のセットモンスターはシャインエンジェル！戦闘破壊されたとき、デッキから攻撃力1500以下の光族モンスター1体を攻撃表示で特殊召喚する！俺はもう1体のシャインエンジェルを特殊召喚！」

シャインエンジェル

効果モンスター

星4 / 光属性 / 天使族 / 攻1400 / 守800

このカードが戦闘によって破壊され墓地へ送られた時、自分のデッキから攻撃力1500以下の

光属性モンスター1体を自分フィールド上に表側攻撃表示で特殊召喚する事ができる。

雨「ならそいつも攻撃だ！【レヴオリューション・ツイン・バーストオ】……」

シャインエンジェル 攻1400

VS

サイバー・ツイン・ドラゴン 攻2800

夕夜LP8000↓6600

タ「だがシャインエンジェルの効果でサイバー・ドラゴン・ツヴァイを特殊召喚！さらに速攻魔法、地獄の暴走召喚でツヴァイを場に3体出す！だが、」

小「サイバー・ツイン・ドラゴンは融合モンスターだからデッキ、手札にはいないので、場に出せない。…なるほど、お前にしてはうまいな。」

サイバー・ドラゴン・ツヴァイ

効果モンスター

星4/光属性/機械族/攻1500/守1000

このカードは相手モンスターに攻撃する場合、

ダメージステップの間攻撃力が300ポイントアップする。

1ターンに1度、手札の魔法カード1枚を相手に見せる事で、このカードのカード名はエンドフェイズ時まで

「サイバー・ドラゴン」として扱う。

また、このカードが墓地に存在する場合、

このカードのカード名は「サイバー・ドラゴン」として扱う。

タ「おい小波、お前は俺をなんだと思ってるんだ？」

小「凡骨以下の馬の骨。」

タ「よし、そこに直れ馬鹿小波！」

雨「はあ…カードをセット、お前のターンだぞ。」

雨宮LP8000 手札2

・サイバー・ツイン・ドラゴン（攻2800）

・セットカード

・セットカード

夕夜LP6600 手札4

場

・サイバー・ドラゴン・ツヴァイ×3（攻1500）

・セットカード

タ「ああ…俺は手札の魔法カードを2回見せ、場のツヴァイ2体をサイバー・ドラゴンにする。」

サイバー・ドラゴン・ツヴァイ×2↓サイバー・ドラゴン×2

タ「そして俺も融合呪印生物・光・を召喚する。そして効果発動。場のサイバー・ドラゴンになったツヴァイ2体と融合呪印生物を生贄に、エクストラデッキからサイバー・エンド・ドラゴンを特殊召喚。」

サイバー・エンド・ドラゴン

融合・効果モンスター

星10 / 光属性 / 機械族 / 攻4000 / 守2800

「サイバー・ドラゴン」+「サイバー・ドラゴン」+「サイバー・ドラゴン」

このカードの融合召喚は上記のカードでしか行えない。

このカードが守備表示モンスターを攻撃した時、その守備力を攻撃力が超えていれば、

その数値だけ相手ライフに戦闘ダメージを与える。

雨「やっぱり出したか。でも正規融合されないよな、サイバー・ドラゴン制限解除されたのに。」

タ「…言つてやるな。あれはカイザーだから出来るんだ。俺は手札から 大嵐 を発動する。」

雨「早速制限解除されたカード使ったか。だけど、甘いな。カウンター アヌビスの裁き を使う。」

タ「…わりい…それ、どんな効果だっけ？」

雨「手札を1枚捨てることで相手がコントロールする「フィールド上の魔法・罠カードを破壊する」効果を持つ魔法カードの発動と効果を無効にし破壊し、相手フィールド上の表側表示モンスター1体を破壊、そのモンスターの攻撃力分のダメージを相手プレイヤーに与える事ができるカードだな。」

タ「げっ、なら、場の 我が身を盾に を 「それは相手の魔法を無効にしてからだから、 我が身を盾に は使えねえぞ。」…え？」

小「だから、ルールのに使えない。」

雨「まあ、そういうことだ。俺はサイバーエンドを選択するぜ。」

夕夜LP6600↓2600

タ「うつ、…なら俺は場のツヴァイを守備表示にして、死者蘇生でサイバー・エンド・ドラゴン等特殊召「正規召喚をしていないから蘇生は無理だ。」…ならサイバー・ドラゴンを蘇生してターンエンド。」

夕夜LP2600 手札1

場

・サイバー・ドラゴン（守1600）

・サイバー・ドラゴン・ツヴァイ（守1000）

・セットカード（我が身を盾に）

… ああ、そういうやつルールミス多かったな俺…。正規融合とか。手順踏んでないから蘇生不可とか訳わかんなかったなあ…。

雨「俺のターンだな。」

雨宮LP8000 手札2

・サイバー・ツイン・ドラゴン（攻2800）

・セットカード

雨「俺はこれでターンエンド。」

タ「…俺も、これでターンエンド。」

夕夜手札2

雨「俺のターン！」

雨宮手札3

雨「俺は手札からサイバー・ヴァリーを召喚。そして、きかいふくせいじ機械複製術ゆっを発動。デッキからもう2体のサイバー・ヴァリーを特殊召喚。そして、場の全ての機械族モンスターを墓地に送り、エクストラデッキからキメラティック・フォートレス・ドラゴンを特殊召喚。」

キメラテック・フォートレス・ドラゴン

融合・効果モンスター

星8 / 闇属性 / 機械族 / 攻 0 / 守 0

「サイバー・ドラゴン」+機械族モンスター1体以上

このカードは融合素材モンスターとして使用する事はできない。

自分・相手フィールド上に存在する上記のカードを墓地へ送った場合のみ、

エクストラデッキから特殊召喚する事ができる（「融合」魔法カードは必要としない）。

このカードの元々の攻撃力は、

このカードの融合素材としたモンスターの数×1000ポイントになる

雨「これの効果で墓地へ送ったモンスターはサイバー・ヴァリー3体、サイバーツイン、サイバー・ドラゴン、ツヴァイ、よって攻撃力は6000、で、手札からリミッター解除で12000だ。」

タ「…なあ、お前、機械族デッキ作らせといてなんでそんなピンポイントメタカード、デッキに入れてるんだ？」

小「ああ、俺が渡した。」

タ「小波この野郎！（。、旦那。）。」

小「一応サイバー・ドラゴン召喚しなきゃわからなかったけどな。」

雨「ちなみに、俺のセットカードはリビングデッドの呼び声だ。」

天「どっちみち違うモンスター蘇生しても俺の負けだったのかよお！！」

雨「じゃあ、止め」

タ「…。」

小「…。」

夕夜LP2600↓19400

タ「言うておくが、似合ってねえぞ。」

小「ああ、似合ってない。」

雨「うつさい！自分でもこれはないなと思ったよ！それより、残りの手札なんだったんだ？」

夕「サイバー・ドラゴン。」

雨「……まあ、いい勝負だったと思っぜ？」

小「LP1も削れてないけどな！」

夕「お前は黙ってる！」

そう言っでデッキを収める元の俺。
笑い転げている小波。

それを苦笑しながら見ている雨宮。

それは、夕夜にとって、転生する前の、いつも通りの1コマであった。

そして、遊夜の目の前は黒くなり、一筋の光が指す

「……………！……………夜！遊夜！」

「うわぁ！？なんだなんだ！？」

声が聞こえ、飛び起きると、目の前にいたのはシークだった。

「どうしたんですか？もうすぐ時間ですよ？」

「おお、昔の夢見てた…。」

「昔の夢…？」

そう言つて、シークは俺の額に手を当てる。

「…見事にフルボッコにされてますね。」

「うつせえ!」

「では、さっさと海馬の所へ行きますよ。」

「とりあえず、シンクロとかエクシーズとかもってったほうがいいかな?」

「出さなかったら、多分後で咎められますよ?」

「…やっぱり?」

そしてこれは、遊夜の転生後のいつも通りの1コマである。

番外編 〓前世の記憶1〓（後書き）

今回の番外編。なんか出来と最後が中途半端になってしまいました。

とりあえずキャラ紹介。

あまみや
ててキ
雨宮 響

日本人特有の黒髪黒目で、背は高1にしては高い方、顔は、リアル
トレイン・ハーネットっぽい感じ

使用デッキは

- ・表サイバー
- ・裏サイバー
- ・その他

決勝後の説明会（前書き）

最近スランプ気味だ…。

なんか会話ばっかで面白くないし…。

決勝後の説明会

「…で、天月遊夜、説明してもらおうか。」

「分かっている。」

今、俺はKC（海馬コーポレーション）に来ている。
俺のもつカードについて説明するためだ。

「海馬ボーイ、彼がそのカードを持つものです力？」

この場にいるのは、海馬、遊戯、ペガサス。そして俺だ。

「ああ、デュエルシップで監視カメラが白い色のカードを使っていたからな。」

…げ、見られてたのか。

「わかりました。説明しましょう。」

そう言つて、俺はカードを取り出す。

「えっと、遊夜君、その白いのと黒いのは一体なんのカードなの？」

「この白いカードはシンクロモンスターカードと言い、メインのデッキとは別の「エクストラデッキゾーン」、もとい「融合デッキゾーン」に置き、自分フィールド上に表側表示で存在する「チューナー」と1体以上のモンスターのレベル合計が等しい場合に特殊召喚

できるモンスターだ。フィールド上モンスターのレベルの合計で召喚できるため、いきなり強力なモンスターを召喚することが可能ですが、チューナー同士はできない。

シンクロモンスターの扱いについては、

・デュエル開始時にはエクストラデッキに準備される特殊召喚モンスターの一種である。

・蘇生制限などの扱いも全て融合モンスターと同様。

・融合モンスターと同じく、手札やデッキに戻す時は、エクストラデッキに戻す。

・エクストラデッキの融合モンスターに関する効果はシンクロモンスターを対象にしない などだ。」（Wiki参照）

「えっと、それは融合が必要ない召喚方法ってこと？」

「いや、これはレベルを足した合計のレベルのモンスターを召喚するから、必ず表側表示にしなければいけなく、場に出ていなければダメだから、手札からは使えない。」

「ワンダフル！そんな召喚方法なんて思いつきもしませんでした！」

「なるほど…これならば低レベルモンスターの組み合わせが鍵になるな…。」

「で、こっちの黒いカードはなんなの？」

「こっちはエクシーズモンスターカード、エクシーズモンスターカードも、メインのデッキとは別の「エクストラデッキゾーン」に置き、エクシーズモンスターカードに記載された特定のモンスターを表側表示でフィールド上に揃えた場合に特殊召喚できるモンスターだ。」

基本的にレベルが同じモンスターが揃っていればすぐに出せて、素材としたモンスターを使ってさまざまな効果を発揮する。

またエクシーズモンスターにはレベルが存在せず、「ランク」になっている。」（Wiki参照）

「待て、「ランク」とはなんだ？」

「「ランク」とは、レベルと違い、グラビティ・バインド など、レベルに関する効果を受け付けない。そして、

エクシーズモンスターの扱いについては

・デュエル開始時にはエクストラデッキに準備される特殊召喚モンスターの一種。

・蘇生制限などの扱いも全て融合モンスターやシンクロモンスターと同様。

・融合モンスターやシンクロモンスターと同じく、手札やデッキに戻す時はエクストラデッキに戻す。

・レベルを持たないため レベル制限B地区 等、レベルに関する効果を受けない。また、その対象に選択する事もできない。

・シンクロ素材やエクシーズ素材、儀式召喚のためのリリースにすることもできない。

ただし、水属性エクシーズモンスターは《伝説の都 アトランティス》で攻撃力・守備力がアップしたりと「レベル変化を含むカードの効果は全て受けない」という扱いにはならないので注意が必要だ。

「

「なるほど…同じレベルのモンスターを重ねることで新たなモンスターになるのか。」

「そして、重ねたモンスターを墓地に送り、効果を発揮するんだね？」

「ああ、だけど効果を持つエクシーズモンスターは、全てエクシーズ素材に関する何らかのモンスター効果を持っている。だが自身の下に重ねられているエクシーズ素材が全て無くなると、デメリットが発生するものも存在している。これは融合モンスターやシンクロモンスターと違い、『融合』や「チューナー」など、特定のカードを必要としない。縛りのあるものも少なく、これまでの定番モンスターもそのまま使用できるため、事故要因にもなりにくい。シンクロモンスター等の特殊召喚モンスターと比較すると、全体的に性能はやや控えめな傾向がある。しかし、エクシーズ素材を必要とする回数制限があるため、使い終わるとただの通常モンスターに成り下がるけどな。」

「ふうん、縛りとやらが緩い代わりに効果の使用制限があると言うことか…。」

「面白い召喚方法デース！」

「でも、なんでこんなものを君が持っているの？」

「ああ、それは…。」

転生者だから、それを言いかけて俺は焦った。そんなことを言っても、信じてもらえないのがオチだろう。そんなことを考えていると、ペガサスが話しかけてくる。

「思い出しました！ユーはもしか、転生者ではないデスカ？」

「……は？」

何故分かった！？じゃなくて、本当になんで！？

「ペガサス、転生者とはどういうことだ？」

「ワタシがこのデュエルモンスターズを調べにエジプトの壁画を見ていると、端の方にこう書いてあったのデース。『この地に再び千年アイテムを巡る争いが起こる時、不思議なカードを持つ神の意志を継ぎし転生者が現れるだろう』と。」

『ああ、確かに神が書いておくと言っていた言葉と同じですね。』

俺が混乱していると、シークがそんなことを言った……って

「（おいシーク、どういうことだ！？俺は聞いてねーぞ！？）」

『えーっと、神があなたのシンクロ・エクシーズが見つかった時に対する保険と言っていました。』

おい、じゃあ別にシンクロ・エクシーズを隠さなくてもよかったじやねーか。

「はあ……とりあえず、俺は転生者であってる。」

「Oh！やはりそうで「だけど、「……？」」

「神の意思を継いではないはずだ。」

「ノープロムレムデース。神の意思を確認するのは、これを証明してからの方がよさそうデース。」

そう言つとペガサスは俺のオシリスとラー、そして遊戯のオベリス
クを俺の手の平におき、もう片手をその上にのせると、眩い閃光が
きた。すると、何故か

「やはりユーでしたね。」

何故か、ホルクアティが3枚の上においてあつた

…おいおい、そのカードは抽選で当たるといふ超難関カードだぞ、
前世の抽選出した人等に申し訳がないんだが…。
遊戯や海馬も目を見開いてるし…。

「…ふうん…信じたくはないが、本当に貴様は転生者らしいな。」

信じちゃつたよオカルト嫌いの海馬が認めた…！？
あ、そういや原作でも一応イシズ戦で認めてたような…。

「まあ、もう一人の僕とか闇のゲームとかいろいろあつたしね…。」

「…ああ、マインドクラッシュか。」

「……アハハ…。」

「ふうん、では貴様に頼みたいことがある。」

「…なんだ？」

「宇宙の波動を取り込み、素晴らしいカードを作ろうという企画が
あつたのだ。ちょうどいいので貴様にどのカードにするか決める。」

命令形！？…って、もしかして十代のネオスのあれ？

「一応、もう一つはユベルというカードを飛ばす。」

やっぱネオスかー！って、今それどころじゃないだろ！？KCグラ
ンプリは！？ドーマ編は！？

「ついでにカードを乗せたロケットの観察も頼みたい。」

「…それ、俺が宇宙に行くということで解釈していいのか？」

「無論だ。」

「……………」

今の俺の顔はものすごく苦笑いしているであろう。さすが社長、人
の意見を聞きはしない。

「えっと、海馬君？そんな遊夜君の意見も聞かずに…。」

『あ、神からの伝言で、そのロケットにのってくれと。』

「えー…わかったよ。ああ、乗ってもいいぜ。」

「ふうん、貴様ならそういうと思っていたぞ。」

「気を付けてください、遊夜ボーイ。」

「ふうん、出発は1週間後だ。今日は荷物をまとめて、明日からカ
ードを選んでもらうぞ。」

「了解。」

・・・え？カード？色々ともってかれましたよ？エクシーズのサ
ンダーエンドとかチューナーの白石とかシンクロの氷結界の竜とか
…神にいくらかもらってたっつってもなんか釈然としない…。

決勝後の説明会（後書き）

宇宙へ行くのは、なんか主人公のカードがバランス崩しそうなので、宇宙の波動パワーでなんとかしちやおうということです。

魔法再生 をコスト有りにするとか

クリスマス短編（前書き）

遊夜〓天

遊戯〓遊

海馬〓海

城之内〓城

本田〓本

杏子〓杏

城之内（妹）〓静

猿良〓猿

シーク〓シ

クリスマス短編

城「今日はクリスマスだぜえー!!」

海「うるさいぞ凡骨。」

城「んだと海馬あ！決闘だ！デュエル^{デュエル}しやがれ！決着付けてやる！」

遊「やめなよ城之内君！」

海「ふうん、いいだろう、かかってこい凡骨、相手になってやる。」

バトルシティを終えて数週間後、俺達はクリスマスを迎えていた。

天「真崎、本田…止めなくていいのか？あのカオス。」

杏「いいんじゃない？面白いし。」

本「だよなあ、城之内の反応おもしれーし！」

静「お兄ちゃん頑張ってー！」

天「城之内の妹って、兄とは似ても似つかないな…。」

本「だよなあ、城之内の妹は可愛いのに、兄貴はなあ…。」

天「城之内から聞いたぜ？カード教えたってあの子に嘘ついたんだってな。」

杏「うつそー、本田ひどくない？」

本「あつははは、まあいいじゃねえか。」

そう話してる間に、城之内と海馬のデュエルは終盤に入っていた。

海馬LP1500

場

- ・青眼の白龍
- ・青眼の白龍
- ・青眼の白龍
- ・青眼の究極龍
- ・未来融合・フューチャーチュージョン・

城之内LP100

場

- ・時の魔術師

この状況は、海馬が、デスグレムリン（攻1600）を召喚、凡骨がギアフリード（攻1800）を召喚↓攻撃↓収縮で返り討ち凡骨はLP3300になり、次のターンで海馬がブレイド・ナイト（攻1600）を召喚、2体の直接攻撃で凡骨のLP100↓凡骨が時の魔術師（攻500）を召喚、効果で表を出し、擬似サンダーボルトをし直接攻撃↓怒った海馬が未来融合を使い、青眼3体落とし、龍の鏡で究極を召喚、さらに次元融合でLP2000払い龍の鏡で除外した青眼3体召喚、で今に至る。

ちなみに凡骨はなんというか…もう、言葉で表せられないくらい…

……悲惨だ。

海「いけえ！青眼達よ！この俺に圧倒的な勝利を収めよ！【滅び

アルティメットリアルバーストストリーム
の究極三連炸裂疾風弾】！！」

骨「うわああああアアアア！」

凡骨LP100↓12400↓15400↓18400↓1129
00

…うわあ…。

シ『なんとというか、もうひどいですね…』

天「ああ…もう城之内が可哀想になってきた…。これ、クリスマス
パーティーだよな…？」

本「まあ、いつも通りっちゃいつもどおりだな。」

杏「そうそう、いつも通りいつも通り。」

遊「城之内君…大丈夫かな…？」

天「おいおい…いくらバーチャルでもあれは怖いって…。」

獏「じゃさ、いつそ決闘大会にしない？」
デュエル

天「へえ、面白そうだな。」

初代チームは、クリスマスでも変わらなかった…。

とりあえず戦績

| | | | | | | |
|---|----|----------------------|--|--|--|--|
| 天 | 全勝 | | | | | |
| 遊 | 5勝 | 負、遊夜 | | | | |
| 海 | 4勝 | 負、遊夜、遊戯 | | | | |
| 城 | 3勝 | 負、遊夜、遊戯、海馬、 | | | | |
| 獏 | 2勝 | 負、遊夜、遊戯、海馬、城之内 | | | | |
| 杏 | 1勝 | 負、遊夜、遊戯、海馬、城之内、獏良 | | | | |
| 本 | 全敗 | 負、遊夜、遊戯、海馬、城之内、獏良、杏子 | | | | |

こうだな。

獏良と遊戯はバトルシティのあれの最後のオシリスをオベリスクにした感じた。中身は全然違うけど。俺は 黒魔導 で魔法・罫を殲滅させて止め、海馬はもう圧倒的に勝利したな。

本田はコマンダーで本当に巧みに攻めて来て驚いた。結局は全敗だったけど、少なくとも、羽賀と竜崎、そして翔と初期万城目よりは強いと思う。

杏子は天使族（ヴァルハラとか代行ではない）を使ってきた。…もけもけと怒れるもけもけのコンボで青眼と相打ちになった時の海馬の怒り具合は…。俺も、シークがもけもけに倒されたときはイラストと来たけど、要するにもけもけが場にいなければオーケーだったから楽に勝てた。

城之内は…俺達3人のLPを2000以下に出来たが、押しきれず負けた。

遊戯と海馬は言わずもがなだな。

皆からのクリスマスプレゼントは色々あった。

俺はカードを渡した。

遊戯には【結束 けっそく UNITY】と【友情 ゆうじょう YU・JYO】、そして【ファラオの審判】

海馬には【正義の味方カイバマン】と【神龍ラグナロク】

城之内には【黒龍の雛】と【コマンド・ナイト】

本田には【ゴゴゴゴレム】と【ゴゴゴジャイアント】

杏子には【オネスト】と【勝利の導き手フレイヤ】

獺良には【真紅眼 レッドアイズの不死龍 アンデッドドラゴン】と【馬頭鬼 めだま】

さらにそれぞれにチューナーとシンクロ・エクシーズを渡した。

遊「これは、遊夜君の世界での僕らをモデルにしたカードだね、なんだか照れるなあ。」

城「へえ、レッドアイズを特殊召喚できるカードと戦士の攻撃力を上げるカードか、ありがとな。」

海「ふうん、なかなかいいカードではないか…俺の苗字を入れるところがまたいいな。礼を言うぞ。ふははははは！」

本「おお！かけえカードじゃねえか、サンキュー！」

杏「このオネストってカードすごく強いわね…ありがと！」

獺「へえ…この真紅眼、すごくグロテスクでいいカードだね、ありがと。」

どうやらご期待に添えられたようだ。とりあえず、獺良、お前の趣味は怖えーな…。

城「よっしゃ！遊夜に貰ったカードを組み込んでまたデュエルしよう」

うぜー！
「

「「「「「 ああ！！（うん！！（いいだろう） 「「「「「

クリスマスで賑わっていても、この集まりは変わらない・・・。
- - -。

クリスマス短編（後書き）

あつれー？なんでこんなの書いたんだろ…？
とりあえず、遊戯たちのデッキ強化フラグを作ろうとしていたのに、
逆に変なことになってしまった…主に遊戯が。時間軸、大丈夫かな
？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0816x/>

自由気ままな転生決闘者

2011年12月25日21時59分発行